

連帯・協同・安心・共生

すべての働く人々の
幸せと豊かさをめざして



 徳島県労福協
設立50周年記念誌

連帯・協同・安心・共生

すべての働く人々の
幸せと豊かさをめざして

 50 Years
ANNIVERSARY

目 次

挨拶	3
祝辞	4
設立の経緯	12
50年の歩み	14
事業紹介	42
西部労福協事務局	42
総務企画部	44
地域ライフサポートセンター	53
会館管理事業部	56
在住外国人サポート事業部	58
福祉サポート事業部	62
ジョブサポート事業部	63
自立サポート事業部	68
パーソナルサポート事業部	70
歴代役員	76
特別収録「ひたすらに労働者福祉の道を——」	85
徳島県労福協 2030年ビジョン	93
組織図	95
特別寄稿「平和を愛する烏雲先生の訃報に接して」	96
後書き	98



50周年記念誌発刊にあたって

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
会長

森 本 佳 広

当法人が設立 50 周年を迎えるにあたりまして 2010 年の 35 周年に続きその後の活動記録を中心に後世に残すため記念誌を発刊する運びとなりました。今日まで労福協運動の推進に対しまして多大なご理解とご協力を頂きました関係各位に心より深く感謝申し上げます。

さて、2010 年の 35 周年以降、社会情勢はめまぐるしく変化してきました。2013 年 5 月には法人制度改革に対応して、公益認定を受け公益社団法人として新たなスタートを切りました。相前後して連合と中央労福協の方針に則り、県下 6 地域労福協が改組され先行して設立されていた徳島西部に続き、徳島中央、徳島南部のライフサポートセンターが設立され、連合徳島の地域協議会と連携して県内 3 地域で労福協運動が展開されることとなりました。また、この時期に定住外国人サポート事業の芽吹きがあり、若者サポートステーションやジョブカレッジが開所され、2015 年には主力の事業となっているパーソナルサポート事業がスタートし法人の事業拡大が図られました。

しかしその後、委託事業の獲得が予定通りに行かない年もあり、法人の財政運営は事業拡大とともに増加する経費の確保に苦慮する不安定な状況が続いていました。その状況を改善し、財政基盤の確立を図るため（一社）徳島県労働福祉会館との法人合併が検討され、2021 年 2 月 1 日に当法人が吸収合併する形で新たな労福協が誕生しました。合併当初は、コロナ禍の影響で、ジョブカレッジの講座の受講者が増加するなど大きな増収となりましたが、コロナ感染症の位置づけが変わった 2023 年度、24 年度は受講者が激減する状況となり法人自体も 2 年連続の赤字計上となってしまいました。

直近の状況では、県内最低賃金の急上昇や円安の影響が大きい物価高が継続していることもあり、法人の財政運営はますます厳しさを増しています。このような状況に鑑み、事業の委託元である国や自治体の関係部局と事業の仕組みの改善や委託費の増額などについて要請を行い実りある真摯な協議を行うべく鋭意取り組んでいます。

最後に誠に残念ではありますが、中国内モンゴル自治区庫倫旗第一中学「烏雲の日本語教室」で日本語を学ぶ生徒を招聘し交流を行う国際交流事業の礎を築いて頂いた日本人中国残留孤児である烏雲先生が本年 11 月にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、長年にわたり事業の推進にご尽力頂きましたことに心より感謝申し上げます。このことに関しましては、一般社団法人徳島県労働福祉会館の元理事長である藤原学氏から特別寄稿をいただいておりますので、ご一読賜れば幸いです。



祝 辞

徳島県知事
後藤田 正 純

この度、「公益社団法人徳島県労働者福祉協議会」が栄えある設立 50 周年という節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴協議会は昭和 50 年の設立以来、長きにわたり、労働者の福祉の充実、向上を目指して「県民と働く者のとくしまフェスタ」を始めとした様々なイベントの開催や、労働・福祉などの各種相談や若年無業者の自立支援などに積極的に取り組んでこられ、労働者とその家族の生活の向上と安定に大きく寄与いただいております。

また、地域における生涯福祉の更なる充実を図るため、ライフサポートセンターを県内 3 か所に開設いただいております、人と人が助け合い、支え合うことができる社会の構築に多大の御貢献を賜っております。

これもひとえに、森本会長をはじめとする歴代会長、役員並びに会員の皆様の御尽力の賜であり、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、昨今の社会経済情勢に目を向けますと、人口減少に伴う「労働力不足」が顕在化しており、地域の経済活動を維持、発展させるためには、人材の確保や定着に向けた職場環境の整備がますます重要な課題となっております。

本県におきましても、人材の確保・定着に向けて、安心して働くことができる環境を整備するため、労働者の多様なニーズを踏まえた福利厚生制度の充実を支援する取組を実施しており、県内中小企業者等の「魅力ある職場づくり」を推進しているところです。

労働者がそれぞれの事情に応じた「多様な働き方」を選択できる社会を実現するため、引き続き、「結婚・出産・育児・介護」等の労働者のライフステージに応じた多様な働き方を促進し、誰もが働きやすい職場環境づくりや労働者福祉の向上に積極的に取り組んで参ります。

また、こうした取り組みを推進していくためには、貴協議会との連携が欠かせないと考えております。今後ともなお一層の御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、貴協議会におかれましても、この度の佳節を契機として、更に充実した活動を進められ、本県の発展に一層のお力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会の更なる御発展と、会員の皆様の今後ますますの御健勝、御活躍を心から祈念申し上げ、祝辞といたします。



祝 辞

労働者福祉中央協議会
会長

芳 野 友 子

このたび、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が結成 50 周年の節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より中央労福協の活動に対して多大なるご支援・ご協力を賜っておりますことに、深く御礼申し上げます。

また、貴協議会が労福協の理念に基づき、働く人々の福祉向上のため、地域に根差した様々な活動・事業を展開されてきたことに対し、歴代の役職員並びに関係者の皆さまのご尽力に心から敬意を表します。

さて、社会を見渡せば、ここ数年続いている物価高や貧困の深刻化、急速に進む少子高齢化や人口減少など、私たちを取り巻く状況は厳しさを増しています。このような時代だからこそ、私たち労福協は「福祉はひとつ」を合言葉に、地域の様々なネットワークで助け合い、セーフティネットの強化に向けて、力強く取り組みを進めていかなければなりません。今後、中央労福協は貴協議会と今まで以上に連携を深め、社会課題に向けて対処していきたいと考えております。

むすびに、50 周年を機にこれまで積み重ねてこられた歴史を糧として、貴協議会に集うすべての加盟団体のご発展と、貴協議会役職員の皆さまのご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

徳島労働局長

亀 井 崇

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が設立 50 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。半世紀にわたり、労働者福祉の向上と地域社会の発展に尽力されてきた歩みは、関係機関や地域の皆様の連携、連帯によって積み重ねられたものであり、その功績に深甚なる敬意を表します。

貴協議会におかれましては、「地域若者サポートステーション事業」を通じ、15 歳から 49 歳までの若者を対象に、相談支援や職場体験、キャリア形成支援などを実施し、職業的自立を後押ししてこられたことをはじめ、関係機関や地域の皆様との連携を活かされ、「すべての働く人々の幸せと豊かさを目指して」という理念の実現に繋がる、様々な事業に取り組まれてこられました。

こうした取組は、当事者の自立支援のみならず、地域を支える担い手の育成にも寄与するものであり、社会の発展に欠かせない意義を有するものであると確信しております。

今後とも、貴協議会が積み重ねられた経験とネットワークを基盤に、働く人々の福祉の向上と地域社会の発展に向けた活動を、一層力強く推進されますことを期待し、貴協議会のさらなるご発展を心より祈念申し上げ、祝辞といたします。



設立50周年記念 祝辞

徳島市長
遠藤 彰 良

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会の設立50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。また、長年にわたり「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、労働者の福祉向上と地域社会の発展にご尽力されてきた、関係者の皆さまに深く敬意を表します。

協議会の皆さまにおかれましては、日頃より労働環境の改善、生活支援、福利厚生の実現、さらには働く方々の交流の学びの場づくりなど、多岐にわたる取り組みを積極的に進めていただいております。その普段の努力が、徳島市の魅力向上にも大きく寄与していることを、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

また、労働者福祉は、地域経済や市民生活の基盤を支える重要な柱であり、働く人々が安心して生活し、意欲を持って職務に取り組むことができる環境こそが、まちの活力となり、持続的な発展へとつながっていくものと思っております。

徳島市といたしましても、誰もが働きやすく、暮らしやすいまちづくりに向け、協議会の皆さまと連携を深めながら、未来を担う世代が希望を持てる社会の実現を目指して、引き続き労働者福祉の実現に取り組んでまいりますので、どうか皆さまには、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会のますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げ、私の祝辞といたします。



祝 辞

鳴門市長
泉 理 彦

徳島県労働者福祉協議会50周年という節目の記念誌の発刊に際し、心よりお祝い申し上げます。

貴協議会の皆様におかれましては、今日まで50年にもわたり労働者の福祉向上を目指し、地域社会に貢献されてきたその歩みに心から敬意を表します。労働者の声を拾い上げ、真摯に応じてきたその姿勢が、地域全体の結束力を強め、経済的、社会的な支援を通じてより良い未来の基礎を築いてこられたことは、まぎれもない事実です。そして、その努力は確実に「誰もが安心して暮らせる地」を実現する原動力になっていると確信いたします。

本市におきましても、貴協議会のご協力を得て生活困窮者自立相談支援事業をはじめ各事業を実施することで、生活困窮者が自らの能力に応じて自立した生活が送れるよう、各種施策の実現に取り組んでおります。引き続き、国や県、関係機関との連携を深めながら、本市の産業・経済を担われる労働者の皆様方の働きやすい環境づくりを積極的に推進してまいりますので、貴協議会の皆様方におかれましては、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、徳島県労働者福祉協議会の更なるご発展と、皆様方のご健勝・ご活躍を心からお祈り申しあげまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

小松島市長
中山 俊 雄

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が設立 50 周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。
この度の記念誌の発刊、誠におめでとうございます。

貴協議会におかれましては、昭和 50 年の設立以来、県内の労働者福祉事業団体の中核組織として、就労支援や社会貢献活動など、労働者福祉の向上に重要な役割を果たしてこられました。

50 年の長きにわたる多大な貢献に深く敬意を表しますとともに、歴代の貴協議会役員や会員の皆様に改めて深く感謝申し上げます。

今日、景気の低迷が長引き、我が国の雇用情勢は依然として厳しい状態にあり、少子・高齢化や雇用形態の多様化が進むなど、勤労者を取り巻く情勢も大きく変わってきております。

こうした中、本市におきましても、国・県、関係機関との連携を深めながら、地域に応じた雇用施策を推進し、産業・経済を担われる労働者の皆様方の働きやすい環境づくりを積極的に進めてまいりますので、皆様方には、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、設立 50 周年を機として、徳島県労働福祉協議会がますます発展されますよう、また、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げまして、ご祝辞といたします。



祝 辞

阿南市長
岩 佐 義 弘

公益社団法人労働者福祉協議会が輝かしい設立五十周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

貴団体は設立以来半世紀にわたり、労働者の生活安定や福祉増進のための活動を展開し、長きにわたり多大なる貢献をし続けてこられました。この弛まぬご努力に対し、改めて深甚なる敬意を表する次第でございます。

近年、少子高齢化や核家族化の進行が加速し、市民が直面する課題は、単なる経済的な困窮に留まらず、孤立や介護、子育てなどが複雑に絡み合う複合的なものとなっています。従来の行政による分野ごとの支援だけでは対応が難しい状況下において、複雑な課題に対応し、市民一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援を実現するため、「重層的な支援体制の整備」が急務であります。

貴団体が長年培ってこられた知見を活かした生活困窮者支援は、行政の手が届きにくい現場において、この重層的支援体制の中核を担う、かけがえのない力です。引き続き、産業・経済を担う労働者の働きやすい環境づくり、本市の発展にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴団体がこの輝かしい五十周年を新たな飛躍の契機とされ、今後ますますのご発展と、皆様方の今後ますますのご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げ、祝辞といたします。



祝 辞

阿波市長
町 田 寿 人

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が設立 50 周年という大きな節目を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

半世紀にわたり、労働者の福祉向上、安心して働くことのできる環境づくり、地域社会の発展にご尽力されてこられた皆様の歩みは、多くの人々の暮らしに安心感をもたらすとともに、本市の労働行政を進める上で、かけがえない財産となっております。ご関係の皆様方に心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

特に、平成 24 年に阿波市に開設されました「あわ地域若者サポートステーション」は、平成 29 年に、県西部の拠点として常設サテライトに位置づけられたことで、若者の相談・支援環境が格段に向上し、本市の労働者福祉の増進に大きく寄与いただいております。

今日、労働環境は大きな転換期を迎えておりますが、貴協議会の長年にわたる知見とネットワークは、これからの時代においても大きな力になるものと確信しております。今後も、誰もが働きやすく、暮らしやすい地域社会の実現に向け、さらなるご発展とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

日本労働組合総連合会徳島県連合会
会長
川 口 誠 二

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会設立 50 周年まことにおめでとうございます。

徳島県労働者福祉協議会が取り組む様々な支援事業の中で、求職者職業訓練や在外外国人就労支援、障がい者のための自動車運転免許証取得支援は、徳島県内に暮らす方々が働くことで自信を持ち、自立することに繋がっていると思います。私たち連合徳島も、公正な労働条件のもと多様な働き方で社会的・経済的に自立し、年齢や性、国籍の違いや障害の有無にかかわらず多様性を受け入れ互いに認め支え合う社会めざしています。

働くことに一歩踏み出せない方々に寄り添い、就労に繋げる取り組みを引き続きお願いします。これからも連合徳島は、「働くことを軸とする安心社会」めざし、徳島県労働者福祉協議会とともに歩んでいきます。

だれ一人取り残さず、安心・安全に働くことができ、個々人のニーズにあった多様な働き方で、生活向上を実感し、将来への希望と安心をつくっていくためにも。



設立50周年によせて

四国労働金庫
理事長

新 居 栄 治

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が、設立50周年の記念すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、この度の記念誌発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げる機会をいただき感謝申し上げます。

貴協議会は、半世紀の長きにわたり「連帯・協同」の崇高な理念のもと、徳島県における労働者の生活向上と、安心して暮らせる地域社会づくりに多大なる貢献を果たしてこられました。その揺るぎない信念と、歴代役員並びに関係各位のこれまでのご尽力に対し、深く敬意を表します。

私ども四国労働金庫も、同じ労働者福祉運動の担い手として、貴協議会と共に歩んで参りました。昨今、物価高騰や少子高齢化、働き方の多様化など、働く仲間や地域社会を取り巻く環境は厳しさを増しております。しかし、こうした不透明な時代だからこそ、相互扶助の精神に基づく労働者福祉活動の役割は、ますます重要性を帯びていると確信しております。

今後も貴協議会との強固な連携のもと、働く人々の暮らしを支え、誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現に向けて共に邁進する所存です。結びに、貴協議会のますますのご発展と、関係皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



これからの50年を展望して

こくみん共済 coop 徳島推進本部
本部長

大 谷 竹 人

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会におかれては設立50周年を迎えられ心よりお祝い申し上げます。

さて、貴協議会が2023年5月に策定された「2030ビジョン」のなかに「これからの見据えるにあたっては、経済成長は人間の幸せのためにあり手段であって目的ではない、ことを改めて認識する必要がある」とあります。

経済学において、長らく経済成長は、ほぼ無条件で人間社会にとって「善」であると考えてられてきました。しかし、近年そう単純に経済成長を追求すれば良いのだとは言い切れなくなってきました。1つ目は、気候変動問題に端的に現れているように、経済成長を制約する「自然的限界」が明確になってきたことがあります。2つ目は、経済発展のある段階からそれ以上の経済成長を追求したとしても人々の生活に対する満足感が高まるとは言えなくなったということもあります。

やはり「2030ビジョン」で2030年にめざす社会像として示されている「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらす持続可能な社会づくり」に向けて共に取り組んでいきましょう。



祝 辞

公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
理事長

石 堂 佳 子

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が50周年という輝かしい節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

貴協議会は、「連携・協同・安心・共生～すべての働く人々の幸せと豊かさをめざして～」を理念に掲げ、各労働団体や労働者福祉事業団体をはじめとする幅広いネットワークとの協働を通じて、働く人々の福祉の向上に長年取り組んでこられました。その歩みは、時代の変化や社会課題に真摯に向き合い、常に現場に寄り添いながら積み重ねてこられた実践の歴史であり、深い敬意を表するものです。

とりわけ、格差是正や貧困の連鎖の防止、社会的孤立の解消といった重要な課題に対し、先駆的かつ継続的な取組を通じて、地域社会に大きな安心と支えをもたらしてこられました。私ども財団にとりましても、貴協議会は生みの親であり、設立当初より理念を共有し、事業を通じて緊密に連携してきた、欠かすことのできないパートナーです。ともに現場に立ち、課題に向き合ってきた経験は、私どもにとって大きな財産となっています。

50年の歩みに改めて深い敬意と感謝を表するとともに、今後ますますのご発展と、徳島の未来を支える取組が一層広がっていくことを心より祈念いたします。



祝 辞

全徳島建設労働組合
執行委員長

大 地 均

徳島県労働者福祉協議会が設立50周年を迎えましたことを心よりお祝い申し上げます。

半世紀にわたり労働者福祉の向上ための様々な活動に取り組みまれてまいりましたことに心より敬意を表します。

「ゆとり宣言」フェスティバル、勤労者福祉サービスセンター、地域労働者福祉の拠点としてのライフサポートセンター設立など、長い歴史において皆さんと先輩方が労働者福祉の推進役として、労働団体や労働者福祉事業団体などの結集により、実績を積み重ねてこられたことは大変意義深いことです。

「連帯・協同・安心・共生～すべての働く人々の幸せをめざして～」の理念のもと、共助の輪を広げ、安心して働き暮らせる持続可能な社会をめざす徳島県労福協の活動が、幅広いネットワークの協働により、さらにその歴史を積み重ねていけますよう共に頑張ってみましょう。

結びに、徳島県労働者福祉協議会のますますのご発展と皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

徳島県生活協同組合連合会
会長

大久保 秀 幸

この度は公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が設立 50 周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴協議会が 50 年にも亘り労働者とその家族の生活の向上と安定を図り「資格取得・就労支援」、「介護支援」、「国際交流事業」、「生活困窮者自立支援事業」、「働きやすい職場環境づくり」など多岐にわたりすべての働く人々の幸せと豊かさをめざして取り組まれ、そのことは、徳島県の労働者の安心した生活と福祉の向上に貢献されておられます。これもひとえに森本会長をはじめとするご関係者の皆様のご尽力の賜物であり、心から敬意を表する次第であります。

さて、暮らしを取り巻く環境に目を移しますと、ここ数年のさまざまな価格高騰は、消費者の暮らしに大きく影響し、生活はさらに厳しく、ひっ迫したものとなり労働環境も厳しさがますますとなることが想定されます。そんな中、さまざまな事業と合わせ、県や市から設置された地方自治体から委託された事業を展開され、労働者への支援を強化され厳しい雇用状況の下、持続し、揺るぎなく安心した雇用環境づくりをされますことを期待しています。

結びとなりますが、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会の更なるご発展と皆様方のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

徳島県退職者連合
会長

川 越 敏 良

徳島県労働者福祉協議会設立 50 周年を心からお祝い申し上げます。

徳島県退職者連合は、1989 年に連合が結成された折に、現役である労働組合構成員と退職者が手を携え、車の両輪として、「働くことを軸とする安心社会」創造するために共に取り組む組織として構想され、1991 年 11 月に結成された「日本退職者連合」の徳島県組織として今年で 35 年を迎えています。

徳島県労働者福祉協議会は、1945 年の第 2 次世界大戦終結後の国民生活の混乱・窮乏期に、立場や思想の違いを超えて、「福祉は一つ」として結成した「労務者用物資対策中央連絡協議会」を前身とする労働者福祉中央協議会の徳島県組織として、全国的には一番最後に結成されたと聞いていますが、今や労働者福祉事業の中核としてのみならず、地域若者ステーション事業や生活困窮者自立支援事業、在住外国人支援事業や障害者支援事業、そしてホームヘルプ事業など、労協協運動の模範として全国にその光を放っています。

徳島県退職者連合も、徳島県労福協の活動があったからこそ、構成組織の一員として、医療・介護をはじめとする高齢者福祉の充実をめざしてその一翼を担ってこれることができたと自負しています。

改めて労福協設立 50 年の間、支え、そしてご尽力されてこられた歴代役職員を始め、関係者の皆様方に心から敬意と感謝を申し上げます。そして、厳しい情勢ではありますが、引き続き県内の労働者福祉の中核・砦として拡充・ご奮闘されることをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とします。

設立の経緯から公益法人移行まで

1. 前史

敗戦後の極度の貧困や混乱のなか食糧危機や生活必需品の確保などを目指し、1949年8月30日に、中央物対協（労務者用物資対策中央連絡協議会）として結成されました。発足にあたっては、「この協議会を産業別単産及び単産の上部組織（中央労働団体）の枠を超えたものとし、各単産の福祉対策諸活動を連絡調整しあって意志統一をはかると共に、互助共済機能の活発化による福祉の増進、社会保障制度の確立、労働者の生活福祉問題解決のための政治的結集をはかる組織とする」先駆的な宣言であり、日本の労働者福祉運動にとっての基本的な道筋を明らかにしています。

2. 中央福対協（労働組合福祉対策中央協議会）へ改編と中央労福協への改称

1950年9月12日には、創立総会が東京駅会議室で行われ、「労働者団体の福祉・厚生部門担当責任者の結集体」とし中央労福協への14年間は活動分野の拡大と自主福祉事業が次々と誕生しました。

中央福対協は1957年「労働福祉中央協議会」に改称され、5年後の1962年、現在の「労働者福祉中央協議会」となりました。この間、大蔵省（現財務省）からの共済規制に対し、労済生協を中心に「労働者共済規制反対共闘会議」が結成され反対闘争が行われ勝利に終わりました。「労働者福祉の概念」については、労働運動の一環として統一的に把握し、方向づける目的で、1960年第12回総会の基本綱領案、1962年第14回総会の「労働者福祉運動の基本的考え方—綱領にかえて」で提案され、1974年第26回総会で採択されました。「基本理念」「運動の原則」「労福協の任務」で構成されています。

3. 連合結成と中央労福協

連合は「総合福祉ビジョン」を打ち出し、自主福祉事業の重視、強化を掲げました。そういった状況のなかで、中央労福協は存在意義を問われ、労働者福祉を主軸としながら国民的福祉へと視野を広げていくこととしました。1993年2月19日の第45回定期総会では、「中央労福協指針」が確認されました。

4. 地方労福協の組織化

1952年中央福対協第4回総会で、地方労福協結成を決議し、1959年にはブロック協議会の設置要綱が定められました。1964年、中央労福協に改称以降、1975年の徳島労福協、沖縄労福協の設立をもって全国47都道府県に設置されました。

5. 事業団体設立への道

1945年11月に創立された日本協同組合は「生活協同組合金融機関の設立」を目指して取り組むこと、1949年11月、総同盟は第4回大会で「労働銀行の創設及び共済等をはじめとする協同事業活動の推進」を決議採択しました。1950年7月の総評結成大会では、「スト資金積立て、罷業金庫・中央労働金庫設立」の方針が掲げられました。

1950年の岡山・兵庫両県における労働金庫の設立がきっかけとなり、1953年労働金庫法が制定されました。

労働者共済事業については、中央福対協として「共済専門委員会」を設立して取り組みました。1954年に火災共済事業を中心とした大阪労働者生協が誕生し、

1955年には新潟福対協が共済生協を発足させました。発足直後に新潟大火災がおこり、全国の仲間からの支援により迅速な給付を行い、大きな評価を受けました。そして1957年の東京労済の認可後全国に波及しました。一方では、単産・産別の共済も発足しました。1957年には労済連（全国労働者共済生活協同組合連合会）が結成され本格的な歩みをはじめました。

6. 徳島県労協結成への経緯

徳島県の労働者福祉運動は事業団体から出発しました。1954年6月21日に徳島県労働金庫が創立され、その後1958年1月19日に徳島県共済生活協同組合が設立されました。

1975年5月13日に、徳島県労働福祉会館で徳島県労働者福祉協議会設立総会が開催されました。当時、全国で労働者福祉協議会が設置されていない県は、徳島県と沖縄県となっていました。

設立までの経過報告では、「昭和49年以来徳島県労働組合評議会もその必要性を強調し、毎年の大会において設立の決議を全会一致で行い、関係団体に協力要請がなされてきました。徳島地方同盟もそれぞれの機関で検討された。昭和48年11月中央労働者福祉協議会の事務局長・佐々木正夫氏を招き、労働福祉についての講演ならびに、設立についての助言を受け、ただちに準備にとりかかり、準備会を発足せしめました」としています。

その関係団体は、「徳島県労働組合評議会」「徳島地方同盟」「民労連」「徳島県労働金庫」「徳島県共済生協」「勤住協」「基金協会」「労働福祉会館」「労信販」「学校生協」「県生協」でした。

1974年11月、準備会は1975年4月を目標に設立日程を定めました。また、発起人代表に、県評籾原、同盟齋、事務局楨の3名を選任しました。また、仮事務所を労働福祉会館内201号室におきました。

そして、1975年5月13日13時から、徳島県労働福祉会館において徳島県労働者福祉協議会設立総会が開催され、基本方針等が決定されました。

なお、1985年10月27日に臨時総会を開催し、社団法人徳島県労働者福祉協議会が設立されました。社団法人の認可を取得したのは1986年3月27日となっています。

7. 様々な事業展開と公益法人への移行

その後2002年頃より労働者福祉の様々な事業を開始していき、労働者福祉の拡充へ向けた様々な課題にも取り組んで来ました。並行して、2008年に施行された公益法人制度改革に伴う、特例民法法人から公益法人への移行へ向けた準備を進めていきました。2013年3月26日には公益社団法人の認可を取得し、同年4月1日を効力発生日とする移行登記を完了しました。以降も、労協協運動を具体化するための様々な事業展開を行い、今日に至ります。

1975年度	5月13日	設立総会	 <p>結成趣意書、規約、 発起人会</p>
	6月4日	高知労福協視察	
	12日	高松労働会館視察	
	17日	地方事務局会議 於大阪労働会館（～18日）	
	7月3日	西部ブロック会議 於岡山湯郷（～4日）	
	16日	第1回研究集会 於和歌山県労働福祉センターホール	
	25日	地方事務局長会議 於東京	
	30日	幹事会	
	8月8日	労福研四国支部結成大会 於松山	
	9月19日	学習会講師西村裕通 同志社大教授	
	10月31日	県商工労働部長会談	
	12月2日	幹事会	
	1月14日	地方事務局長会議 於東京	
	30日	西部ブロック会議 於山口市	
	2月20日	労福協総会 於福岡市	
	3月10日	幹事会	
1976年度	5月11日	全国事務局長会議 於東京	 <p>結成趣意書</p>
	6月4日	第1回西部ブロック幹事会 於徳島（～5日）	
	7月5日	第1回研究集会 於広島（～6日）	
	7日	昭和51年度西部ブロック総会 於広島	
	26日	徳島労福協第2回総会	
	8月26日	西部ブロック事務局長会議 於高松（～27日）	
	11月4日	西部ブロック会議 於岡山県玉野市	
	10日	消費者大会 於東京（～11日）	
	17日	昭和51年度第1回幹事会	
	1月21日	地方事務局長会議 於伊良湖岬（～22日）	
	2月4日	西部ブロック会議 於広島（～5日）	
16日	中央労福協第29回総会 於伊豆長岡		
3月17日	研究集会（中央佐々木事務局長を囲んで） 幹事会		
1977年度	10月20日	西部ブロック事務局長会議 於宮崎（～26日）	 <p>設立総会</p>
	11月25日	労働福祉ハンドブックの作成強化月間中央集会 於東京	
	29日	幹事会	
	12月16日	西部ブロック会議 於松山（～17日）	
	18日	持家セミナー 於郷土文化会館	
	20日	地方事務局長会議 於東京	
2月21日	西部ブロック会議 於岡山（～22日）		
23日	中央労福協第30回総会 於岡山		
1978年度	5月1日	夏のボーナスに向け労金預金獲得キャンペーンの実施	 <p>設立の経緯</p>
	12日	西部ブロック会議 於高知（～13日）	
	7月20日	地方事務局長会議 於片山津（～21日）	
	26日	市民生活相談デーの開設	
	8月25日	西部ブロック会議 於広島（～27日）	
	10月11日	西部ブロック会議 於高松（～12日）	
2月8日	西部ブロック会議 於福岡（～9日）		
20日	中央労福協第31回総会 於福島		
1979年度	5月18日	西部ブロック会議 於下松市	
	6月14日	沖縄研究集会 於沖縄県	
	7月26日	西部ブロック会議 於松江市	
	10月11日	研究集会 於高知市	
	11月12日	幹事会	
20日	北海道特産物共同購入		
24日	30周年記念式典於東京		

1979年度	12月12日	労済鳴門用地見学	
	13日	西・南ブロック交流会 於岡山	
	1月16日	地方労福協連絡会議 於東京	
	21日	余暇センター役員会	
	24日	幹事会	
	30日	学習会 於鳴門ハイツ	
	2月25日	余暇センター役員会	
	26日	中央労福協第32回総会 於愛知	
	3月14日	余暇センター役員会	
	22日	西部ブロック会議 於山口	
	31日	労館再建小委員会	
	1980年度	7月14日	幹事会
		8月19日	第6回定期総会
20日		西部ブロック総会 於広島（～21日）	
9月18日		西部ブロック事務局長会議 於米子市（～19日）	
10月20日		第2回研究集会地方労福協連絡会議 於盛岡市（～22日）	
27日		労働福祉への予算措置についての要請申し入れ	
11月1日		第1回労働者囲碁・将棋大会	
25日		強化月間中央集会、政府交渉 於東京	
12月10日		西部ブロック事務局長会議 於松山（～11日）	
1月19日		西部ブロック労働団体、事業団体懇談会 於徳島千秋閣	
2月13日		中央労福協第33回総会 於宮崎市	
3月25日		西部ブロック事務局長会議 於松江市（～26日）	
1981年度		6月29日	西部ブロック研究集会（～30日）
	7月1日	地方労福協連絡会議 於松山	
	7月9日	西部ブロック総会（～10日）	
	8月24日	意識調査実施県打合会 於東京	
	9月25日	西部ブロック事務局長会議 於湯郷（～26日）	
	10月15日	地方労福協連絡会議 於宝塚	
	11月24日	労福協運動発展強化にむけての単産、地区労代表者会議開催	
	25日	労働福祉事業関係団体と知事との対話集會市長との懇話会 労館用地市と交渉して解決	
	12月21日	勤住「千代ヶ丸」分譲マンション売出し、宣伝活動への協力	
	2月14日	労福協主催第2回徳島県労働者囲碁・将棋大会開催	
	19日	中央労福協第34回定期総会（箱根）	
	3月31日	昭和56年度徳島県労働者福祉協議会事業費等補助金実績報告書	
	1982年度	4月12日	労働福祉会館各室見直しに対する各団体の希望調査について
12日		労福協会費改訂にむけての協力要請について	
26日		労働者福祉まつり実行委員会の開催	
5月8日		医療費ノート配布	
12日		福祉まつり実施県視察（和歌山県）	
6月3日		労福協実務者会議	
3日		西部ブロック幹事会 於広島市（～4日）	
17日		第6回拡大幹事会	
29日		地方労福協連絡会議 於宮城	
30日		第1回研究集会 於宮城	
7月1日		第8回徳島労福協定期総会	
15日		西部協議会定期総会 於米子市（～16日）	
8月2日		労働福祉基金設立準備委員会	
12日		労館再建専門委員会	
30日		「はたらく者の福祉」発行	
9月21日	西部ブロック第1回事務局会議 於徳島市（～22日）		

1982年度	11月14日	第1回労働者福祉まつり 於藍場浜	
	12月2日	西部ブロック研究集会 於岡山市(～3日)	
	14日	労館再建専門委員会	
	1月13日	地方労福協連絡会議 於東京	
	2月1日	西部ブロック事務長会議 於高松市	
	3日	昭和58年度予算編成にあたっての労福協事業への支援について	
	18日	第35回定期総会 於松山市	
	3月23日	公益法人等の収益事業に関する課税問題対策会議	
	1983年度	4月6日	公益法人(労働組合)事業課税問題対策委員会開催について
		5月18日	労働金庫夏季預金運動実施アピールの配布
7月5日		西部ブロック総会 於岡山市(～6日)	
15日		第9回総会 於昭和会館	
21日		中央労福協83年度第1回研究集会 於函館市(～22日)	
8月9日		「福祉まつり」第1回実行委員会 於昭和会館	
21日		県母親大会「年金についての話」	
9月2日		「福祉まつり」第2回実行委員会 於昭和会館	
19日		西部ブロック幹事会 於山口市	
10月5日		第2回幹事会並びに「福祉まつり」第3回実行委員会	
8日		第3回労働者「囲碁・将棋大会」 於猪の山会館	
15日		福祉ハンドブック配布	
20日		地方労福協連絡会議並びに第2回研究集会 於高石市(～21日)	
28日		西部ブロック研究集会(～29日)	
11月13日		第2回「労働者福祉まつり」 於藍場浜	
12月1日		地方労福協連絡会議 於東京	
6日		西部ブロック幹事会 於高松市	
1月20日		県予算編成に対す要請書提出	
2月8日		税金問題と確定申告実務学習会 於昭和会館	
16日		西部ブロック幹事会 於徳島市	
24日		中央労福協第36回定期総会 於鬼怒川	
1984年度		4月10日	地方労福協連絡会議 於東京
	5月7日	事業団体・労働団体合同会議・労金会議室	
	7月16日	第10回定期総会 於労働会館	
	20日	機関紙発行2,000枚	
	8月3日	地方労福協連絡会議 於東京	
	10日	第1回幹事会	
	9月1日	現行社会保険制度の要点発行	
	10月3日	西部ブロック労福協幹事会 於松山(～4日)	
	6日	ゴルフコンペ 於御所カントリー	
	13日	囲碁・将棋大会 於眉山会館	
	22日	中央労福協第2回研究集会 於岡山(～23日)	
	29日	第2回幹事会・第2回福祉まつり実行委員会 実務担当者合同会議 於労働会館	
	31日	地域生協設立準備小委員会	
	11月11日	第3回「労働者福祉まつり」 於藍場浜	
	21日	生協設立準備資金確立のための協力要請	
	28日	西部ブロック労福協研究集会 於米子(～29日)	
	12月7日	地方労福協連絡会議 於東京	
	2月1日	県勤労青少年美術展 於郷土文化会館(～2日) 県勤労青少年美術展優秀作品表彰式	
	6日	西部ブロック労福協幹事会・地区労福協交流集会 於山口(～7日)	
	15日	税金対策学習会 於労働会館(～23日)	
	3月5日	確定申告(還付請求)書類作成指導(～13日)	

1985年度

- 4月17日 県商工労働部、労働団体、事業団体懇話会
6月27日 中央労福協第1回研究集会 於新潟市（～28日）
7月25日 第11回定期総会 於昭和会館
9月3日 地方労福協連絡会議 於東京
10月9日 県評定期大会
12日 第2回ゴルフコンペ 於御所カントリークラブ
19日 財団法人徳島県福祉基金協会設立にともなう県交渉
27日 臨時総会・社団法人労福協第1回設立総会 於昭和会館
11月9日 県労福協主催第1回労働福祉問題研修会 於昭和会館
22日 徳島地方同盟結成20周年記念パーティー 於厚生年金会館
27日 社団法人徳島県労働者福祉協議会設立にともなう臨時総会 於昭和会館
12月15日 第4回労働者福祉まつり 於昭和会館全館
2月17日 労福協社団法人許可申請
21日 中央労福協第38回定期総会 於沖縄
3月27日 労福協社団法人許可取得

1986年度

- 4月5日 社団法人徳島県労働者福祉協議会、法務局への登録完了
19日 社団法人労福協第1回理事会（第8回幹事会） 於昭和会館
6月11日 西部労福協幹事会 於岡山
10月1日 （社）労福協第2回総会
16日 中央労福協86第2回研究集会 於徳島市偕楽園（～17日）
11月4日 「労働者福祉強化協力預金」の取扱いについて打ち合わせ
7日 強化月間中央集会各省庁交渉
13日 地域労働運動強化全県交流集会
25日 西部協議会研究集会（～26日）
12月13日 第3回チャリティゴルフコンペ
1月9日 住宅事業特別対策委員会
22日 労金一本化研修会
29日 地方労福協連絡会議 於東京
2月1日 住宅事業特別対策委員会第2回
14日 県勤労青少年美術展（～15日）
20日 第39回定期全国総会
24日 勤住団地視察
3月3日 第3回住宅事業対策委員会
21日 第5回労働者福祉まつり

1987年度

- 4月1日 勤住再建対策委員会
4日 売上税粉碎県民集会
27日 第1回地方労福協連絡会議 於熱海
5月13日 県民との懇談会
27日 第3回総会 第1回理事会
6月12日 第2回労福協総会
23日 西部ブロック幹事会 於鳥取
7月9日 中央労福協第1回研究集会 於岩手県
10日 地方労福協連絡会議 於岩手県
8月5日 労福協第3回理事会
18日 囲碁将棋大会
10月2日 第4回労福協理事会
15日 中央労福協第2回研究集会 於鹿児島（～16日）
11月6日 各省庁交渉 於東京
23日 第4回ゴルフコンペ 於御所カントリー
12月1日 対県交渉
16日 第6回福祉まつり実行委員会（第1回）
1月21日 西部ブロック研究集会

1987年度	1月21日	労福協理事会 於厚生年金会館		
	2月19日	中央労福協第40回定期総会 於山口市		
	3月20日 22日	第6回労働者福祉まつり 於藍場浜 労福協第6回理事会		
1988年度	4月21日	地方労福協連絡会議		
	5月17日 23日 31日	高知旅行会より来徳協議 第4回通常総会 西部労福協幹事会 於松山市		
	6月23日	第1回全国研究集会 於白浜（～24日）		
	7月5日 12日 15日 20日	山口労福協旅行会設立式典 於湯田 地方労福協連絡会議 於東京 旅行会調査委員会 西部ブロック総会 於岡山		
	8月20日 22日	囲碁・将棋大会 於眉山会館 旅行主任受験講座 於京都（～24日）		
	10月13日 17日	第2回全国研究集会 於湯沢（～14日） 市長交渉「中小企業勤労者福祉サービスセンター」		
	11月11日 17日 23日	労働者福祉強化月間中央集会 年金福祉協会10周年記念祝賀会 第5回ゴルフコンペ		
	12月1日 13日 15日	徳島労福協研究集会 中小企業勤労者福祉サービスセンター設立協議 地方労福協連絡会議 於東京		
	1月11日 2月7日 18日	西部協幹事会 於広島 税金学習会 青少年美術展		
	3月22日	池田地区福対協打合会 於池田		
	1989年度	4月13日	西部協議会 於米子市（～14日）	
		5月1日 9日 10日 16日 24日	第8回労働者福祉まつり・メーデー 地方労福協連絡会議 於東京 西部協議会研究集会 於広島市（～11日） 中小企業サービスセンター視察 於堺市・八尾市 第5回通常総会	
		6月22日 7月17日	西部協幹事会 於岡山市（～23日） 西部協総会 於松山市（～18日）	
		9月10日 12日 13日 18日	旅行主任受験 於京都市 中央労福協40周年記念式典 中央交渉 西部協議会事務局長・幹事会 於高松市（～19日）	
		10月17日 29日	「中小企業福祉サービスセンター」設立の協議 第8回囲碁・将棋大会 於県教育会館	
		11月11日 23日 30日	労働金庫30周年記念式典 於グランドパレス 第6回ゴルフコンペ 西部協議会幹事会 於厚生年金会館	
		12月10日 14日 2月17日	連合徳島結成大会 於千秋閣 地方労福協連絡会議 於東京 青少年美術展 於シビックセンター（～19日）	
		3月14日	西部協議会研究集会 於高知市	
		1990年度	5月1日 22日 23日	第9回労働者福祉まつり・第61回メーデー 地方労福協連絡会議 於東京 第6回通常総会 会館総会 勤住協総会
			6月5日	西部協幹事会 於広島市（～6日）

1990年度	6月22日	中央労福協 90 年第 1 回研究集会 於北海道（～ 23 日）
	7月17日	西部協総会 於島根県（～ 18 日）
	8月 1日	対徳島市交渉
	21日	中央労福協、地方代表者会議 於東京
	9月 1日	第 9 回囲碁・将棋大会 於会館
	21日	労働者福祉強化月間中央集会関係省庁交渉 於東京
	10月 4日	中央労福協 90 年第 2 回研究集会 於箱根（～ 5 日）
	19日	余暇推進講座 於森林公園
	11月 1日	西部協幹事会 於山口市
	5日	労福協研修会
	16日	ゆとり創造シンポジウム 於文化の森
	23日	第 7 回チャリティゴルフ大会
	2月 1日	徳島市長交渉 中小サービスセンター
	8日	西部協議会研究集会 於山口市
	21日	中央労福協第 43 回定期総会 於佐賀県
	3月 6日	勤労婦人セミナー 於厚生年金会館
	17日	勤労者グランドゴルフ研修会 於吉野川グラウンド
1991年度	5月 1日	第 62 回メーデー
	13日	地方労福協連絡会議 於東京
	23日	第 7 回通常総会・会館総会・勤住協総会
	30日	西部協幹事会 於岡山市
	6月25日	中央労福協 91 年第 1 回研修会 於広島市（～ 26 日）
	7月 5日	徳島市企業振興課と折衝
	10日	西部協幹事会 於岡山市
	25日	西部労福協総会 於足摺岬（～ 26 日）
	9月11日	ゆとり推進講座 於相生町
	14日	第 10 回囲碁大会 於会館
	10月13日	ILO 調査団壮行会出発 於徳島空港
	22日	中央労福協研究集会 於福井県
	11月 6日	ゆとり県民キャンペーンパレード
	8日	中央労福協政策集会（各省交渉） 於東京
	10日	ファミリーふれあいフェスティバル 於鴨島町
	14日	ゆとり創造シンポジウム 於鳴門市
	17日	第 10 回福祉まつり（運動会） 於鳴門市
	23日	第 8 回チャリティゴルフ大会
	12月12日	ILO 調査団総括会議
	1月17日	地方労福協連絡会議 於東京
	2月 1日	青少年美術展 於シビックセンター（～ 3 日）
	18日	西部協幹事会 於高松市
	26日	中央労福協第 44 回定期総会 於群馬県
3月15日	余暇推進・グランドゴルフ講習会 於貞光町	
1992年度	4月14日	西部労福協研修会 於鳥取市（～ 15 日）
	21日	地方労福協連絡会議 於東京
	5月13日	中央労福協研修会 於福島県（～ 14 日）
	25日	第 8 回通常総会会館総会勤住協総会
	7月31日	西部労福協総会 於三次市
	8月18日	「ゆとり宣言」対策委員会
	9月16日	中小企業サービスセンター対策委員会
	19日	第 11 回囲碁大会 於会館
	10月27日	女性いきいきセミナー 於福祉センター
	11月 6日	中央労福協政策集会 於東京
	8日	「ゆとり宣言」フェスティバル 於鴨島町

1992年度	11月12日	ゆとり創造シンポジウム 於文化の森
	14日	第11回福祉まつり(運動会) 於吉野川グラウンド
	23日	ゆとりチャリティゴルフ
	12月21日	交通安全旗県に寄贈(チャリティーゴルフ)
	1月26日	中央労福協連絡会 於東京
1993年度	2月19日	中央労福協第45回定期総会 於松山市
	20日	青少年美術展 於シビックセンター(～22日)
	5月1日	第64回メーデー
	12日	中央労福協連絡会議 於東京
	25日	第9回通常総会会館総会・労働金庫総会
	6月1日	中央労福協研修会 於蒲郡市(～2日)
	23日	徳島市長交渉
	8月15日	西部労福協総会 於徳島市
	9月4日	第12回囲碁大会 於会館
	28日	中央労福協研修会 於栃木県(～29日)
	10月19日	西部労福協幹事会 於岡山市
	25日	中央労福協連絡会議 於東京
	11月1日	余暇推進 剣山登山
	10日	「ゆとり宣言」フェスティバルオープニング 於文化の森
	11日	労働者福祉メーデー高齢者福祉フォーラム
	23日	ファミリーふれあいフェスティバル第12回 福祉まつり第10回チャリティゴルフコンペ
	27日	余暇推進ボウリング講習会
	29日	県、労福協要請交渉
	12月11日	中部地協ボウリング大会
	1月24日	中央労福協連絡会議 於東京
19日	青少年美術展 於シビックセンター(～21日)	
21日	生涯生活設計セミナー 於クレメント徳島(～22日)	
25日	中央労福協第46回定期総会 於天童市	
3月19日	余暇推進大谷焼講習会	
1994年度	5月1日	第65回メーデー
	10日	中央労福協研修会 於熊本市(～11日)
	12日	池田町福祉対策協議会総会
	26日	第10回通常総会・会館総会・労働金庫総会
	7月17日	第1次中央労福協アジア視察団(～27日)
	18日	西部労福協総会 於米子市
	25日	中央労福協連絡会議 於山梨
	8月9日	21世紀福祉セミナー
	9月11日	余暇推進文化を訪ねる日帰りツアー
	24日	第13回囲碁大会 於徳島囲碁サロン
	29日	中央労福協研修会 於山口市(～30日)
	10月10日	わかものと福祉の集い 於東京
	16日	三好郡勤労者福祉まつり 於池田町
	20日	女性いきいきセミナー 於厚生年金会館
	28日	福祉研究会全国研修会 於東京労金
	11月11日	「ゆとり宣言」フェスティバルオープニング
	12月1日	中央労福協全国連絡会議 於横浜市(～2日)
	1月20日	余暇推進スキー講習会 於剣山スキー場
	2月16日	東部地域労福協設立総会 於小松島市
	27日	徳島地域労福協設立総会 於労働会館
3月10日	中央労福協第47回定期総会 於熱海市	
1995年度	5月1日	第66回メーデー 於県下各地

1995年度

- 5月22日 丹東市交流団来徳・レセプション
25日 第11回通常総会・会館総会・労働金庫総会
6月13日 中央労福協研修会 於仙台市（～14日）
17日 労福研西日本研修会 於広島市
7月14日 ピースアクション21 結団式
17日 西部労福協総会 於広島市
8月 5日 池田町福対協野外映画のタベ 於教育会館
10日 ピースアクションマシイレ中学校合唱団
9月 2日 阪神大震災復興フォーラム 於神戸六甲山
9日 全労済協賛福祉研修会 於鳴門市（～10日）
10月24日 女性いきいきセミナー 於厚生年金会館
26日 労福研四国支部総会 於高松市
29日 余暇推進ゆとりバスツアー 於剣山・県南
11月 7日 「ゆとり宣言」フェスティバルオープニング
2月17日 県勤労者青少年美術展（～19日）
27日 中央労福協第48回定期総会 於石川県
28日 北部地域労福協結成総会 於鳴門市
中部地域労福協結成総会 於鴨島町
3月18日 福祉事情調査 於静岡県（～19日）
28日 西部地域労福協結成総会 於美馬福祉センター

1996年度

- 5月 1日 第67回メーデー 於県下各地
27日 第12回通常総会・会館総会・労働金庫総会
6月12日 中央労福協全国研修会議 於別府市（～13日）
7月 5日 6地域労福協結成記念交流会 於千秋閣
16日 西部労福協第26回定期総会 於松山市
9月13日 自然災害に対する保障制度を求める県民会議 於ホテルクレメント
17日 事業費助成に関する要請書提出
11月 7日 「ゆとり宣言」フェスティバルオープニング
9日 第15回福祉まつりふれあい運動会
10日 第15回ゆとり囲碁大会 於徳島囲碁サロン
15日 中小企業労働セミナー 於郷土文化会館
17日 ゆとりファミリーふれあいフェスティバル
18日 対県交渉（労福協要請課題）
19日 労福研四国支部総会、研究会 於高知市（～20日）
23日 第13回ゆとりチャリティゴルフ
2月10日 ホームヘルパー養成講座見学研修（～11日）
20日 中央労福協第49回定期総会（～21日）
3月17日 佐賀県サービスセンター視察（～18日）
19日 第2回地域労福協代表者会議
徳島県中小企業労働福祉会議

1997年度

- 4月15日 勤労者福祉ネットワーク設立記念レセプション
5月 1日 第68回メーデー 於県下各地
26日 第13回通常総会・会館総会・労働金庫総会
6月10日 中央労福協全国研究集会 於岐阜市（～11日）
26日 労働福祉調査・交流（南部地域労福協） 於苫小牧・札幌（～29日）
7月15日 西部労福協第27回定期総会（～16日）
8月11日 丹東市総工会代表団熱烈歓迎レセプション 於プリンスホテル
11月 8日 「ゆとり宣言」フェスティバル開幕式
11日 第5回労働者福祉メーデー 於労働会館
12日 労働福祉に関する県知事交渉
19日 第16回ゆとり囲碁大会 於徳島囲碁サロン
23日 ゆとりファミリーふれあいフェスティバル

1997年度	11月24日	第14回ゆとりチャリティゴルフ	
	27日	神戸市「しあわせの村」視察	
	1月24日	ホームヘルパー養成講座開講式	
	30日	鹿児島市サービスセンター視察（～31日）	
	2月13日	労福研西日本支部総会研究集会 於松山市（～14日）	
	19日	中央労福協第50回定期総会 於郡山市（～20日）	
	3月28日	ホームヘルパー養成講座修了式 於ホテルクレメント	
1998年度	5月1日	第69回メーデー 於県下各地	
	11日	中央労福協全国研究集会（～12日）	
	13日	一日介護教室 福祉なんでも相談ダイヤル（～14日）	
	17日	丹東市総工会友好交流第3次訪中（～24日）	
	26日	第14回通常総会会館総会	
	7月22日	西部労福協第28回定期総会（～23日）	
	9月30日	労働福祉に関する県要求書提出	
	10月15日	日中央労福協全国研究集会 於岡山（～16日）	
	21日	『架橋新時代』 於 OSAKA ベイエリア徳島 フォーラム 於プリンスホテル	
	29日	労福研四国支部総会・研修会（～30日）	
	11月6日	「ゆとり宣言」フェスティバル開会式 ゆとりであいフェスティバル98 於マハラジャ	
	19日	労働福祉に関する県知事要請交渉	
	22日	ゆとりファミリーふれあいフェスティバル	
	23日	第15回ゆとりチャリティゴルフ	
	1月23日	第2回ホームヘルパー養成講座開講式	
	2月12日	西部労福研定期総会・研修会 於下関市	
	18日	中央労福協第51回定期総会（～19日）	
	3月15日	富山ファミリーサポートセンター視察（～16日）	
	1999年度	4月30日	第4回理事会
		5月1日	第70回徳島中央メーデー
		18日	第1回地方労福協連絡会議（～19日）
		28日	第15回（通算25回）定期総会 労働福祉会館第29回通常総会
		6月3日	中央労福協第1回全国研究集会（～4日）
7月21日		西部労福協第29回定期総会（～22日）	
8月31日		『烏雲の学校』開校式代表団訪中（～13日）	
9月10日		第2回理事会／第1回地域労福協代表者会議 しまなみバスツアー	
10月7日		中央労福協第2回全国研究集会（～8日）	
11月7日		『ゆとり宣言』フェスティバル1999開会式典	
11日		第7回労働者福祉メーデー	
13日		オールデイズライブ	
14日		ふれあい祭り1999（第9回運動会・第18回福祉まつり）	
21日		ファミリーふれあいフェスティバル	
22日		2000年度の労働福祉に関する県知事交渉	
12月10日		第11回連合徳島定期大会 連合徳島結成10周年記念パーティー	
11日		内モンゴル庫倫一中丹東市総工会訪日熱烈歓迎レセプション	
1月6日		新年互礼会	
19日		省庁再編に伴う県労働行政の再編説明会	
28日		第3回理事会	
2月9日		労働福祉セミナー	



1999年5月28日 第15回通常総会



1999年11月7日『ゆとり宣言』フェスティバル開会式

1999年度	2月29日	南部地域労福協総会	
	3月 1日	福祉セミナー in とくしま	
	17日	中央労福協 50周年式典／第52回定期総会（～3日） 第2回地域労福協代表者会議 中小企業労働福祉推進会議	
2000年度	4月27日	第4回理事会	
	5月 1日	第71回徳島中央メーデー	
	23日	第16回（通算26回）定期総会 労働福祉会館第30回通常総会	
	6月 6日	中央労福協第1回全国研究集会（～7日）	
	10日	安全衛生管理者養成講座①②	
	7月21日	21世紀労働福祉ビジョン策定委員会	
	8月 3日	内モンゴル研修生双虎、紅霞さん歓迎レセプション	
	9月11日	第1回理事会／第1回地域労福協代表者会議	
	23日	第9回全国ボランティアフェスティバル in 徳島	
	10月12日	中央労福協第2回全国研究集会（～13日）	
	20日	福祉セミナー in 札幌	
	11月 3日	『ゆとり宣言』フェスティバル 2000 開会式典	
	8日	第8回労働者福祉メーデー	2000年11月3日 『ゆとり宣言』フェスティバル開会式
	11日	ふれあい祭り 2000（第10回運動会・第19回福祉まつり）	
	12日	日中合同児童写生大会	
	13日	2001年度の労働福祉に関する県知事交渉	
	19日	ファミリーふれあいフェスティバル	
	22日	第12回連合徳島中間期大会	
	1月10日	新年互礼会	
	17日	第6回21世紀労働福祉ビジョン素案検討委員会	
	25日	第2回理事会	
	2月11日	勤労者福祉ネットワーク日帰りツアー	
	19日	COOP ふくしま住宅事業部視察（～20日）	
	22日	中央労福協第53回定期総会（～23日）	
	3月 6日	第1回労働福祉会館リニューアル検討委員会	
	11日	鳥雲先生を囲む交流の集い（講演会・歓迎の夕べ）	
	16日	第2回地域労福協代表者会議	
2001年度	4月 6日	四国労働金庫発足パーティー	
	21日	連合徳島災害救済ボランティア養成講座開講式	
	26日	第3回理事会 第2回労働福祉会館リニューアル検討委員会	
	28日	福祉セミナー in とくしま 2	
	5月 1日	第72回徳島中央メーデー	
	24日	労働福祉会館第31回通常総会 第17回（通算27回）定期総会	
	6月 1日	第1回事務局スタッフ会議	
	5日	第1回地方労福協連絡会議（～6日）	
	6日	中央労福協第1回全国研究集会（～8日）	
	8月10日	中国丹東市総工会代表団歓迎レセプション	
	9月11日	第1回理事会／第1回地域労福協代表者会議	
	10月11日	中央労福協第2回全国研究集会（～12日）	
	23日	NPO 徳島労働安全衛生センター設立総会	
	29日	連合・福祉事業団体意見交換会	
	11月 3日	「ゆとり宣言」フェスティバル 2001 開会式典	
8日	第9回労働者福祉メーデー		
10日	ふれあい祭り 2001（第11回運動会・第20回福祉まつり）		
		2001年11月10日 ふれあい祭り 2001	

2001年度

- 11月17日 ゆとりウォークラリー in 徳島
- 18日 ファミリーふれあいフェスティバル
- 19日 2002年度の労働福祉に関する県知事交渉
- 22日 第13回連合徳島定期大会
- 27日 フレッセ住宅センター設立総会・パーティー
- 12月1日 四国労働金庫徳島支店改装記念祝賀会
- 8日 NPOフォーラム
- 1月9日 新年互礼会
- 24日 第2回理事会
- 2月21日 中央労福協第54回定期総会（～22日）
- 3月2日 障害者就業・生活支援ネットワーク会議
- 16日 高齢者支援フォーラム



2001年11月18日 ファミリーふれあいフェスティバル

2002年度

- 4月23日 第3回理事会
- 5月1日 第73回徳島中央メーデー
- 18日 福祉セミナー in とくしま3
- 24日 第18回（通算28回）定期総会／第1回理事会
労働福祉会館第32回通常総会
勤住協総会・第1回理事会
- 6月1日 労働福祉アドバイザー養成講座開講式
- 3日 大田知事との意見交換会
- 5日 中央労福協全国研究集会（～6日）
- 27日 徳島雇用能力開発機構との打合せ
- 7月20日 日中国交正常化30周年記念事業委員会①
- 23日 税務サポート研修会
- 31日 全労済徳島県本部総会
- 8月2日 NPO労働安全衛生センター第2回総会
- 19日 ワークシェアリング検討委員会
- 27日 生涯生活サポート「退職前セミナー」準備会②
- 9月12日 第2回理事会
- 10月3日 連合地協発足10周年記念レセプション
- 11月9日 『ゆとり宣言』フェスティバル2002 開会式典
ふれあい祭り2002（第12回運動会・第21回福祉まつり）
- 12日 第10回労働者福祉メーデー
- 15日 2003年度の労働福祉に関する県知事交渉
- 16日 生涯生活サポート「退職前セミナー」一泊コース（～17日）
- 17日 ファミリーふれあいフェスティバル
- 22日 第14回連合徳島中間期大会
- 23日 チャリティゆとりゴルフコンペ
街角なんでも相談
- 24日 男の料理教室
- 12月2日 仕事なんでも相談室開所式
2003年度の労働福祉に関する徳島市長交渉
- 3日 徳島市勤労者福祉サービスセンター1,000名突破記念の集い
- 1月8日 新年互礼会
- 17日 連合南部地協発足10周年記念レセプション
- 29日 第3回理事会
- 2月14日 第21回西部労福協研究集会
- 20日 中央労福協第55回定期総会（～21日）
- 3月28日 第2回地域労福協代表者会議



2002年11月16日 退職前セミナー



2002年11月23日 街角なんでも相談

2003年度

- 4月21日 西部労福協第4回幹事会（～22日）
- 23日 徳島県労使就職支援機構設立総会
- 24日 第4回理事会

2003年度

- 5月 1日 第 74 回徳島中央メーデー
- 23日 労働福祉会館第 33 回通常総会
第 19 回（通算 29 回）定期総会
- 24日 福祉セミナー in とくしま 4
- 6月 13日 川崎労福協との意見交換会（～ 14 日）
- 19日 中央労福協全国研究集会（～ 20 日）
- 27日 障害者運転免許取得南部講座開講式
- 7月 3日 西部労福協ホームページ研修会（～ 4 日）
- 19日 福祉団体合同研修ソウルツアー（～ 21 日）
- 28日 西部労福協第 33 回総会（～ 29 日）
- 8月 5日 徳島県商工労働部労福協連絡会議
- 9月 3日 飯泉知事との懇親会
- 16日 鳥取労福協の無料職業紹介事業の視察
- 29日 無料職業紹介事業認定の申請に関する要請
- 10月 18日 ねんりんピック徳島 2003（～ 21 日）
- 31日 滋賀県労福協との交流会
- 11月 8日 『ゆとり宣言』フェスティバル 2003 開会式典
ファミリーふれあいフェスティバル
- 11日 第 11 回労働者福祉メーデー
- 12日 2004 年度の労働福祉に関する徳島市長交渉
- 15日 ふれあい祭り 2003（第 13 回運動会・第 22 回福祉まつり）
- 16日 第 22 回ゆとり囲碁大会
- 17日 2004 年度の労働福祉に関する県知事交渉
- 28日 中央労福協第 56 回定期総会
第 15 回連合徳島定期大会
- 1月 7日 新年互礼会
- 23日 第 2 回理事会
- 2月 25日 南部地域労福協総会
- 3月 17日 第 2 回地域労福協代表者会議



2003年10月31日 滋賀県労福協との交流



2003年11月15日 ふれあい祭り 2003

2004年度

- 4月 2日 中央労福協ブロック事務局会議
- 30日 会計監査
- 5月 1日 第 75 回徳島中央メーデー
- 12日 第 3 回理事会
- 21日 第 20 回（通算 30 回）定期総会
労働福祉会館第 34 回通常総会
- 27日 中央労福協第 1 回国内（徳島）交流（～ 28 日）
- 6月 3日 中央労福協全国研究集会（～ 4 日）
- 24日 障害者就業支援自動車運転免許取得特別講座第 1 回運営委員会
- 25日 四国労働金庫総会
- 7月 23日 中国内モンゴル自治区通遼市代表団交流のタベ
- 9月 3日 ジョブカフェ IT 技能講習①修了式
- 12日 空海入唐 1200 年記念講演会
- 14日 第 2 回理事会／第 1 回地域労福協代表者会議
新しい自立化支援塾発足会議
- 21日 飯泉知事との昼食懇親会
- 10月 1日 ジョブとくしま無料職業紹介所開所式
- 8日 ボランティア友の会ひまわり総会
- 11月 6日 『ゆとり宣言』フェスティバル 2004 開会式典
ピープルファースト全国大会 in 徳島
- 8日 2005 年度の労働福祉に関する徳島市長交渉
- 9日 第 12 回労働者福祉メーデー
- 13日 第 14 回運動会（第 23 回福祉まつり）※雨天中止



2004年5月27日 中央労福協第1回国内交流



2004年10月1日 ジョブとくしま無料職業紹介所開所式

2004年度	11月15日	2005年度の労働福祉に関する県知事交渉		
	19日	第16回連合徳島中間期大会		
	21日	ファミリーふれあいフェスティバル		
	12月8日	ワークシェアリング講演会		
	1月11日	新年互礼会		
	25日	第3回理事会		
	2月9日	香川労福協からの視察		
	3月29日	次世代育成支援対策協議会発足会議 労働福祉会館リニューアル推進委員会三役会議		
	2005年度	4月14日	第7回労働福祉会館リニューアル検討委員会	
		26日	第3回理事会	
		5月1日	第76回徳島中央メーデー	
		13日	個人情報保護法の研修会	
20日		勤労者福祉ネットワーク評議員会・理事会		
27日		第21回（通算31回）定期総会 労働福祉会館第35回定期総会		
6月2日		中央労福協全国研究集会（～4日）		
24日		四国労働金庫定期総会		
7月6日		労働福祉会館理事会・リニューアル推進委員会		
20日		第1回労使環境評価システム検討委員会		
8月9日		第1回次世代育成支援情報連絡調整会議		
22日		徳島県商工労働部との協議		
27日		第6期労働安全衛生管理者養成講座開講式①②		
9月1日		鳴門市ファミリー・サポート・センター発足記念式典		
12日		第2回理事会／第1回地域労福協代表者会議		
15日		西部ブロック会館協議会幹事会・総会		
		第1回仕事・子育てなんでも相談		
10月11日		労使就職支援機構簿記3級講座開講式		
24日		中央労福協第6回幹事会・役員選考委員会		
25日		徳島地区労働問題連絡協議		
28日		次世代育成支援セミナー		
11月5日		『ゆとり宣言』フェスティバル2005開会式典		
8日		第13回労働者福祉メーデー		
10日		2006年度の労働福祉に関する徳島市長交渉		
12日		ふれあい祭り2005（第15回運動会・第24回福祉まつり）		
20日		ファミリーふれあいフェスティバル		
24日		中央労福協第57回定期総会		
25日		第17回連合徳島定期大会		
29日	2006年度の労働福祉に関する県知事交渉			
1月12日	新年互礼会			
31日	第3回理事会			
2月9日	4県労福協と四国労働金庫との懇親会			
3月9日	第1回くーぽん丸運営委員会			
2006年度	4月20日	西部労福協第1回幹事会（～21日）		
	27日	第4回理事会		
	5月1日	第77回徳島中央メーデー		
	15日	さわやか財団との第1回協議（～16日）		
	19日	ホームレス支援！医療・福祉・仕事巡回相談		
	26日	第22回（通算32回）定期総会		
	6月8日	中央労福協全国研究集会（～9日）		
	19日	徳島県少子化対策県民会議		
	24日	徳島県日中友好協会理事会・総会		

2005年5月1日 第76回徳島中央メーデー

2005年11月20日 ファミリーふれあいフェスティバル

2006 年度

- 6月 27日 労働福祉会館第 36 回定期総会
- 7月 7日 静岡県浜北地区労福協視察団との意見交換
- 12日 徳島県少子化対策県民会議第 1 回検討部会
- 8月 11日 徳島県経済再生戦略会議
- 9月 4日 徳島県若者サポートステーション開所式
- 5日 第 2 回理事会／第 1 回地域労福協代表者会議
- 16日 創ろう協働！生み出せ活力！シンポジウム
- 20日 第 65 回全国産業安全衛生大会（～ 22 日）
- 30日 働けない若者の自立支援を考えるシンポジウム
- 10月 25日 第 5 回徳島市就学前児童対策検討会議
- 11月 8日 『ゆとり宣言』フェスティバル 2006 開会式典
- 第 14 回労働者福祉メーデー
- 9日 2007 年度の労働福祉に関する徳島市長交渉
- 11日 ふれあい祭り 2006（第 16 回運動会・第 25 回運動会）
- 22日 第 18 回連合徳島中間期大会
- 23日 第 23 回ゆとりチャリティゴルフ
- 26日 ファミリーふれあいフェスティバル
- 27日 2007 年度の労働福祉に関する徳島県知事交渉
- 30日 労使就職支援機構ホームヘルパー養成講座 2 修了式
- 1月 11日 新年互礼会
- 20日 西部ライフサポートセンター設立総会
- 27日 福祉セミナー in とくしま 5
- なのはなヘルパーステーション開所式
- 29日 第 3 回理事会
- 2月 17日 第 10 回全労済・労福協ホームヘルパー養成講座開講式
- 3月 11日 自動車運転免許取得特別講座 5 周年記念の集い
- 13日 第 1 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議
- 29日 滋賀労福協・生協視察団との意見交換（～ 30 日）



2006 年 9 月 4 日 若者サポートステーション開所式



2007 年 1 月 27 日 なのはなヘルパーステーション開所式

2007 年度

- 5月 1日 第 78 回徳島中央メーデー
- 8日 第 4 回理事会
- 11日 西部労福協四国 88 霊場めぐり交流事業（～ 12 日）
- 20日 全徳島建設労働組合（フレッセ）第 42 回定期大会
- 23日 第 23 回（通算 33 回）定期総会
- 労働福祉会館第 37 回定期総会
- 菅井事務局長を囲む会
- 6月 7日 中央労福協全国研究集会（～ 8 日）
- 14日 ホームレスまちかど相談（医療・福祉・仕事）
- 21日 ホームページの拡充に向けた中央労福協との検討協議
- 7月 13日 第 2 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議
- 17日 NPO 徳島労働安全センター第 6 回定期総会
- 8月 1日 第 1 回地域労福協代表者会議
- 12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦 2007（～ 15 日）
- 9月 3日 連合徳島・丹東市総工会友好交流（第 7 次）訪中（～ 9 日）
- 8日 第 39 次欧州労働者福祉視察（～ 18 日）
- 20日 2007 年度事業団体・地方労福協合同会議（～ 21 日）
- 22日 「徳島県若年者すだちセミナー II」講演会
- 26日 第 3 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議
- 10月 9日 徳島県・労働者福祉に関する 2008 年度事業への支援要請
- 徳島市・労働者福祉に関する 2008 年度事業への支援要請
- 12日 西部ライフサポートセンター「やさしい介護体験教室」
- 11月 6日 『ゆとり宣言』フェスティバル 2007 開会式典
- 第 15 回労働者福祉メーデー



2007 年 5 月 8 日 第 4 回理事会



2007 年 05 月 23 日 菅井事務局長を囲む会

2007年度	11月 6日	割賦販売法改正・多重債務者救済の街頭行動	
	10日	ふれあい祭り 2007 (第 17 回運動会・第 26 回福祉まつり)	
	13日	中部地域労福協「次世代育成支援セミナー」	
	14日	2008 年度の労働福祉に関する徳島市長交渉	
	18日	ファミリーふれあいフェスティバル	
	21日	中央労福協第 58 回定期総会 (～ 19 日)	
	23日	ゆとりチャリティゴルフ	
	30日	第 19 回連合徳島定期大会	
	12月 12日	2008 年度の労働福祉に関する県知事交渉	
	1月 9日	新年互礼会	
	22日	第 4 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議	
	29日	第 3 回理事会／第 2 回地域労福協代表者会議	
	2月 16日	福祉セミナー in とくしま 6	
	2008年度	4月 22日	第 5 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議
		30日	第 1 回『労福協 NEWS』共同デスク編集委員会
		5月 1日	第 79 回徳島中央メーデー
		8日	第 4 回理事会
		23日	労働福祉会館第 38 回通常総会 第 24 回 (通算 34 回) 定期総会
		6月 5日	中央労福協全国研究集会 (～ 6 日) 後期高齢者医療制度の撤廃を求める「庶民怒りの緊急行動」
6日		全労済徳島県本部 50 周年記念協力団体担当者交流ツアー	
24日		徳島県生活協同組合連合会第 15 回通常総会	
7月 12日		ヒューマンわーくびあ徳島リニューアルオープン記念事業～元気シニアの集い～	
22日		飯泉知事と働く女性の懇親会	
23日		第 6 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議	
31日		全労済徳島県本部第 33 回通常総会	
8月 26日		反貧困全国キャラバン 2008in 徳島出発式／駅前行動	
28日		医療・福祉・仕事まちかど相談	
9月 11日		2008 年度地方労福協事務担当者研修会 (～ 12 日)	
25日		西部労福協第 3 回幹事会 (～ 26 日)	
10月 2日		労福協先進地視察 (～ 4 日)	
7日		第 7 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議	
11月 8日		『ゆとり宣言』フェスティバル 2008 開会式典 第 1 回わーくびあフェスタ (第 27 回福祉まつり)	
11日		第 16 回労働者福祉メーデー	
12日		徳島市・労働者福祉に関する 2009 年度事業への支援要請	
14日		第 20 回連合徳島中間期大会	
16日		ファミリーふれあいフェスティバル	
17日		徳島県若者すだちセミナー III	
28日		徳島県・労働者福祉に関する 2009 年度事業への支援要請	
12月 8日		第 8 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議 第 1 回公益法人対策会議	
24日		生活保護・労働・多重債務住まい～何でも相談会～	
1月 8日		新年互礼会	
2月 21日	福祉セミナー in とくしま 7		
13日	雇用・能力開発機構委託「PC ビジネス科」開講式		
27日	平成 20 年度はぐくみ支援企業表彰式		
2009年度	4月 12日	自動車運転免許取得特別講座 7 周年のつどい	
	30日	第 4 回理事会	
	5月 1日	第 80 回徳島中央メーデー	
	29日	労働福祉会館第 39 回通常総会	



2008年8月26日 反貧困
キャラバン駅前行動



2008年11月8日 第1回
わーくびあフェスタ

2009年度

- 5月29日 第25回(通算35回)定期総会
- 6月4日 中央労福協全国研究集会(～5日)
- 7月8日 第9回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 10日 飯泉知事と福祉活動・働く女性との昼食懇親会
- 8月3日 第1回地域労福協代表者会議
- 15日 わーくびあ徳島『納涼祭』
- 9月4日 第2回理事会
- 7日 第41次欧州労働者福祉視察(～17日)
- 第100回事務局会議
- 10日 労福協先進県視察研修(～12日)川崎・長野
- 29日 第10回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 10月10日 賀川豊彦献身100年記念徳島県民フォーラム
- 27日 賀川豊彦献身100年記念韓国フォーラム(～29日)
- 11月7日 『ゆとり宣言』フェスティバル2009開会式典
- 第2回わーくびあフェスタ(第28回福祉まつり)
- 11日 第17回労働者福祉メーデー
- 13日 第21回連合徳島中間期大会
- 15日 ファミリーふれあいフェスティバル
- 19日 徳島市・労働者福祉に関する2010年度事業への支援要請
- 24日 賀川豊彦献身100年記念マーレーご夫妻歓迎式
- 25日 中央労福協第59回定期総会・60周年記念レセプション
- 27日 徳島県・労働者福祉に関する2010年度事業への支援要請
- 12月7日 第11回労働者福祉拡充へ向けた5団体会議
- 20日 生活保護・労働・多重債務～年越しなんでも相談会～
- 1月13日 新年互礼会
- 26日 第3回理事会/第2回地域労福協代表者会議
- 2月4日 第12回労働者福祉拡充へ向けた5団体会議
- 6日 「賀川豊彦に関する評論募集」表彰式並びに記念特別講演
- 10日 地域共生・協働研修会
- 20日 福祉セミナー in とくしま8
- 3月27日 連合徳島20周年記念講演・レセプション
- 28日 徳島中央ライフサポートセンター設立総会



2009年5月29日 第25回定期総会



2009年11月24日 マーレーご夫妻歓迎会

2010年度

- 5月1日 第81回徳島中央メーデー
- 21日 若者支援ジョブスタとくしま開所式
- 28日 労働福祉会館第40回通常総会
- 第26回(通算36回)定期総会
- 6月3日 中央労福協全国研究集会(～4日)
- 29日 「とくしま協働の森づくり事業」パートナーシップ協定締結式
- 7月7日 しゅうなん若者サポートステーション視察研修
- 16日 第13回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 8月2日 第2回地方労福協・就労支援連絡会議(～3日)
- 12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦2010(～15日)
- 9月6日 連合徳島・丹東市総工会(第8次)訪中(～12日)
- 11日 賀川豊彦没後50年記念「アフガン問題を考える」平和集会
- 14日 第2回理事会
- 18日 全国協同集会 in 四国「徳島プレ集会」
- 21日 長野労福協・NPO、山口労福協来県
- 25日 わーくびあ協働の森づくりキャンペーン
- 10月31日 賀川豊彦没後50周年記念県民フォーラム「賀川豊彦の再評価」
- 11月4日 第14回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 6日 『ゆとり宣言』フェスティバル2010開会式典
- 第3回わーくびあフェスタ(第29回福祉まつり)



2010年9月25日 協働の森づくりキャンペーン

2010年度

- 11月 6日 第18回労働者福祉メーデー
- 11日 西部労福協第29回研究集会(～12日)
- 12日 第22回連合徳島中間期大会
- 13日 いま「協同」を拓く2010全国集会in四国(～14日)
- 14日 ファミリーふれあいフェスティバル
- 25日 徳島市・労働者福祉に関する2011年度事業への支援要請
- 30日 徳島県・労働者福祉に関する2011年度事業への支援要請
- 12月 1日 労福協「介護職員基礎研修コース」開講式
- 15日 ジョブカレッジプロジェクト会議
- 18日 反・貧困2010in徳島「年越し相談会」
- 1月 7日 自治労徳島県本部旗開き
- 26日 第3回理事会/第2回LSC地域労福協代表者会議
- 2月 4日 湯浅誠内閣府参与「パーソナルサポートモデル事業意見交換会」
- 17日 西部労福協 第41回定期総会
- 19日 福祉セミナーinとくしま9
- 3月 4日 烏云先生と庫倫旗第一中学代表団歓迎会
- 5日 わーくウェル感謝と交流の集い



2011年3月5日 わーくウェル感謝と交流の集い

2011年度

- 4月 2日 なのはな花見
- 22日 西部労福協「中国地方の文化・歴史探訪『萩往還』」(～23日)
- 26日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 30日 監事監査
- 5月 1日 第82回徳島中央メーデー
- 6日 第4回理事会
- 16日 パーソナル・サポート・センターとくしま開所
- 27日 第27回(通算37回)定期総会および第1回理事会
- 徳島県労働福祉会館第41回通常総会
- 29日 フレッセ新事務所落成記念式典
- 30日 勤労者福祉ネットワーク第9回評議員会
- 6月 9日 中央労福協2011年度全国研究集会(～10日)
- 11日 徳島南部ライフサポートセンター設立
- 23日 労働安全衛生センター第10回定期総会
- 27日 新公益法人制度改革に関する情報交換会
- 7月16日 安全衛生管理者第12期養成講座開講式
- 19日 笹森会長お別れ会
- 23日 シニア労働者地位庫交流指導者育成事業「ひょうたん島」
- 8月 6日 烏云の日本語教室日本語発表会 覚書締結
- 10日 第15回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 21日 第1回親子サマーフェスタ
- 9月 8日 第2回理事会
- 21日 丹東市総工会歓迎レセプション
- 26日 庫倫旗第一中学日本語教室「歓迎と交流の夕べ」
- 10月22日 労福協・ネットワーク合同職員研修バスツアー
- 11月 5日 『ゆとり宣言』フェスティバル開会式典・わーくぴあフェスタ
- 11日 第19回労働者福祉メーデー
- 16日 西部労福協第30回研究集会
- 20日 ファミリーふれあいフェスティバル2011
- 21日 労働者福祉に関する支援要請(徳島市)
- 24日 労働者福祉に関する支援要請(徳島県)
- 25日 中央労福協第60回定期総会
- 12月17日 反貧困ネットワーク「年越し相談会」
- 19日 飯泉知事と働く女性の懇談会
- 1月 4日 仕事始め



2011年4月2日 なのはな花見



2011年5月16日 パーソナル・サポート・センターとくしま開所



2011年7月23日 シニア労働者地位庫交流指導者育成事業「ひょうたん島」



2012年1月26日 フードバンク研修会inとくしま

2011年度	1月 6日	自治労徳島県本部 2012 年旗開き	
	26日	第3回理事会 フードバンク研修会 in とくしま	
	2月 18日	福祉セミナー in とくしま 10	
	23日	西部労福協第42回定期総会	
	3月 7日	第16回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議	
2012年度	23日	四国初の介護福祉士実務者養成施設の指定	2012年2月18日 福祉セミナー in とくしま 10
	28日	フードバンクとくしま設立に向けた「準備会」発足会議	
	4月 20日	西部労福協交流事業 in 広島「宮島ウォーキング」(~21日)	
	5月 1日	第83回徳島中央メーデー	
	8日	あわ地域若者サポートステーション開設	
	11日	第4回理事会	
	21日	監事監査	
	23日	飯泉知事と働く女性の懇談会	2012年5月1日 第83回徳島中央メーデー
	25日	第28回(通算38回)定期総会および第1回理事会 徳島県労働福祉会館第42回通常総会	
	26日	「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会	
	30日	勤労者福祉ネットワーク第10回評議員会	
	6月 1日	中央労福協 2012 年度全国研究集会 (~2日)	
	22日	労働安全衛生センター第11回定期総会	
	7月 18日	2012年「国際協同組合年」第90回国際協同組合デー	
	21日	安全衛生管理者第13期養成講座開講式	2012年5月8日 あわ地域若者サポートステーション開設
	8月 1日	公益法人化に関する徳島県との協議	
	12日	ごみゼロ阿波踊り大作戦 (~15日)	
	19日	第2回親子サマーフェスタ	
	22日	第2回理事会	
	26日	反貧困全国キャラバン 2012「JR 徳島駅前街宣行動」	
	9月 8日	庫倫旗第一中学と城南高校文化際交流他	
	11日	第17回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議	2012年8月12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦 (~15日)
	19日	臨時総会	
	27日	第3回理事会	
	10月 27日	勤労者福祉ネットワーク第11回評議員会	
	28日	労福協・ネットワーク合同職員研修バスツアー	
	28日	国際協同組合まつり(藍場浜公園)	
	11月 1日	西部労福協第31回研究集会(~2日)	
	3日	県民と働く者のとくしまフェスタ 2012 開会式典 及び第5回わーくぴあフェスタ	2012年10月28日 国際協同組合まつり(藍場浜公園)
5日	第20回労働者福祉メーデー		
8日	労働者福祉に関する支援要請(徳島市)		
18日	ファミリーふれあいフェスティバル 2012		
26日	労働者福祉に関する支援要請(徳島県)		
1月 4日	仕事始め		
11日	自治労徳島県本部 2013 年旗開き		
25日	第18回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議	2013年2月16日 福祉セミナー in とくしま 11	
28日	第4回理事会		
2月 1日	フードバンクとくしま推進フォーラム		
14日	西部労福協第43回定期総会		
16日	福祉セミナー in とくしま 11		
3月 26日	公益社団法人認定(3月26日)		
28日	フードバンクとくしま研修会 フードバンク準備会プレ・イベント		
29日	次世代認定マーク「くるみん」取得		

2013年度

- 4月 1日 公益法人徳島労福協スタート
- 19日 西部労福協交流事業「岡山県の文化・歴史探訪」(～20日)
- 5月 1日 第84回徳島中央メーデー
- 8日 監事監査
- 9日 第1回理事会
- 16日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 28日 徳島県労働福祉会館第43回通常総会
- 31日 第1回(通算39回)定期総会
- 第2回理事会
- ジョブカレッジとくしま開所
- 6月 6日 中央労福協2013年度全国研究集会(～7日)
- 12日 勤労者福祉ネットワーク第1回評議員会
- 24日 庫倫旗第一中学との交流事業 北井上中学校説明会
- 7月23日 労働安全衛生センター第12回定期総会
- 24日 第19回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 8月 9日 徳島県労働福祉会館臨時総会
- 12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦(～15日)
- 18日 第3回親子サマーフェスタ
- 20日 庫倫旗第一中学日本語教室生徒招聘「覚書」確認
- 24日 フードバンクとくしま設立総会
- 9月 9日 庫倫旗第一中学「烏雲さんゆかりの学校」交流・歓迎(～14日)
- 13日 第3回理事会
- 10月12日 安全衛生管理者第14期養成講座開講式
- 11月 2日 県民と働く者のとくしまフェスタ2013開会式典
及び第6回わーくぴあフェスタ
- 7日 西部労福協第32回研究集会(～8日)
- 11日 庫倫旗第一中学歓迎レセプション
- 29日 中央労福協第61回定期総会
- 12月 2日 労働者福祉に関する支援要請(徳島県)
- 3日 第21回労働者福祉メーデー
- 12日 労働者福祉に関する支援要請(徳島市)
- 29日 フードバンクとくしま越年支援(～30日)
- 1月 6日 仕事始め
- 10日 自治労徳島県本部2014年旗開き
- 21日 第20回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 24日 第4回理事会
- 2月15日 福祉セミナー in とくしま12
- 20日 西部労福協第44回定期総会
- 28日 生活困窮者自立促進支援フォーラム
- 3月11日 飯泉知事と働く女性の懇談会
- 18日 第5回理事会
- 23日 ファミリーふれあいフェスティバル2014



2013年4月19日 西部労福協交流事業「岡山県の文化・歴史探訪」(～20日)



2013年5月31日 ジョブカレッジとくしま開所



2013年8月18日 第3回親子サマーフェスタ



2013年11月11日 庫倫旗第一中学歓迎レセプション



2014年02月28日 生活困窮者自立促進支援フォーラム

2014年度

- 5月 1日 第85回徳島中央メーデー
- 12日 監事監査
- 15日 第6回理事会
- 29日 第2回(通算40回)定期総会および第1回理事会
- 6月 5日 中央労福協2014年度全国研究集会(～6日)
- 労働安全衛生センター第13回定期総会
- 13日 自治労60周年記念レセプション
- 18日 徳島県労働福祉会館第1回(通算44回)通常総会
- 19日 勤労者福祉ネットワーク第2回評議員会



2014年8月23日 安全衛生管理者第15期養成講座開講式

2014年度

- 6月26日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 7月 8日 第2回理事会
- 23日 とくしま生協創立30周年記念式典
- 25日 第21回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 8月12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦（～15日）
- 17日 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ 2014
- 22日 西部労福協「労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座」（～23日）
- 23日 安全衛生管理者第15期養成講座開講式
- 9月24日 第3回理事会
- 10月 1日 社会運動資料センター第1回公開講座
- 11月 1日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2014 開会式典
及び第7回わーくびあフェスタ
- 13日 西部労福協第33回研究集会（～14日）
- 24日 庫倫旗第一中学生歓迎レセプション
- 26日 第4回理事会
- 29日 飯泉知事と働く女性の懇談会
NPO法人フードバンクとくしま設立総会
- 12月 3日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 5日 第22回労働者福祉メーデー
- 15日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）
- 29日 フードバンクとくしま越年支援（～30日）
- 1月 5日 仕事始め
- 7日 第5回理事会
連合徳島 2015年旗開き
- 21日 第3回定時会員総会（通算41回）
- 27日 公益法人監査（徳島県）
- 2月 4日 第22回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 12日 第35回部落解放・人権徳島地方研究集会（～13日）
- 19日 西部労福協第45回定期総会
- 24日 第6回理事会
- 3月12日 第4回定時会員総会（通算42回）
- 第7回理事会
- 22日 ファミリーふれあいフェスティバル 2015
- 31日 第8回理事会



2014年11月1日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2014 開会式典及び第7回わーくびあフェスタ



2014年11月13日 西部労福協第33回研究集会（～14日）



2014年11月24日 庫倫旗第一中学生歓迎レセプション



2014年12月5日 第22回労働者福祉メーデー

2015年度

- 4月 1日 こまつしま生活自立支援センター事業開始
パーソナルサポートセンターとくしま「学習支援」「学びサポート塾」開始
パーソナルサポートセンターとくしま「就労準備支援」開始
鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」開始
- 5月 1日 第86回徳島中央メーデー
- 8日 あなんパーソナルサポートセンター開所
- 15日 西部労福協交流事業『島根県の文化・歴史探訪』（～16日）
- 27日 監事監査
- 6月 1日 第9回理事会
- 4日 中央労福協 2015年度全国研究集会（～5日）
- 12日 徳島県労働福祉会館第2回（通算45回）通常総会
- 15日 第5回（通算43回）定時会員総会および第1回理事会
- 19日 勤労者福祉ネットワーク第3回評議員会
- 23日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 26日 労働安全衛生センター第14回定期総会
- 7月10日 新公益法人制度移行後の情報交換会
- 20日 国際交流支援事業「庫倫旗第一中学」訪問（～24日）
- 8月12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦（～15日）



2015年5月8日 あなんパーソナルサポートセンター開所



2015年6月15日 第5回（通算43回）定時会員総会および第1回理事会

2015年度

- 8月 16日 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ 2015
- 20日 第 23 回労働者福祉の拡充へ向けた 6 団体会議
- 29日 安全衛生管理者第 16 期養成講座開講式
- 9月 2日 第 2 回理事会
介護の日本語講座
- 10月 26日 庫倫旗第一中学生歓迎レセプション
- 31日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2015 開会式典
及び第 8 回わーくびあフェスタ
- 11月 12日 西部労福協第 34 回研究集会（～ 13 日）
- 24日 第 23 回労働者福祉メーデー
- 26日 第 3 回理事会
- 27日 中央労福協第 62 回定期総会
フレッセ結成 50 周年記念式典
- 12月 18日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）
- 21日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 28日 フードバンクとくしま越年支援（～ 29 日）
- 1月 4日 仕事始め
- 6日 連合徳島 2016 年旗開き
- 29日 第 24 回労働者福祉の拡充へ向けた 6 団体会議
- 2月 4日 第 36 回部落解放・人権徳島地方研究集会（～ 5 日）
- 13日 飯泉知事と働く女性の懇談会
- 18日 西部労福協第 46 回定期総会
- 28日 社会運動資料センター第 2 回公開講座
- 3月 12日 あわ～ず徳島「会員 1 万人突破記念と感謝の集い」
- 13日 ファミリーふれあいフェスティバル 2016
- 22日 第 4 回理事会



2015年9月2日 介護の日本語講座



2015年12月21日 労働者福祉に関する支援要請(徳島県)



2016年2月13日 飯泉知事と働く女性の懇談会

2016年度

- 5月 1日 第 87 回徳島中央メーデー
- 19日 監事監査
- 20日 四国労金創立 15 周年感謝の集い
- 26日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 31日 第 5 回理事会
- 6月 3日 西部労福協交流事業「香川県のまちおこし連携交流事業」
- 17日 第 6 回（通算 44 回）定時会員総会
徳島県労働福祉会館第 3 回（通算 46 回）通常総会
勤労者福祉ネットワーク第 4 回評議員会
わーくウェル感謝と交流の集い
- 28日 労働安全衛生センター第 15 回定期総会
- 30日 第 1 回いきいき安心とくしま子ども食堂開設準備会
- 7月 14日 パーソナルサポートセンターとくしま「学びサポート塾なると」開始
地方労福協事務担当者会議
- 28日 第 25 回労働者福祉の拡充へ向けた 6 団体会議
- 8月 6日 いきいき安心とくしま子ども食堂 OPEN!
- 12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦（～ 15 日）
- 21日 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ 2016
- 9月 3日 安全衛生管理者第 17 期養成講座開講式
- 5日 連合徳島・丹東市総工会友好交流第 10 次訪中国（～ 10 日）
- 8日 中央労福協 2016 年度全国研究集会（～ 9 日）
- 27日 「外国人のための自動車運転免許取得支援事業」開始
- 10月 5日 四国連合・労福協と四国労金との協議
- 6日 勤労者福祉ネットワーク「大杉漣トーク & ハートフルライブ」
- 7日 はたらく若者のための「しごと応援相談室」開設
- 24日 中国内蒙古庫倫旗第一中学との交流事業（～ 29 日）



2016年6月3日 西部労福協交流事業「香川県のまちおこし連携交流事業」



2016年6月17日 わーくウェル感謝と交流の集い



2016年7月14日 地方労福協事務担当者会議

2016年度

- 10月26日 庫倫旗第一中学生歓迎レセプション
- 11月 5日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2016 開会式典
及び第9回わーくぴあフェスタ
- 10日 西部労福協第35回研究集会（～11日）
- 22日 第1回理事会
- 11月29日 第24回労働者福祉メーデー
- 12月 4日 仕事始め
- 10日 『輝いた阿波の女性たちⅠ』出版記念祝賀会
- 20日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）
- 21日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 29日 フードバンクとくしま越年支援（～30日）
- 1月10日 連合徳島 2017年旗開き
- 25日 第26回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議
- 2月16日 西部労福協第47回定期総会
- 21日 第37回部落開放・人権徳島地方研究集会（～17日）
- 21日 国際交流視察団ミャンマー訪問（～26日）
- 3月11日 飯泉知事と働く女性の懇談会
- 12日 ファミリーふれあいフェスティバル 2017
- 17日 第2回理事会



2016年11月5日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2016 開会式典及び第9回わーくぴあフェスタ



2016年12月20日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）

2017年度

- 4月10日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 15日 うたごえ広場
- 28日 監事監査
- 5月 1日 第88回徳島中央メーデー
- 24日 第3回理事会
- 29日 中国駐新潟総領事館孫大剛総領事就任のお祝いと交流の集い
- 6月 5日 中央労福協 2017年度 全国研究集会（～6日）
- 6月14日 第7回（通算45回）定時会員総会および第1回理事会
徳島県労働福祉会館第4回（通算47回）通常総会
- 16日 勤労者福祉ネットワーク第5回評議員会
- 27日 労働安全衛生センター第16回定期総会
- 8月 9日 第27回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議
- 12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦（～15日）
- 20日 地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ 2017
- 26日 安全衛生管理者第18期養成講座開講式
- 9月15日 西部労福協被災地視察 in 熊本
- 10月13日 西部労福協交流事業「四国の秘境散策」（～14日）
- 21日 中国内モンゴル庫倫旗第一中学訪問団来日（～26日）
- 24日 中国内モンゴル庫倫旗第一中学代表団歓迎レセプション
- 28日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2017 開会式典
及び第10回わーくぴあフェスタ
- 11月 9日 西部労福協第36回研究集会（～10日）
- 15日 社会運動資料センター第8回公開講座（大島青松園視察研修）
- 20日 第2回理事会
- 22日 中央労福協第63回定期総会
- 24日 第25回労働者福祉メーデー
- 12月 5日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 12日 四県連合・労福協と四国労金との協議
- 20日 2017年度防災・避難訓練講座
- 25日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）
- 30日 フードバンクとくしま越年支援
- 1月 4日 仕事始め
- 9日 連合徳島 2018年旗開き



2017年4月15日 うたごえ広場



2017年6月5日 中央労福協 2017年度全国研究集会（～6日）



2017年9月15日 西部労福協被災地視察 in 熊本



2017年10月24日 中国内モンゴル庫倫旗第一中学代表団歓迎レセプション

2017年度

- 1月12日 自動車運転免許取得特別講座徳島講座閉講式
- 2月 1日 第28回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議
- 9日 第38回部落解放・人権徳島地方研究集会
- 15日 西部労福協第48回定期総会
- 3月18日 ファミリーふれあいフェスティバル2018
- 19日 飯泉知事と働く女性の懇談会
- 3月23日 第3回理事会



2018年1月12日 自動車運転免許取得特別講座徳島講座閉講式

2018年度

- 4月 2日 辞令交付式
- 20日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 27日 監事監査
- 5月 1日 第89回徳島中央メーデー
- 11日 西部労福協交流事業「明治維新150年 志国高知 幕末維新博」(~12日)
- 21日 連合徳島・丹東市総工会友好交流第10次訪日団歓迎レセプション
- 29日 第4回理事会
- 6月 4日 中央労福協2018年度全国研究集会(~5日)
- 8日 勤労者福祉ネットワーク第6回評議員会
- 15日 モンゴル国訪問(~20日)
- 22日 第8回(通算46回)定時会員総会
- 徳島県労働福祉会館第5回(通算48回)通常総会
- 26日 労働安全衛生センター第17回定期総会
- 安全衛生管理者第19期養成講座開講式
- 7月 7日 賀川豊彦生誕130周年記念特別講演会および記念祝賀会
- 9日 中国内モンゴル庫倫旗訪問(~12日)
- 31日 第29回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議
- 8月12日 ごみゼロ阿波踊り大作戦(~15日)
- 19日 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ2018
- 21日 西日本豪雨募金活動
- 25日 第1期労働者福祉推進員養成講座(第1回)
- 9月22日 第1期労働者福祉推進員養成講座(第2回)
- 10月 3日 LSC実務者・相談員研修会
- 20日 第1期労働者福祉推進員養成講座(第3回)
- 23日 庫倫旗第一中学訪問団歓迎レセプション
- 11月 3日 県民と働く者のとくしまフェスタ2018開会式典
及び第11回わーくびあフェスタ
- 8日 西部労福協第37回研究集会(~9日)
- 10日 ひまわり健康体操
- 19日 四県連合・労福協と四国労金との協議
- 21日 第8回加盟団体代表者会議
- 28日 第1回理事会
- 12月10日 第26回労働者福祉メーデー
- 13日 労働者福祉に関する支援要請(徳島県)
- 15日 第1期労働者福祉推進員養成講座(第4回)
- 20日 労働者福祉に関する支援要請(徳島市)
- 22日 仙谷由人さんを偲ぶ会
- 27日 生活困窮者越年支援(~28日)
- 1月 4日 仕事始め
- 8日 連合徳島2019年旗開き
- 26日 第1期労働者福祉推進員養成講座(第5回)
- 28日 第30回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議
- 2月21日 西部労福協第49回定期総会
- 第39回部落解放・人権徳島地方研究集会(~22日)
- 3月 6日 次世代育成支援連絡会議



2018年4月2日 辞令交付式



2018年10月3日 LSC実務者・相談員研修会



2018年11月10日 ひまわり健康体操



2018年11月21日 第8回加盟団体代表者会議



2019年3月6日 次世代連絡会議

2018年度	3月10日	2019 ふれあいファミリーデー	
	19日	第2回理事会	
2019年度	4月26日	「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会	
	27日	第90回徳島中央メーデー	
	5月13日	監事監査	
	25日	賀川豊彦鳴門友愛会・記念講演会「賀川ハルから学んだ女性の活躍」	
	30日	第3回理事会	
	6月7日	中央労福協 2019年度全国研究集会（～8日）	
	18日	勤労者福祉ネットワーク第7回評議員会	
	19日	第9回（通算47回）定時会員総会および第1回理事会 徳島県労働福祉会館第6回（通算49回）通常総会 労働安全衛生センター第18回定期総会	
	23日	同行援護養成研修	2019年6月23日 同行援護養成研修
	7月19日	事務担当者研修会（ワークピア横浜）	
	8月2日	第31回労働者福祉の拡充へ向けた6団体会議	
	12日	ごみゼロ阿波踊り大作戦（13日）	
	18日	地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ 2019	
	23日	西部労福協「第6期理念・歴史・リーダー養成講座」（～24日）	
	9月14日	壮生創立10周年記念式典並びに講演会	2019年7月19日 事務担当者研修会（ワークピア横浜）
	21日	烏雲先生里帰り歓迎交流会	
	28日	第2期労働者福祉推進員養成講座（第1回） 安全衛生管理者第20期養成講座開講式	
	10月19日	中国内モンゴル庫倫旗第一中学訪問団来日（～24日） 第2期労働者福祉推進員養成講座（第2回）	
	11月2日	県民と働く者のとくしまフェスタ 2019 開会式典 及び第12回わーくぴあフェスタ	
	7日	西部労福協第38回研究集会（～8日）	2019年11月28日 定住N2閉講式
	16日	社会運動資料センター第15回公開講座	
	21日	第2回理事会	
	28日	中央労福協結成70周年記念レセプション 定住外国人「日本語能力試験N2対策講座」閉講式	
	29日	中央労福協第64回定期総会	
	30日	第2期労働者福祉推道具養成講座（第3回）	
	12月10日	第27回労働者福祉メーデー	
	11日	2019年度第1回防災訓練	
	13日	労働者福祉に関する支援要請（徳島県）	
	18日	四県連合・労福協と四国労金との協議	
	24日	労働者福祉に関する支援要請（徳島市）	
28日	生活困窮者越年支援（～29日）		
1月6日	連合徳島 2020年旗開き 仕事始め		
9日	第3回理事会	2020年2月13日 グローバルキャリアフェア	
2月6日	第40回部落解放・人権徳島地方研究集会（～7日）		
13日	グローバルキャリアフェア		
19日	第32回労働者福祉の拡充に向けた6団体会議		
20日	西部労福協第50回定期総会		
3月15日	2020 ふれあいファミリーデー		
24日	第4回理事会		
25日	わーくぴあ広場（コロナ感染拡大救済事業）		
27日	徳島中央LSC設立10周年記念講演・レセプション		
2020年度	5月1日	第91回徳島中央メーデー（CDを流しての移動街宣）	2020年3月25日 わーくぴあ広場（コロナ感染拡大救済事業）
	13日	監事監査	

2020年度

- 5月 26日 第5回理事会
- 6月 2日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 9日 労働安全衛生センター第19回定期総会
- 15日 第10回（通算48回）定時会員総会
- 徳島県労働福祉会館第7回（通算50回）通常総会
- 23日 勤労者福祉ネットワーク第8回評議員会
- 7月 13日 公益法人制度に関する研修・情報交換会
- 8月 6日 第33回労働者福祉の拡充に向けた6団体会議
- 9月 1日 中央労福協2020年度全国研究集会（WEB開催）
- 12日 安全衛生管理者第21期養成講座開講式
- 10月 10日 第3期労働者福祉推進員養成講座（中止）
- 14日 連合街宣（奨学金街宣）
- 22日 企業のための人材活用WEBセミナー
- 27日 労働福祉会館第1回防火・防災訓練
- 31日 県民と働く者のとくしまフェスタ2020開会式典
及び第13回わーくぴあフェスタ
- 11月 17日 第1回理事会
徳島県労働者福祉協議会との合併契約及び覚書の締結
- 19日 エコキャップ贈呈式（四国大学）
- 12月 1日 徳島県労働福祉会館臨時総会
- 2日 第11回臨時会員総会
- 9日 第28回労働者福祉メーデー
- 16日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 17日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）
- × 地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ2020（中止）
- × 国際交流事業はコロナ禍により中止
- 1月 4日 仕事始め
- 26日 烏雲先生をたたえる市民の会設立総会
- 27日 公益法人監査（徳島県）
- 28日 第2回理事会
- 29日 生活困窮者越年支援（～30日）
- 2月 1日 新法人発足式（徳島県労働福祉会館を吸収合併）
- 5日 第3回理事会
- 12日 第34回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議
- 18日 西部労福協第51回定期総会（書面開催）
第41回部落解放・人権徳島地方研究集会
- 3月 14日 2021ふれあいファミリーデー（3月14日より1週間程度）
- 25日 第4回理事会



2020年10月31日 県民と働く者のとくしまフェスタ2020開会式典及び第13回わーくぴあフェスタ



2020年11月17日 徳島県労働者福祉協議会との合併契約及び覚書の締結



2020年11月19日 エコキャップ贈呈式（四国大学）



2021年2月12日 第34回労働者福祉の拡充へ向けた5団体会議



2021年2月18日 第41回部落解放・人権徳島地方研究集会

2021年度

- 4月 1日 在住外国人就労支援室設置
- 5月 1日 第92回徳島中央メーデー
- 11日 監事監査
- 15日 労働協同組合法キックオフ集会 in 徳島
- 26日 第5回理事会
- 6月 7日 中央労福協2021年度全国研究集会（WEB開催）
- 15日 第12回（通算50回）定時会員総会および第1回理事会
- 22日 勤労者福祉ネットワーク第9回評議員会
- 28日 労働安全衛生センター第20回定期総会
- 7月 19日 飯泉知事とSMILE◎トーク～徳島・未来づくり会議～
- 8月 6日 第35回労働者福祉の拡充に向けた5団体会議
- 9月 1日 こまつしま生活自立支援センター開所式
- 14日 公益法人制度に関する研修・情報交換会
- 10月 2日 安全衛生管理者第22期養成講座開講式



2021年10月22日 企業のための人材活用webセミナー



2021年11月6日 県民と働く者のとくしまフェスタ2021開会式典及び第14回わーくぴあフェスタ

2021年度

- 10月22日 企業のための人材活用 WEB セミナー
- 11月 4日 西部労福協第 39 回研究集会（～ 5 日）
- 6日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2021 開会式典
及び第 14 回わーくぴあフェスタ
- 25日 第 2 回理事会
- 26日 中央労福協第 65 回定期総会
- 29日 第 1 回防火総合訓練
- 12月10日 エントリーシートの書き方 & 面接マナー講座
- 13日 四県連合・労福協と四国労金との協議
- 14日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 20日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）
- 29日 生活困窮者越年支援（～ 30 日）
- × 地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ 2021（中止）
- × 国際交流事業はコロナ禍により中止
- 1月 4日 仕事始め
- 11日 連合駅前街宣
- 18日 第 29 回労働者福祉メーデー
- 2月 1日 一般社団法人徳島県労働福祉会館を吸収合併
- 9日 第 36 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議
- 17日 第 42 回部落解放・人権徳島地方研究集会
- 24日 西部労福協第 52 回定期総会（WEB 開催）
- 3月13日 2022 ふれあいファミリーデー（3月13日より 1 週間程度）
- 24日 第 3 回理事会
- 26日 第 3 期労働者福祉推進員養成講座



2021年12月10日 エントリーシートの書き方&面接マナー講座



2022年3月13日 2022 ふれあいファミリーデー



2022年03月26日 第3期労働者福祉推進員養成講座

2022年度

- 4月30日 徳島県知事を励ます会
- 5月 1日 第 93 回徳島中央メーデー
- 17日 監事監査
- 25日 第 4 回理事会
- 6月 2日 中央労福協 2022 年度全国研究集会（WEB 開催）
「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 14日 勤労者福祉ネットワーク第 10 回評議員会
- 15日 第 13 回（通算 51 回）定時会員総会
- 16日 「ヒロシマ被爆アオギリⅡ世」平和記念植樹写真パネル展開催式
- 28日 労働安全衛生センター第 21 回定期総会
- 7月27日 第 37 回労働者福祉の拡充に向けた 5 団体会議
- 8月26日 西部労福協「第 7 期理念・歴史・リーダー養成講座」（～ 27 日）
- 9月 3日 安全衛生管理者第 23 期養成講座開講式
- 10月23日 あいあい♡ファミサポフェスティバル 2022
- 29日 第 4 期労働者福祉推進員養成講座
- 11月 5日 県民と働く者のとくしまフェスタ 2022 開会式典
及び第 15 回わーくぴあフェスタ
- 10日 西部労福協第 40 回研究集会（～ 11 日）
- 12日 第 9 回生活困窮者自立支援全国研究大会
キウイ収穫体験祭り
KAGAWA ゆうあいフェスタ OP セレモニー
- 19日 賀川豊彦ゆうあいフェスタ県民フォーラム「賀川豊彦と協同組合」
- 27日 あわ～ず徳島第 9 回会員事業所・自治体交流会
- 28日 前田すづ子さんの県知事表彰を祝う会
- 29日 第 1 回理事会
- 12月14日 四県連合・労福協と四国労金との協議
- 15日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 26日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）



2022年11月5日 県民と働く者のフェスタ 2022 開会式典



2022年11月12日 キウイ収穫体験祭り



2022年11月12日 賀川豊彦ゆうあいフェスタ



2022年11月28日 前田すづ子さんの県知事表彰を祝う会

2022年度

- 12月 29日 生活困窮者越年支援（～30日）
- × 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ 2022（中止）
- × 国際交流事業はコロナ禍により中止
- 1月 4日 仕事始め
- 5日 連合徳島 2023 年旗開き
- 25日 第30回労働者福祉メーデー
- 2月 2日 第38回労働者福祉の拡充に向けた5団体会議
- 9日 第43回部落解放・人権徳島地方研究集会
- 2022年度第1回防火・防災訓練
- 21日 西部労福協第53回定期総会
- 3月 3日 徳島県勤労者福祉ネットワーク25周年記念レセプション
- 19日 2023Syunto ふれあいファミリーデー（3月19日より1週間程度）
- 24日 第2回理事会



2023年3月3日 徳島県勤労者福祉ネットワーク25周年記念レセプション

2023年度

- 5月 1日 第94回徳島中央メーデー
- 17日 監事監査
- 20日 徳島労働安全衛生センター設立20周年記念事業
- 30日 第3回理事会
- 6月 8日 「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会
- 9日 中央労福協2023年度全国研究集会（～10日）
- 20日 第14回（通算52回）定時会員総会および第1回理事会
- 22日 勤労者福祉ネットワーク第11回評議員会
- 30日 労働安全衛生センター第22回定期総会
- 7月 6日 淑明女子大学校社会福祉大学院生との意見交換会
- 27日 第39回労働者福祉の拡充に向けた5団体会議
- 29日 地域若者サポートステーションと心理学
- 8月 4日 西部労福協「第8期理念・歴史リーダー養成講座」（～5日）
- 19日 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ 2023
- 2023 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ
- 9月 2日 安全衛生管理者第24期養成講座開講式
- 10月 24日 第1回防火・防災訓練
- 30日 2023「たんけんの秋」
- 11月 4日 県民と働く者のとくしまフェスタ2023 開会式典
- 及び第16回わーくびあフェスタ
- 9日 西部労福協第41回研究集会（～10日）
- 11日 第2回賀川豊彦ゆうあいフェスタ OP セレモニー
- 12日 ゆとり・癒しのウォーキング 一紅葉と温泉の祖谷溪谷―
- 14日 賀川豊彦ゆうあいフェスタ県民フォーラム「賀川豊彦と協同組合」
- 18日 第5期労働者福祉推進員養成講座（中止）
- 22日 中央労福協第66回定期総会
- 29日 第2回理事会
- 12月 2日 フードバンクとくしま10周年記念イベント
- 6日 四県連合・労福協と四国労金との協議
- 11日 労働者福祉に関する支援要請（徳島市）
- 19日 労働者福祉に関する支援要請（徳島県）
- 28日 賀川豊彦鳴門友愛会との包括的連携に関する協定書の締結
- 29日 生活困窮者越年支援（～30日）
- × 国際交流事業（庫倫旗第一中学）は中断
- 1月 4日 仕事始め
- 9日 連合徳島 2024 年旗開き
- 30日 第40回労働者福祉の拡充に向けた5団体会議
- 2月 8日 第44回部落解放・人権徳島地方研究集会（～9日）
- 21日 西部労福協第54回定期総会



2023年7月6日 淑明女子大学校社会福祉大学院生との意見交換会



2023年7月29日 地域若者サポートステーションと心理学



2023年8月19日 地域ふれあいフェスタ in わーくびあ 2023



2023年10月30日 たんけんの秋 2023



2023年11月12日 ゆとり・癒しのウォーキング 一紅葉と温泉の祖谷溪谷―

2023年度	3月 3日	勤労者福祉ネットワーク設立 25 周年記念レセプション開催	
	8日	第 31 回労働者福祉メーデー	
	17日	2024Syunto ふれあいファミリーデー (3月 17 日より 1 週間程度)	
	22日	第 3 回理事会	
	25日	社会運動資料センター第 16 回公開講座	
2024年度	5月 1日	第 95 回徳島中央メーデー	
	20日	監事監査	
	6月 4日	第 4 回理事会	
	7日	中央労福協 2024 年度全国研究集会 (～ 7 日)	
	13日	「障害者のための運転免許取得講座」運営委員会	
	24日	勤労者福祉ネットワーク第 12 回評議員会	
	26日	第 15 回 (通算 53 回) 定時会員総会	
	28日	労働安全衛生センター第 23 回定期総会	
	29日	モンゴル国訪問交流 (～ 7 月 3 日)	
	7月 13日	第 5 次モンゴル国訪問団 (ゾリグ財団) (～ 7 月 3 日)	
	23日	社会運動資料センター第 17 回公開講座	
	23日	第 41 回労働者福祉の拡充へ向けた 5 団体会議	
	29日	とくしま生協創立 40 周年記念式典	
	29日	第 1 回理事会 (みなし決議)	
	8月 2日	西部労福協「第 9 期理念・歴史リーダー養成講座」(～ 3 日)	
	17日	地域ふれあいフェスタ in わーくびあ 2024	
	9月 7日	「熱烈・歓迎 おかえりなさい烏雲先生」レセプション (県民の会)	
		安全衛生管理者第 25 期養成講座開講式	
	11月 1日	県民と働く者のとくしまフェスタ 2024 開会式典 及び第 32 回労働者福祉メーデー	
	2日	第 17 回わーくびあフェスタ (第 43 回福祉まつり)	
	7日	西部労福協第 42 回研究集会 (～ 8 日)	
	9日	第 3 回賀川豊彦ゆうあいフェスタ OP セレモニー	
	12日	賀川豊彦ゆうあいフェスタ「協同組合関係フォーラム」	
	26日	第 2 回理事会	
	30日	第 29 回自然とふれあう健康ウォーク in 美波	
	12月 7日	社会運動資料センター第 18 回公開講座	
		第 18 回公開講座	
		16日 労働者福祉に関する支援要請 (徳島市)	
		18日 労働者福祉に関する支援要請 (徳島県)	
		四県連合・労福協と四国労金との協議	
		28日 生活困窮者越年支援 (～ 29 日)	
	× 国際交流事業 (庫倫旗第一中学) は中断		
1月 6日	仕事始め		
14日	勤労者福祉ネットワーク新春の集い		
27日	第 45 回部落解放・人権徳島地方研究集会 (～ 28 日)		
2月 20日	西部労福協第 55 回定期総会		
3月 22日	2025Syunto ふれあいファミリーデー (～ 23 日)		
25日	第 3 回理事会		

西部労福協（労働者福祉西部協議会）



西部労福協は、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知の中四国9県労福協で構成する組織です。主な事業内容は各県で取り組んでいる事業についての情報共有や意見交換を行うための定期的な「幹事会」、若手職員や組合員に対する労働者福祉運動担い手づくりのための「リーダー養成講座」及びその時々のテーマや課題解決のためのヒントを探ってもらうための「研究集会」となっています

2024年2月21日（水）、徳島市において西部労福協第54回定期総会が開催され、徳島県労福協が2024年度及び2025年度の会長県に選出されました。

● 第10期労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座



・主 旨

労働運動・労働者福祉運動が果たしてきた役割を認識・理解し、新しい時代・社会に対応しうる労働者福祉運動の理念・歴史の伝承者（講師・リーダー）として、職場・地域におけるリーダーの育成を図ることを目的としています

- ・日 時 2025年8月8日（金）～9日（土）
- ・場 所 岡山市



- ・講演1 競争か連帯か労働者自主福祉事業（ろうきん・全労済）の成り立ちとこれから
- ・講 師 中央労福協講師団講師 高橋 均 氏
- ・内 容 労働金庫と全労済がどのような経過で生まれ、どのように発展してきたか。助け合い精神の大切さを学ぶ。

- ・講演2 労福協運動のこれまでとこれから
～つながる・よりそう・支え合う～
- ・講 師 中央労福協事務局長 南部 美智代 氏
- ・内 容 中央労福協 2030年ビジョンについて



- ・講演3 友愛・互助・平和 賀川豊彦はこんな人
- ・講 師 西部労福協事務局長 梶本 一夫
- ・内 容 日本において「労働運動の父、協同組合の父」



また、ガンジー、シュバイツァーと並び称せられ世界三大聖人の一人と言われる賀川豊彦氏の生い立ちから晩年までを解説。労働金庫や全労済設立の思想につながる講話。

●第41回西部労福協研究集会

- ・日 時 2023年11月9日(木)
- ・場 所 徳島市
- ・講 演 「賀川豊彦と連帯社会～分断を乗り越える」
- ・講 師 法政大学大学院 公共政策研究科教授
賀川豊彦学校校長 伊丹 謙太郎 氏



●第42回西部労福協研究集会

- ・日 時 2024年11月7日(木)
- ・場 所 高松市
- ・講 演 「脱炭素で強い地域経済を！」
- ・講 師 環境省中央審議会委員 豊岡 和美 氏



●第43回西部労福協研究集会

- ・テーマ 持続可能な社会
- ・日 時 2025年11月6日(木)
- ・場 所 山口市



- ・講演1 Well-beingな暮らしにつながるDXとは？
- ・講 師 山口大学 国際総合科学部 教授 杉井 学 氏



- ・講演2 持続可能な地域社会のあり方を考える
人口減少・高齢化と家族の変容のなかで
- ・講 師 山口大学 経済学部 教授 鍋山 祥子 氏

2025年度西部労福協役員名簿 2026年1月1日現在

役職名	名 前	選出労福協・役職
会 長	森本 佳広	徳島県労福協 会 長
事務局長	梶本 一夫	徳島県労福協 専務理事
幹 事	重村 和光	鳥取県労福協 専務理事
	金坂 隆	島根県労福協 専務理事
	堅田 裕之	岡山県労福協 専務理事
	平岡 勝人	広島県労福協 事務局長
	益田 宗俊	山口県労福協 専務理事
	熊野 浩伸	香川県労福協 専務理事
	福岡 達弥	愛媛県労福協 事務局長
	井上 睦	高知県労福協 事務局長
会計監査	原田 孝志	山口県労福協
	藤島 良次	香川県労福協

とくしま次世代育成支援センター

【これまでの実績】

当センターでは徳島県より委託を受け、2005年度より次世代育成支援のための職場環境整備事業を行っています。育児休業や短時間勤務、子の看護等休暇など両立支援制度の導入と制度利用しやすい職場風土を一体的に推進することを徳島県下の事業所に提案し、「徳島県はぐくみ支援企業認証制度」を推進しています。

【主な事業内容】

- ・次世代育成支援対策推進法に定める一般事業主行動計画策定のサポート
- ・徳島県はぐくみ支援企業認証手続きのサポート
- ・次世代育成支援のための事業所向けセミナー開催
- ・両立支援に関する助成金制度等、各種情報提供
- ・はぐくみ支援企業表彰企業パンフレット発行
- ・次世代育成支援、女性活躍推進のためのパンフレット発行
- ・国、自治体、事業所による連絡会議の開催



2023年1月23日 はぐくみ支援実践セミナー
(ハイブリッド)

【これからの展望】

男性も女性も働きやすい共に輝ける社会の実現を目指して、家庭には男性の育児参画、事業所には女性の労働参画や人材の多様化が求められます。男性の育児休業取得促進や女性管理職推進等による、働きやすい職場環境づくりを関係機関と連携を図り、事業所の職場環境整備支援に取り組んでまいります。

【徳島県はぐくみ支援企業】

次世代育成支援の一環として、子どもを産み育てながら働き続けることができる「子育てに優しい職場環境づくり」に積極的に取り組まれている企業等を徳島県が「はぐくみ支援企業」として認証する制度です。



2021年度はぐくみ支援企業の取り組み
(事例集)



2023年度徳島県働く女性のロールモデル事例集



徳島県はぐくみ支援企業の募集リーフレット

障がい者のための自動車運転免許取得特別講座

2002年5月14日、知的障がい者の保護者から、「子どもが通勤のために運転免許取得を希望しても、学科試験に合格できず断念している」という切実な悩みを受けたことがきっかけで、知的障がい者の生活域・職域拡大を目的とした県内初の自動車運転免許取得特別講座が、阿南市の「阿南ひまわり会館」で開講しました。現在は、徳島講座（労福協ミーティングルーム）、北部講座（愛育会地域生活総合支援センター）、南部講座（徳島南部ライフサポートセンター）、中部講座（障害者支援施設野菊の里ヴィヴァーチェ野菊）の県内4か所で開催しています。



徳島講座



北部講座



南部講座



中部講座

講師は、全国一般労働組合を通して依頼し、自動車教習所の退職教官や現役の教官に、有償ボランティアで指導に当たっていただいています。

開講当初、受講生の大半が障害者支援センターや知的障害者の更生施設の通所者でしたが、近年は就職をめざす高校生の受講が増えてきました。

受講者数のべ596名のうち、2025年9月末までに189名が自動車運転免許を、28名が原付運転免許を取得し、仕事や生活に役立っています。

2022年には、多くの方々のご支援とご協力をいただき20周年を迎えることができました。1月に「20周年記念のつどい」を企画し準備を進めていましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催することができませんでした。20周年記念のつどいにご参加いただく予定だった方には記念品（ホワイトボード型ノート、レーザーベシックキーホルダー）を、お世話になった講師やボランティアスタッフ、施設には記念品と感謝状をお送りしました。

全国でも珍しいこの取り組みを今後も継続していきたいと考えています。そして、本事業をとおして、障がい者の生活の自立や就労を促進するとともに、障がい者に対する社会の認識についても意識の改革を求めています。

各講座の受講者および合格者の推移

年度/講座	徳島 (徳島市)		北部 (松茂町)		南部 (阿南市)		中部 (吉野川市)		合計	
2002～2006	16	7 4	27	9 2	10	3 0	29	9 4	82	28 10
2007～2011	35	8 1	19	1 3	34	7 1	26	8 2	114	24 7
2012～2016	61	22 3	31	10 2	45	7 2	35	3 2	172	42 9
2017～2021	34	18 1	19	15 0	47	23 1	19	10 0	119	66 2
2022～2025上期	26	7 0	23	3 0	36	19 0	24	0 0	109	29 0
合計	172	62 9	119	38 7	172	59 4	133	30 8	596	189 28

*左段：受講者数、右上段：自動車運転免許取得者数、右下段：原付・二輪運転免許取得者数

*徳島講座 2004年～開始

*北部講座 2005年・2006年独自講座、2007年・2021年・2022年休講

*南部講座 2004年・2005年・2006年休講

*中部講座 2003年～開始



20周年記念品

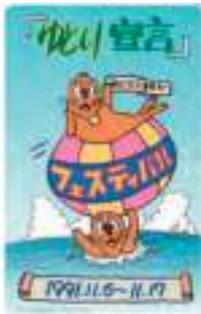
県民と働く者のとくしまフェスタ

【これまでの実績】

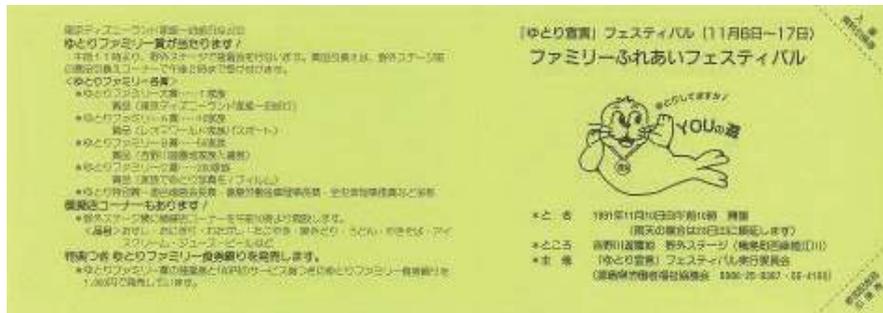
1990年3月、徳島県議会において「ゆとり県宣言」が決議されました。「ゆとり県宣言」をより具体化するために、徳島県をはじめ、労働局、経営者団体などの多くの団体の後援・ご協力をいただき、県民行事として定着して「ゆとり・豊かさ」を実感できる催しをこれまで数多く企画・実施をして参りました。



1991年11月6日 ゆとり街頭行進



花の種
1991年11月6日～17日



ファミリーふれあいフェスティバルの入場券 1991年11月10日



行事日程が記されたパンフレット
1991年11月6日～17日



2008年11月8日 開会式典

『ゆとり宣言』

近年、我が国の発展には目覚ましいものがある。とりわけ経済面においては国際的にも経済大国としての地位を確固たるものにしていく。

今後、我が国に求められるのは、人間性豊かなゆとりある社会の建設であり、そのためには、すべての国民が生活にゆとりを持ち、充実した自由な時間とうるおいのある生活を確保することが極めて重要である。

よって、徳島県議会は、ここに「ゆとり宣言」を行い、すべてに渡り健康に満ち溢れた新しい徳島づくりを目指す「健康県徳島の創生」を基本理念とし、すべての県民が豊かさを実感できるゆとりあるライフスタイルの定着を促進し、活力とゆとりに満ちた社会の実現を目指すものである。

右、決議する。

1990年3月19日

徳島県議会

○わーくびあフェスタ (福祉まつり)

NPOやボランティア団体、わーくびあ徳島で働く人たちや地域住民との出会いの場となり、「協働」による地域との連携や情報交換・人的交流などを行うことを目的としています。



2009年11月7日 わーくびあフェスタ

○労働者福祉メーデー

平和で、安心して働きくらせる持続可能な社会」の実現に向けて、構成団体はもとより同じ「志」を持った多くの団体・仲間とともに連携・協同し、全力で取り組みを進めてまいります。



2010年11月10日 労働者福祉メーデー

「ゆとり宣言・チャリティゴルフ大会」「ゆとり俳句、川柳、短歌」「仕事いきいきセミナー」「労働相談シンポジウム」など、現在では実施されていない取り組みもありますが、県、市、労働局、経営者協会などからの後援を得ながら、また徳島県、労働金庫、こくみん共済coop、連合徳島、勤労者福祉ネットワークからの補助金、分担金により数々のイベントを開催して来ました。

実行委員会主催行事のほか、労働団体・労働者福祉事業団体による「あい♡あいファミサポフェスティバル」「たんけんの秋」「果樹オーナー in 佐那河内」「自然とふれあう健康ウォーク in 美波」「西部スポーツフェスタ」「Syuntoふれあいファミリーデー」などがあります。



ファミリーふれあいフェスティバル



あいあい♡ファミサポフェスティバル

【これからの展望】

1991年度に開催された第1回となる『ゆとり宣言』フェスティバル以来、2012年度に名称を「県民と働く者のとくしまフェスタ」に改め、今日までの35年間の取り組みを行って来ました。

少子化が急速に進行している中で、安心して子どもを生み育てることのできる環境の整備や、社会全体で働き方の改革を通じた仕事と生活の調和の推進など、少子化対策をさらに効果的・総合的に推進していくことが求められています。これらの対策にあわせて、生命を次代に伝え育んでいくことや、家族の大切さ、家族を支える地域の力が国民に広く認識されることが必要であります。

労働者福祉推進員養成講座

労働組合員や労働者福祉事業体職員、一般市民等を対象に、労働運動と労働者福祉運動の意義を理解し労働組合運動の発展に寄与するとともに、全ての労働者の豊かな将来設計に寄与することを目的に、労働者福祉推進員養成講座を実施しています。

第1期労働者福祉推進員養成講座

2018年8月25日
2018年9月22日
2018年10月2日
2018年12月1日
2019年1月26日



2018年8月25日

第2期労働者福祉推進員養成講座

2019年9月28日
2019年10月1日
2019年11月3日



2019年11月30日
(古賀伸明氏)

第3期労働者福祉推進員養成講座は、2020年10月10日に開催予定で進めていたが、当日、台風接近が予想されたことから、参加者の安全に配慮し中止としました。

第3期労働者福祉推進員養成講座

2022年3月26日



2022年3月26日 (神津里季生氏)

第4期労働者福祉推進員養成講座

2022年10月29日



2022年10月29日 (南部美智代氏)

2023年度に開催を予定していた第5期労働者福祉推進員養成講座については、募集定員に満たなかったため中止とし、翌年度は自主開催を行わず、代替事業として、認定NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会が主催する「第3回 KAGAWA ゆうあいフェスタ」の県民フォーラムに参加しました。



2018年8月25日チラシ



2022年10月29日チラシ

フードバンク支援事業

パーソナル・センターとくしまの来談者には、生活資金だけではなく、今日明日の食べ物がない人も少なくありません。一方、日本国内には企業や家庭から廃棄される“まだ食べられる”食糧が年間2千トンにも及ぶと言われています。徳島労福協では、パーソナル・サポート事業に連携する事業として、これまでアンケート調査や2回の研修会を行い、さらに沖縄や高知のフードバンク事業を視察してまいりました。特にアンケート調査からはフードバンクの必要性が見て取れたことから、徳島にもフードバンクを設立するための協議を重ね、2012年3月28日、関係団体からの参加も得られ、「フードバンク準備会」を発足し、「もったいない」から“ありがとう”へ」をキャッチフレーズに、フードバンク設立に向け取り組むこととしました。

事務局としてワーカーズコープ徳島川内福祉事務所、勤労者福祉ネットワーク、徳島労福協の3団体が担い、フォーラムや研修会、プレ・イベントを経て、2013年8月24日、フードバンクとくしま設立総会が開催され、翌2014年11月29日にはNPO法人の認可を得て、より本格的な活動に入りました。



2012年1月26日 フードバンク研修会 in 徳島



2013年8月24日 フードバンクとくしま設立総会



労働安全衛生管理者養成講座

中小零細企業における労働災害の発生件数は、大手企業と比較して高く、企業における安全衛生に対する取り組みも遅れています。そのため徳島県労働者福祉協議会では、NPO法人徳島労働安全衛生センターとともに企業における就労環境の改善のため「安全・衛生管理者養成講座」を開講し、講座運営については労働安全衛生の専門知識や資格を有する講師を招聘し『第1種衛生管理者』資格取得のサポートに努めてきました。

2000年に第1期を開講し、2024年度第25期までの間に多くの受講生が資格取得に向けチャレンジし、第1種衛生管理者の免許を取得しました。資格を取得した人の中には、企業の中で衛生管理者として企業内の安全・衛生面の向上に努めている人も多くいますが、この講座の特徴は単に試験対策としての講座ではなく、職場の環境改善に必要な知識を習得するための基本講座となっており、基礎を習得した修了生は職場において環境改善のため所属企業・事業所において活躍しています。



2006年9月2日 開講式

9月 7日(土)	13:00~17:00	○開講式	
		・関係法令(1)	2コマ
10月 5日(土)	13:00~17:00	・関係法令(2)	2コマ
10月19日(土)	13:00~17:00	・関係法令(3) 労働生理	2コマ
10月26日(土)	13:00~17:00	・労働衛生(1)	2コマ
11月 9日(土)	9:00~12:00	・労働衛生(2)	2コマ
	13:00~17:00	・修了式 & 試験対策集中特別	
11月16日(土)		○国家試験対策集中特別	

2024年度第25期のカリキュラム

賀川豊彦関連事業



相互扶助の活動の原点、「協同組合の父」賀川豊彦の精神を継承し事業に反映させるため、賀川豊彦の足跡を県民に情報発信し、また鳴門市賀川豊彦記念館やNPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会と連携を図った取り組みを行っています。

徳島が生んだ偉大な社会運動家・賀川豊彦の功績を称えるべく、労福協として初めて本事業に取り組んだのは、2009年6月13日に設立された「賀川豊彦献身100年記念事業徳島プロジェクト」でした。このプロジェクトでは、県民フォーラム、「死線を越えて」1万人上映運動、賀川豊彦に関する評論の公募、賀川豊彦学習講座の開設、ローガン・マヤス師の子孫の招聘などの10項目の事業を行いました。徳島プロジェクトは、2010年7月に総会を開催し解散しましたが、「賀川豊彦関係団体連絡協議会」として、2012年国際協同組合デーと賀川豊彦の再評価に向けた事業を行いました。



2012年10月28日 協同組合祭り

2018年度の「第1期労働者福祉推進員講座」の第1回講座では、当時、鳴門市賀川豊彦記念館の館長を務められていた岡田健一氏を招き、「賀川豊彦の思想と活動について」と題した講演を行いました。

2022年度には、「第1回賀川豊彦友愛フェスタ」オープニングセレモニーに参加し、「県民フォーラム」と合わせて毎年参加しています。

そして2023年度に、認定NPO法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会と包括的連携に関する協定を締結し、さらなる連携強化を図るとともに、2024年度からは労福協の組織内研修の一環として「賀川豊彦学校」に参加しています。



2018年9月22日 第1期労働者福祉推進員講座（岡田健一氏）



認定NPO法人賀川豊彦記念鳴門友愛会との協定書 2023年12月28日



「賀川豊彦ゆうあいフェスタ」パンフレット広告

国際交流事業

1. これまでの国際交流事業

国際交流事業については、独自の取り組みはなく、連合徳島が実施する中国・丹東市総工会との交流事業に団員派遣を行ったり、交流行事等に参加、また中央労福協欧州労働者福祉視察団に団員派遣をおこなう等の取り組みを進めて来ていました。

2. 独自の取り組みの推進

(1) 「烏雲（日本名・立花珠美）」さんの存在

烏雲（日本名・立花珠美）さんは、1938年（昭和13年）に徳島市国府町に生まれ、2歳の時、長男を残して家族で満州に渡りましたが、1945年8月、戦争で、立花さん一家は珠美さんを除いて無残な死を遂げ、孤児となりました。そして中国人の養父母、そしてモンゴル族の養父母に育てられ、「烏雲」と名付けられて、大学進学の後、1957年から庫倫旗第一中学で教師となり、「お母さん先生」と慕われ、教育に取り組みられました。また、庫倫旗第一中学の周囲のホルティン砂漠の緑化にも取り組み、「全国教育者模範賞」（1991年）を授与され、中国人民政治協商会議全国委員（1993年）に選ばれました。

この間、中国・日本との国交回復により、肉親捜しの結果、徳島市国府町に住む兄との再会を果たしました（1981年）が、日本に残らず、「私を育ててくれた中国に恩返しをする」として、教育と植林、日中友好に一生を捧げられてきました。

そのような中、連合徳島などつながり、「烏雲の学校設立を支援する徳島県民の会」（1998年）設立され、翌年庫倫旗第一中学に日本語教室が設置され、研修制度を活用して、日本語教師の研修などが実施されるとともに、烏雲奨学金制度（2011年）によって貧しい子ども達への支援が行われました。これらの取組には労福協も協力して来ました。

(2) 労福協の庫倫旗第1中学生の招請事業

前述のように、連合徳島をはじめとする徳島県民有志による、日本語教室支援の取組が広がる中、徳島県労福協は2011年8月、庫倫旗第一中学との間で民間交流を深めるとともに、日本語を学習している成績優秀な子どもを2名招待すること等を確認する覚書を締結し（その後2回3年間づつ交流をおこなう覚書の締結）、毎年秋には、庫倫旗第1中学の生徒2人と日本語教師の計3人を招請して、東京等の観光（後に京都・奈良等）、烏雲さんの故郷である北井上中学校の生徒達との交流や城南高校、徳島文理高校、四国大学学生との交流、国際交流をすすめる県民との歓迎交流会等を2019年まで計9回実施してきました。庫倫旗第一中学校の生徒達も延べ18人招請し、その後の報告ではそれぞれ師範大を含む大学進学をし、中には日本で仕事をしているという報告もいただき、日本と中国内モンゴル自治区の人々との交流に役立てられたと自負するところです。



2012年9月7日 歓迎と交流の夕べ



2015年10月27日 庫倫旗一中生との交流

2013年には、北井上中学校の生徒2人、歴代校長4人が庫倫旗第一中学を訪問することもあり、相互交流も実施されました。



2016年10月28日 庫倫旗一中生



2024年9月7日 烏雲先生歓迎会

2020年は、コロナ禍により渡航等が制限され、招請事業ができなかったことから、日本語習得の励みとなるよう懸賞作文事業を行いました。学年ごとに作文題材を決め、応募してもらい、優秀作品を表彰するもので、学年ごとに最優秀賞1本、優秀賞3本、努力賞5本を選出し、これを北井上中学に回付し、生徒達からも感想文を募集し相互交流としました。

2021年以降についても、渡航が制限され、ネットを活用した交流事業など検討しましたが、双方の環境が整わないことから、中止せざるを得ず、23年3月末をもって中断することとしました。

ただ、引き続き情報交換するとともに、交流と友好は、いずれか一方の提案によって検討することとしており、機会をみて、再開することも近い将来にできればと考えます。

ただ、別紙にあるように、この交流の基礎を作っていたいただいた烏雲さんが先日（2025年11月7日）逝去されました。87歳でした。徳島における日中友好の大きな柱を失った悲しみはありますが、烏雲さんが訴えてきた「日中友好と平和」の情熱は私たちの心に生き続けるでしょう。ご冥福をお祈りします。

資料

庫倫旗第1中学校日本語教師（3人）

王玉珍、包金鳳、包蘭の皆さん

招請事業により来日した先生と生徒たち

- 2011年 陳靖副校長、包金鳳先生、包小芳さん、王権くん
- 2012年 閔們副校長、包蘭先生、蘇日吉吉さん、木其尔さん
- 2013年 王玉珍先生、青花さん、風英くん
- 2014年 包金鳳先生、蘇日娜さん、蘇要楽巴特尔くん
- 2015年 包蘭先生、特日格勒くん、英俊くん
- 2016年 包金鳳先生、呼徳格くん、奇拉干くん
- 2017年 烏云先生、阿如汗さん、宁宁さん
- 2018年 包蘭先生、伊如貴さん、王胜利くん
- 2019年 包金鳳先生、菲菲さん、烏云芳道くん



2016年6月28日 庫倫旗第一中学校との覚書締結式にて（向かって右から4番目が烏雲先生）

徳島中央ライフサポートセンター

【これまでの取り組み】

「徳島中央ライフサポートセンター」は、2010年の設立から15年目をむかえ、ライフサポートセンターの使命である地域住民の方々に日々の暮らしに役立つ情報の提供や、関係団体とのネットワークを形成し県民、市民、地域住民の生活をサポートする地域福祉の拠点としての活動を展開しています。



設立当初から取り組んでいる「暮らしなんでも無料相談」は、消費者問題や法律問題で悩んでいる地域住民や勤労者の方々からのお話を聞き、適切なアドバイスを行うとともに専門的知識を必要とする場合には、適宜相談に答える関係機関の紹介を行っています。

2013年から開催している無料健康講座「リラクゼーション・ヨガ」は、連合徳島中央地域協議会女性委員会との共催により、毎年30名程度の参加のもと開催しており、参加者全員が心も体もリラックスし、明日への活力を得る時間となっています。

2014年から秋の恒例行事となっている「県民と働く者のとくしまフェスタ」の一環として開催している「キウイ収穫体験祭り」は、佐那河内村果樹オーナー園のご協力を得ながら、多くの県民の皆様が楽しみ満足をいただいているイベントとなっています。コロナ禍以降は、開催方法を変更し10時から12時までの2時間で各当選者の都合のいい時間にご参加いただいています。2025年も募集定員50グループに対して147グループと多数の応募がありました。厳選な抽選の結果、当日はスタッフを含め134名と多くの方のご参加をいただきました。なお、今回も事務局が収穫したキウイについては、福祉団体へ寄付をいたしました。



また、ホームページではイベント情報や行事予定「中央LSCニュース」を掲載し、県民の皆様が情報を得やすい環境づくりに努めています。

【これからの展望】

今後も、中央地域管内の勤労者の福祉向上に向け、勤労者のみならず、県民、市民、地域住民との結びつきを強め、地域に根ざした顔の見える運動を展開することとしており、「暮らしなんでも無料相談」や福祉関係団体、NPOとの協同事業などを積極的に実施していきたいと考えています。

暮らしにまつわる悩みや困りごとの相談は、人間が生活していくうえで必ず発生するものであり、昨今の物価高騰や雇用情勢によりますます増加する傾向にあると思われ、ライフサポートセンターの役割、地域からの期待も大きくなってきています。これからも地域福祉の拠点として、地域貢献事業を展開し、ワンストップサービスを提供できる活動を展開してまいります。

徳島西部ライフサポートセンター

【発足】 2007年1月20日

労働福祉4団体の合議により「地域住民に信頼され、支持され、地域に根ざし、顔の見える活動を進める」との思いで連合徳島と西部地域協議会との連携で、県西部地域のワンストップサービスの拠点が設立されました。

【活動内容】

1) 生活相談活動

①定例相談

法律相談 毎月第1火曜日

保険金融相談 毎月第2木曜日

若者自立支援相談 毎週月曜日

②一般相談

③生活困窮者自立支援事業

2) 地域貢献活動

①スポーツ少年団支援活動

小学生バレーボール大会

スポーツ少年団サッカー大会

学童野球大会など 年5大会を支援

②着ぐるみ貸し出し事業

③徳島命の電話諸活動支援

3) 労働者福祉団体との連携

①四国労働金庫地区推進委員会との連携

②こくみん共済coop地区推進委員会との連携

③徳島県勤労者福祉ネットワークとの連携＝くーぼん丸など

4) 労働者・退職者団体との連携

①連合徳島西部地域協議会との共催事業の拡大

(夏休みフェスティバルなど)

②徳退連西部地域協議会との連携強化

5) 平和と民主主義を守る活動

①関係団体との連携(平和のタベ・地区メーデーなど)

6) 構成団体・地域団体との連携・交流促進

①県民と働く者のとくしまフェスタ西部地域事業

「ゆとり・癒しのウォーキング」「西部スポーツフェスタ」などの開催

②フードバンクとくしまとの連携



【今後の展望】

徳島県西部において働く者のワンストップサービスを提供できる組織として発足して20年が経とうとしています。労働者福祉活動・労働運動を両輪とし、仲間たちの思いを原動力に進めてきた活動はこの地域にも根ざしてきました。労働組合組合員のみならず、地域の働く者、家族、高齢者、生活に窮する人、誰にも信頼されそばにいる存在としてのライフサポートセンターの存在は重要です。

「働く」という基盤の上で 現実には多くの問題をだれもが抱えています。ライフサポートは、離職から就労へ、働き続けられる環境づくり、良質な雇用の中での選択、教育の保障、そして安心・健康な暮らし、などすべての人の安心社会を築くために誰一人取り残さず支えあうことが今だからこそ重要です。なにかのときに「そばにいる存在」としてのライフサポートセンターをめざし今後も取り組みを進めます。

徳島南部ライフサポートセンター

【発足】 2012年4月21日

労働者福祉4団体でライフサポート事業を推進する合意が成立し「連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会を実現するため、県内3番目の拠点となる「徳島南部ライフサポートセンター」が設立されました。

【活動】

- 1) ライフサポートセンターの周知・広報
- 2) 暮らしのなんでも無料相談
- 3) エコキャップ・プルタブ推進活動
- 4) フードバンクの取り組み

【事業】

- 1) 自然とふれあう健康ウォーク
(県民と働く者のとくしまフェスタ)
- 2) 労働金庫推進委員会が主催する生活応援事業
- 3) 自動車運転免許取得特別講座

【その他共催・協賛事業】

- 1) メーカー阿南・那賀・海部地区集会
- 2) 阿南市民平和のつどい

【展望】

なんでも相談、退職者や住民の方々との交流の場、そして各種労働者福祉に関する会議等をするための魅力ある場所になるよう常に工夫をしております。

また、各種イベントのポスターやチケットを取り扱うなど、地元の皆さんに情報を発信するスポットとしても活用してもらい、誰でも気軽に立ち寄れる場所にしていきます。

地域や人と積極的に関わっていき、活動を幅広く活気のあるものにしていく。そのことが同時に南部ライフサポ活動の認知度のアップにもつながっていくものと考えます。



わーくぴあ徳島 (徳島県労働福祉会館)

各種会議や講演会などのご利用は…わーくぴあ徳島をご利用ください。



JR 富田駅より徒歩 10 分
市バス「昭和町 3 丁目」停留所前
旧国道 55 号線沿い県庁前の便利な場所

徳島県労働福祉会館運営事務局
〒 770-0942 徳島市昭和町 3 丁目 35-1
TEL 088-625-5111 / FAX 088-625-5005

《施設管理業務》

施設設備の維持管理、清掃、施設設備の修繕、機械設備の保守点検、敷地内の環境保全、安全衛生管理、美化対策、植栽管理、利用者へのサービス向上、ほか

《管理業務委託先》

特定非営利活動法人壮生



画・若山文雄 2022

地域ふれあいフェスタ

- 『地域の支え合い』『家族の絆』等をテーマとして、木工教室、おもちゃ教室、映画上映会、フリーマーケットなどのイベントを行います。
- 地域に開かれた会館づくりを目指します。



- ★親子陶芸教室 (だいやま陶芸村)
- ★マクラメ編み教室教室 (NPO 壮生)
- ★絵手紙教室 (日本絵手紙協会公認)
- ★親子の無料撮影会 (スタジオ・サークル)
- ★食品販売 (徳島子ども食堂ネットワーク)
- ★出店コーナー (Creer、リサイクルショップ a・ya、ボランティア友の会ひまわり)



とくしま社会運動資料センター

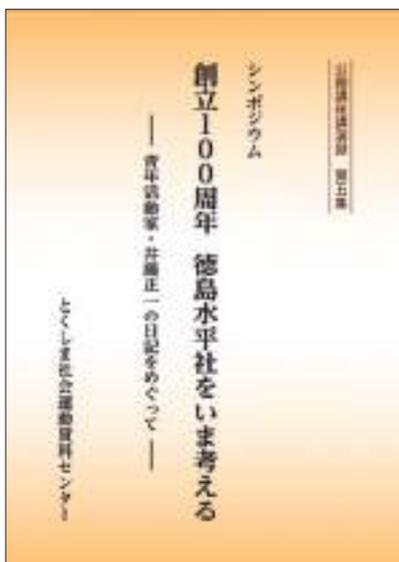
<開所日・時間帯> 火曜日から土曜日まで
午前 10:00 から午後 3:00 まで
<閉所日> 日曜日および月曜日 国民の祝日、お盆期間、年末年始ほか

- 県内唯一の勤労者センターとして社会運動・市民運動などの貴重な文献資料を集積し、広く県民の皆様へ閲覧開放することにより、本事業が勤労者福祉の発展に寄与することを目的としております。



とくしま社会運動資料センターは、県内唯一の勤労者センターとして「貴重な文献資料を集積し、広く県民へ閲覧開放することにより、勤労者福祉の発展に寄与する」ことを目的として2014年10月に設立されました。以来、公益事業として公開講座18回、パネル展7回を開催し、また5冊の書籍を刊行して来ました。

2024年には、徳島水平社結成前後を記録していた「井藤正一日記」(※井藤正一は徳島水平社設立の中心メンバーの一人、1902～1960年)について、徳島県立博物館と連携して月例の翻刻委員会を開催し、翻刻作業を進めてきました。そして、その成果発表として昨年12月7日にシンポジウム「創立100周年 徳島水平社をいま考える—青年活動家・井藤正一の日記をめぐって—」を開催し、その講演録を発刊しました。



目次

- 報告 I 「井藤正一日記」から見た徳島水平社
板東 紀彦 氏 (とくしま社会運動資料センター研究員)
- 報告 II 「青年活動家・井藤正一の想いと行動—「井藤正一日記」から読み解く—」
佐藤 正志 氏 (摂南大学名誉教授)
- コメント 「部落史研究の現在と「井藤正一日記」の魅力」
関口 寛 氏 (同志社大学教授)
- パネルディスカッション
コーディネーター 長谷川 賢二 氏 (徳島県立博物館学芸員)
- 「井藤正一日記」翻刻委員会の翻刻経過
中野 輝行 氏 (とくしま社会運動資料センター研究員)

在住外国人サポート事業部

2025年度、徳島県から委託を受けて「とくしま外国人雇用トータルサポート事業」を実施することになりました。当協議会が在住外国人の就労支援を開始した2009年12月末の在留外国人数は5,409人で同時期の県人口788,523人に占める割合は0.7%、146人にひとりが外国人という状況でした。その後、外国人は増加の一途をたどり2025年6月末には9,190人となり、同時期の県人口678,656人に占める割合は1.4%、74人にひとりが外国人という状況になりました。

1. 在住外国人就労・定着促進連絡協議会（2014年度～）

在住外国人サポート事業部では、増え続ける外国人の就労・定着に向けた課題に対応するために、「在住外国人就労・定着促進連絡協議会」を設置し、「オール徳島で、日本一外国人が活躍する徳島に！」を合言葉に、関係機関が連携して効果検証・課題改善に取り組んでいます。県の委託事業となった2014年度から2025年度までの12年間に24回の協議を重ね、就労から定着・キャリアアップまで切れ目のない支援を推進しています。



2. 就労・定着・キャリアアップのための各種講座（2009年度～2025年度）

日本語講座	専門の講師による特別講座
<input type="checkbox"/> 就職のための日本語講座 <input type="checkbox"/> 介護の日本語講座 <input type="checkbox"/> 保護者のための日本語講座 <input type="checkbox"/> 漢字学習講座 <input type="checkbox"/> 敬語学習講座 <input type="checkbox"/> 観光情報発信日本語講座 <input type="checkbox"/> 働きながら学べる中級日本語講座 <input type="checkbox"/> ビジネス日本語講座	<input type="checkbox"/> 職業人講話 <input type="checkbox"/> ビジネスマナー講座 <input type="checkbox"/> 履歴書の書き方講座 <input type="checkbox"/> 面接マナー講座 <input type="checkbox"/> メイクアップ講座 <input type="checkbox"/> 色彩心理講座 <input type="checkbox"/> 日本料理講座 <input type="checkbox"/> 書道講座 <input type="checkbox"/> 筆ペン講座 <input type="checkbox"/> もう困らない、日本のお葬式 <input type="checkbox"/> 日本の社会保障制度 <input type="checkbox"/> 日本の労働法規 <input type="checkbox"/> ライフプランセミナー <input type="checkbox"/> 電話対応とハウ・レン・ソウ <input type="checkbox"/> 日本の税金制度
資格取得・技能習得支援講座	
<input type="checkbox"/> パソコン講座 <input type="checkbox"/> ブログ・アフィリエイト作成講座 <input type="checkbox"/> 職場見学、職場実習 <input type="checkbox"/> 日本語能力試験対策講座 <input type="checkbox"/> 自動車運転免許取得支援講座 <input type="checkbox"/> 介護職員初任者研修	

16年間で20カ国・のべ684人（実数354人）が受講し、51人が介護の資格を取得するとともに、94人が当該年度内に就職しました。年度をまたいで就職した方も多数いらっしゃいます。

3. 外国人労働相談（2019年度～）



2019年度に週1回、午後に開設した「外国人労働相談」では、当初、年間数件の相談にとどまっていた。2022年度から週2回、2025年度からは常設の相談窓口に拡充されました。それに伴い、相談件数も右肩上がりに増加し、2022年度は51件、23年度は80件、24年度は前年の3倍を超える252件の相談がありました。25年度は12月末現在、すでに前年度を超える相談を受けています。

相談内容の内訳としては、求職相談が最も多く、続いてハラスメントや労働災害、在留資格変更に関する相談が多く寄せられています。経営者からの外国人採用に関する相談も増えてきました。このような相談に、労働局や弁護士会、行政書士会、労働組合、国際交流協会等と連携し対応しています。

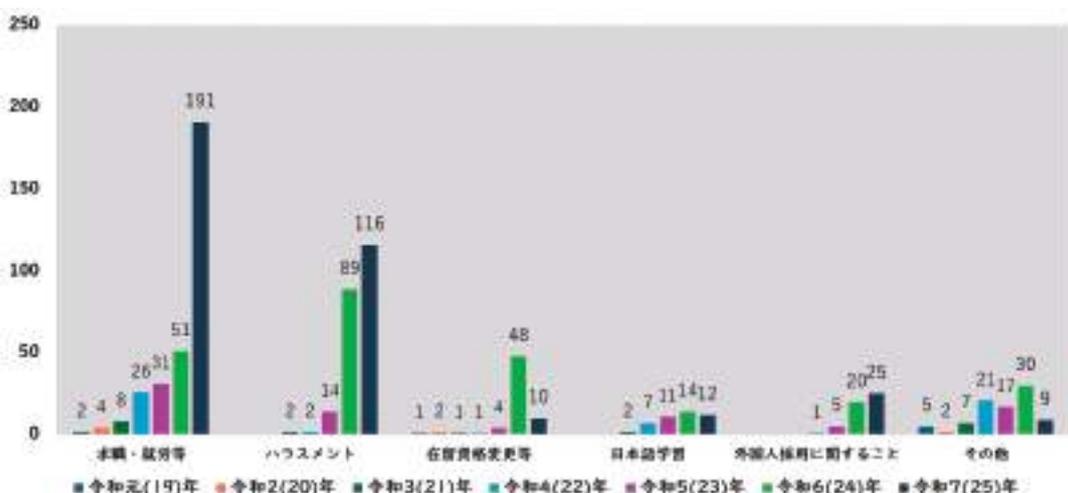
外国人労働相談件数の推移

※令和7(25)年は12月まで



外国人労働相談内容

※令和7(25)年は12月まで



4. 外国人雇用に関するセミナー（2019年度、2022年度～）



外国人雇用に関する現状や課題に焦点をあて、行政や学識者が制度や施策について講演を行うとともに、外国人を雇用している経営者と外国人社員が採用・定着に向けた取組みを発表します。本セミナーには、企業経営者や人事労務担当者をはじめ、行政、士業、就労支援機関、日本語教育・国際交流団体等、毎回 100 人前後の参加申し込みがあり、外国人雇用に関する関心の高さがうかがえます。

2019 年度は対面での開催でしたが、コロナ禍以降、オンライン開催が続いていました。2025 年度はメイン会場とサテライト会場およびオンラインによるハイブリッド形式で開催し、2027 年度に施行される「育成就労制度」に関する講演をはじめ、定着のための職場環境デザインに関する講演、事例発表に多くの参加者が耳を傾けました。

5. グローバルキャリアフェア（2019年度、2022年度～）



外国人を対象とした合同就職説明会「グローバルキャリアフェア」では、毎回 20 社前後の企業・法人と 20 人前後の外国人が参加しています。これまでに 5 組のマッチングが成立しました。グローバルキャリアフェア終了後に職場体験を実施して採用・就職に至った事例もあり、出会いの機会として定着しつつあります。

6. オンラインミニ就職面接会（2025年度～）



グローバルキャリアフェアにおいては、対象業種にかかわらず広く参加企業を募りますが、希望する業種の参加企業が限られていることから、対象業種を絞って年2回・各回2日間の就職説明会をオンラインにて開催しマッチングの可能性を高めることを趣旨とし、2025年度から新たに導入されました。1回目は製造業およびサービス業に、2回目は介護、IT、建設、農業に限定し実施しました。終了後に職場体験を実施し、就職に向けて伴走支援を行っています。

7. 職場体験（2024年度～）



外国人労働相談において、転職や在留資格の変更に伴う求職相談が増加する一方で、外国人採用を希望する県内企業にとっては、外国人求職者の適性を見極める機会がじゅうぶんでないことから、積極的な採用に至らないことが少なくありません。また、採用後にもミスマッチによる離職となるケースも一定数あることから、マッチングの円滑化および定着をはかることを目的として1～2日の職場体験を実施しています。

職場体験のマッチング率は非常に高く、これまでに実施した8組のうち、5組のマッチングが成立しました。これからも一人でも多くの外国の方々に活用いただき、希望する就職につなげていただけることを願っています。

8. とくしま外国人就職ポータルサイト（2025年6月公開）

日本語のほか、県内在住外国人上位国の言語（ベトナム語、中国語、インドネシア語、英語、ミャンマー語、韓国語、ネパール語）でも閲覧可能なポータルサイトおよびInstagramを開設しました。外国の方々は、「情報が届かない」「届いても理解しにくい」「理解できてもどのように行動したらいいかわからない」という3つの段階の困難を抱えている方が少なくありません。ポータルサイトをとおして、このような課題を少しでも軽減できるよう、情報発信に努めていきたいと思えます。



【これからの展望】

徳島労働局が2026年2月2日に発表した2025年10月末時点の「外国人雇用状況」では、本県の外国人労働者数は、7,324人で、前年同期比872人、13.5%の増加となりました。政府も外国人施策を国政選挙の争点にあげるなど、外国人が働く環境整備が求められています。

私たちは、この状況にどのように向き合っていけばいいのか、外国の人たちが増え続けるなか、課題は山積していますが、徳島で暮らし働く外国の人たち一人ひとりの思いに耳を傾け、思いを受け止め、多様な専門分野の方々と手を取り合い、「オール徳島で日本一外国人が活躍する徳島に！」という目標に向かって、できることに一つひとつ丁寧に取り組んでいきたいと労福協設立50周年の節目にあたり気持ちを新たにしています。

労福協なのはな居宅介護支援センター／ヘルパーステーション

- 2000年4月 介護保険制度開始
- 2000年6月 労福協ひまわり居宅介護支援センターとして、県に申請、認可を得る
- 2001年5月 福祉なんでも相談ダイヤルの開設
(毎月第3土・日曜日 10時～15時)
- 2003年8月 労福協ひまわり居宅介護支援センターから名称を『労福協なのはな居宅介護支援センター』に変更し、開設
- 2006年12月 労福協なのはなヘルパーステーション開設
労福協なのはな有償ボランティアを開設
- 2010年5月 労福協なのはなヘルパーステーション・サービス提供責任者が2名体制になる



—理念・目的—

住み慣れた家で、安全で安心して生活できるよう、ご本人やご家族の要望に合わせた支援・介護を行います。



2010年4月3日 「なのはな」お花見

◆居宅介護支援センター

介護保険制度の相談等、法人利益は関係なく、利用者本位の支援事業を行い、長年暮らしてきた生活域を守り、自分なりの生活感を持ち、尊厳のある生き方ができるよう要望にあわせ、介護計画を立てます。

ケアマネージャー（介護支援専門員）…2名

（うち1名は訪問介護員兼務）

◆ヘルパーステーション

利用者の要望に合わせた支援を行い、在宅生活を支えます。（ホームヘルパー養成講座の実習受け入れ）

サービス提供責任者…2名 実働登録ヘルパー…9名

◆有償サービス

制度以外での利用者のお困りごとに対応します。

（草抜き・お墓の掃除、制度以外での家事援助など）

登録支援者（ヘルパー有資格者）…9名以上

—展望—

- ・人生に関わる事業には休みや終わりがありません。
- ・安心して頼ってもらえる事業所として、人材を育て継続した事業ができるよう最大の努力をしていきます。
- ・事業を支える働くヘルパーにとって、働きやすい環境を整えます。
- ・全ての人の権利を大切にできる事業所として研鑽を積み、情報発信のできる事業所をめざしていきます。
- ・人口の減少、働き手の減少が進む中、一方では高齢者の増加が見込まれています。今後の生活への不安を少しでも解消できるような支援をさせて頂けたら、と望みます。



ジョブカレッジとくしま

ジョブカレッジとくしまは、元々とくしま就業支援センターとして発足し、今年で28年になります。ホームヘルパー3級講座から始まりました。そこから介護を中心にIT系・医療事務系・簿記等、講座の種類も時代背景の移り変わりとともに増え、講師の皆さまを始めとして、そこに携わってくださった多くの方々のお力をお借りしながら、2010年度からは、国の委託事業として「求職者支援訓練」を、県の委託事業として「公共職業訓練」を実施してきました。また、自主事業としても働きながら資格取得を目指すことができる「ブラッシュアップ講座」を実施してきました。

2012年度までは、ホームヘルパー1級・2級・3級の養成研修および介護職員基礎研修が併存していましたが、国家資格である介護福祉士へのキャリアパスを一本化することを趣旨とし、2013年3月にこれらの資格はすべて廃止され、2013年度から介護初任者・実務者研修に移行しました。現在は、介護実務者研修、介護初任者研修、同行援護養成研修、ガイドヘルパー養成研修、介護福祉士国家試験準備講習会など、介護に特化した講座を実施しています。



2025年、第1次ベビーブームの1947年から1949年に生まれた「団塊世代」全員が75歳以上の後期高齢者になり、介護業界では2025年度243万人の介護職員が必要となりましたが、212万6千人と31万人が不足しています。また2040年度には272万人の介護職員が必要とされています。人手不足の主な原因としましては、賃金の低さが一番で、政府や事業所は処遇改善などを進めていますが、他の職種と比べるとまだまだ低い傾向にあります。

他には身体介護に伴う肉体的な負担や精神的ストレス、介護職員の高齢化が進んでおり、若年層の参入が少ないため人材確保が難しい状況です。介護の資格を取りたい受講生が減ってきている状況ですが、介護の大切さや魅力を多くの人に伝えていきたいと思っています。



仕事なんでも相談室

【開設 23 年のあゆみ】

仕事なんでも相談室は、「夜間・休日労働相談事業」として県から委託を受け、ウイークデイの昼間に相談が困難な労働者や使用者の労働問題にかかわる相談に、電話及び面接により対応することを業務として、2002年の年末に開所されました。

当初4名の相談スタッフで事業をスタート。労福協では、平日16:00～21:00、土日10:00～16:00の県委託事業に加え、平日9:00～16:00も自主事業として相談にあたりました。2003年には相談件数518件でありましたが、フリーダイヤルの導入や広報の成果もあり5年後の2008年には1338件にまで増加、その後相談件数は着実に増加し2020年度には1788件となり現在に至るまで1700件を超える件数で推移しています。

以下、この23年間を振り返ってみたいと思います。

● 2008年9月 リーマンショック、世界金融危機が襲う

世界同時不況が襲い、日本においても企業業績が急激に悪化。労働雇用情勢も極めて厳しく、リストラ、特に「有期・派遣切り」、「年越し派遣村」の出現など深刻な社会問題ともなりました。

失業者も多く、国の対策として「緊急雇用創出事業」が実施され、相談事業においても南部・西部の現地において相談に対応する事業を県から委託を受け、また県の特別労働相談に共催として参画するなど、厳しい労働雇用情勢に対応してきました。

※この時期、解雇、雇い止め、内定取り消し、雇用にかかる相談の増加が目立ちました。

また、この時期において、従来の裁判例を法文化した「労働契約法」が2008年3月1日から施行されました。

● 2011年3月11日 東日本大震災・大津波、福島原子力発電所事故

● 2012年末から「いざなぎ景気越え」始まる

● 2013年 日銀 異次元の金融緩和による低金利政策を実施 円安・ドル高が現在に至るまで定着

この間、復興特需などの影響で、有効求人倍率の増加・改善はみられたものの、なお引き続きデフレ経済の下、労働者の賃金の上昇は低く、一般国民にとって景気回復の実感は乏しかったものでした。

※労働相談においては、社会の閉塞感が職場の人間関係にも及び、「パワーハラスメント」の相談の増加がとくに目立つようになりました。

● 2018年6月 「働き方改革関連法」が成立

労働基準法の時間外労働の上限規制やパート・有期雇用労働法の均等・均衡待遇などの改正が行われ、2019年4月1日から順次施行されました。

※労働相談では、小規模・零細企業の労働者からの相談が多数を占める当相談室においては、時間外上限規制、均等・均衡待遇についての相談件数は少数でしたが、「年次有給休暇の5日間の時季指定義務(労基法で新設)」に関わる相談は多く寄せられました。

● 2020年 新型コロナウイルス世界的大流行

日本においても新型コロナウイルスが猛威を振るい、外出自粛、医療ひっ迫など社会、経済、生活、労働に対し未曾有の影響を及ぼしました。

※新型コロナウイルスは、感染症法において第2類に指定され、感染者は知事による就業制限措置が執られました。そのため、とくに感染者との濃厚接触者の就業に関して、「休業及び休業手当の支給」、「休業に係る公的助成金」、「職場における安全衛生体制」などコロナ関連の相談が多く寄せられました。

新型コロナウイルスは2023年5月には、感染者数の減少や症状の軽減化等を理由に感染症法第5類となり季節性インフルエンザと同等の扱いとなりました。

● 2022年4月1日 改正労働施策総合推進法全面施行（中小企業も義務化）

パワーハラスメントの防止、救済等、必要な体制の整備及び雇用管理上必要な措置が事業主の義務とされ、併せて国（労働局）による紛争解決の援助及び調停の制度が設けられました。

● 2025年 現在

円安、インフレ、著しい物価の高騰により、最低賃金は1046円（徳島県 26年1月施行）と引き上げられたものの、労働者の実質賃金は上がることなく厳しい生活状況が続いております。

※労働相談では、法改正にもかかわらず、「パワハラ」の相談が相変わらず多く、また希望通り「退職」をさせてもらえない、使用者側による恣意的な「自己都合退職」の扱いなどの相談が多く見受けられ、最近では、ここ数年間少なかった「賃金」及び「解雇」に関する相談が増加してきています。

※また、2025年度から、メールによる相談にも対応することとなり、従来少なかった20歳代の若い世代からの相談が増加しています。

【これからの展望】

「仕事なんでも相談室」は開設以来23年を経過しようとしておりますが、現在の相談スタッフ6名全員が、激しく揺れ動く社会情勢とそれに伴う労働雇用情勢、労働法制の変更に対し、日々研鑽を行い、協調・協力し、県内労働者（時に使用者）の方々からの相談に真摯に対応しているところであります。

最後に、スタッフ一同、労福協50周年の節目にあたり、当室のより一層の発展を決意するとともに、県担当課をはじめとした関係者の方々のご支援、ご協力に心から感謝を申し上げます。



開所当時のチラシ



現在のチラシ

無料職業紹介事業

【これまでの実績】

①ジョブとくしま無料職業紹介所

2004年10月1日開設。徳島県労働者福祉協議会では、求職者の職業能力開発を支援するため各種の職業訓練を開講していましたが、年間の開講数が10を超え、訓練修了生の就職をサポートできるよう無料職業紹介事業を開始、2004年の7月に厚生労働省の認可を受け、地域や職種を限定しない全国初の民間の無料職業紹介所として「ジョブとくしま無料職業紹介所」をオープンさせました。全職種を取り扱っていますが、長年、介護実務者や初任者の職業訓練を行ってきた経緯から介護・福祉・医療の分野を得意としています。



《ジョブとくしま就職者数の推移》



②ジョブあなん無料職業紹介所

2015年4月1日開設。2015年から全国の福祉事務所設置自治体の実施主体となった際に阿南市から生活困窮者自立支援事業と就労準備支援事業を受託。相談から就労まで一体的な支援ができるようジョブあなん無料職業紹介所を開所しました。ハローワーク等と連携して相談者の就職が早期に実現するよう取り組んでいます。

【成果と課題】

◆成果

発足してからこれまでに2,400名以上の人を就職につないでいます。介護や福祉の人材については長年、培ってきたノウハウや人脈があり、スピード感のある対応や、就労が難しい利用者にも就職への道を切り開いてきたことで、地域の雇用のセーフティネットとして信頼され広く利用されています。

◆課題

介護・福祉の仕事だけでなく全体的に求職者が減ってきており、また人手不足の企業と労働者側のニーズがマッチしない現状があります。増加している外国人の雇用についてもノウハウが追いついておらず在住外国人サポート事業部と協力して支援しています。

【これからの展望】

技術革新が急速に進み、少子高齢化による労働力人口の減少が一段と進行するなか、高齢者や女性の就業率の増加、働き方の多様化など社会の変化にともない、職業紹介を取り巻く状況においても転職やダブルワークに関する相談等が増え、インターネットを活用した募集や応募の方法などが主流になりつつあります。

職業紹介事業者としては、このように採用や募集に関する情報が膨大にあふれる昨今、求職者や企業へ適正な情報を提供し、適切な助言や支援を行う必要性が今まで以上に重要不可欠になっています。また個人が主体的に自分のキャリアを形成していく時代となり、職業紹介も専門性を身につけた質の高いキャリア相談が一層求められています。

われわれは職業紹介をとおしてスムーズな労働移動を支援し、職業選択の自由を保障する民間職業紹介所としての役割を担っています。これからも地域の総合的雇用サービス機関として適切な役割を果たせるよう、社会的インフラとしての機能を強化し、地域社会の持続的な発展に貢献していきたいと思えます。



ジョブあなん無料職業紹介所



開所当時のチラシ



現在のチラシ

とくしま地域若者サポートステーション (本所・常設サテライト)



2006年9月に開始した厚生労働省（徳島労働局）「地域若者サポートステーション（以下、サポステ）」事業を、当団体が受託し、本年で20年目となります。開設当初は15歳から35歳までとされていた支援対象年齢を、現在は49歳までとし、就職氷河期世代を含む若年無業者等に対し、充実した職業生活を送り地域社会の将来を支える人材となるよう、地方公共団体と協働して職業的自立に向けた就労支援を実施しています。

また本事業は、徳島県や県内自治体からも広く支援を受けており、「徳島県すだち（巣立ち）支援事業」「徳島県若年者等ケアサポート充実事業」では、就職準備講座や職場実習の実施、心理不安を抱える相談者に対する心理カウンセリングなど、徳島県内全域においてよりきめ細かな支援が実施されています。

さらには、本年2025年6月、不登校児童生徒やヤングケアラーなど困難を抱えるこどもの居場所づくり支援として、「徳島県こどもの居場所多様化推進事業」を受託し、「夏休み明けのこどもに寄り添う居場所」や「こどもたちの未来をサポートする“さぼの場”」を開設しました。こどもたちが自分自身にあった進路を選択し未来に希望が持てるよう、サポステ就労支援のノウハウと関係機関ネットワークを活かし、こどもたちのニーズや特性に応じたキャリア支援を実施しています。

今後の地域社会において、ますます深刻化する人口減少・少子超高齢化問題対策として、担い手となる若者への期待が一層高まる現状において、国や自治体が進める就業環境整備に加え、若者が将来に希望を見だし、一歩を踏み出すための個別的包括的支援施策として、サポステの存在意義はますます高まるものと想定されます。

これらを踏まえ、長年、様々な自立支援に取り組んできたサポステとして、当事者である若者とその家族の将来希望の醸成、ひいては地域社会の福祉向上に寄与するため、今後も当事者に寄り添いながら、グローバル化やAIの浸透などにより急速に変容する社会経済情勢や労働雇用環境、そして我々が居所とする地域環境に適応した多様な支援を実施し、サポステ事業を深化発展させていきたいと考えています。



<サポステ MAP >



【本所】徳島市寺島本町西
徳島駅前ビル1階



【常設】阿波市阿波町
阿波農村環境改善センター2階



HPはこちら



1. サボステ概要

- ・実施主体：厚生労働省（人材開発統括官若年者・キャリア形成支援担当）徳島労働局
- ・実施機関：公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
- ・支援対象者：15歳～49歳の若年無業者等（仕事や家事・通学もしていない方）
- ・目的：若年無業者等の職業的自立
- ・目標：地方公共団体と協働した職業的自立支援
- ・内容：社会人としての基礎的能力の養成、就職活動を開始するにあたっての必要な知識やノウハウの付与、産業の担い手となるうえで必要な知識等を体験する機会の提供
- ・詳細：個別キャリアカウンセリング、心理相談、職業適性・興味検査、就職準備講座（生活改善、メンタルヘルス、コミュニケーション、パソコン、ビジネスマナー・マネジメント、応募書類作成・面接対策、企業担当者講話等）、職場見学、職場体験、定着支援、ステップアップ支援



2. 沿革

- ・2006年9月 とくしま地域若者サポートステーション 開所
徳島県「すだち（巣立ち）支援事業・若年者等ケアサポート充実事業」開始
- ・2012年5月 常設サテライトあわ地域若者サポートステーション 開所
- ・2025年6月 徳島県不登校の子どもへのキャリア支援業務 開始
（徳島県「こどもの居場所」共創フォーラム業務 運営協力）



3. 主な相談窓口

1) 本所

とくしま地域若者サポートステーション

〒770-0831

徳島市寺島本町西1丁目7-1 徳島駅前171ビル1階

・電話：088-602-0553/FAX：088-625-3530

・Mail：wakamono@toku-sapo.com

・体制：常勤5名・非常勤4名

[キャリアコンサルタント3名、公認心理師等4名、相談支援員2名]



2) 常設サテライト

あわ地域若者サポートステーション

〒771-1703

阿波市阿波町東原173番地1 阿波農村環境改善センター2階

・電話：0883-25-9510/FAX：0883-25-9310

・Mail：awa@toku-sapo.com

・体制：常勤3名・非常勤1名

[キャリアコンサルタント1名、公認心理師等1名、相談支援員2名]



パーソナルサポート事業部

パーソナル・サポート事業部は、2011年内閣府モデル事業であった「パーソナル・サポート・サービス事業」をスタートとし、生活に課題を抱える方への自立支援に取り組んでまいりました。2013年に、厚生労働省に移管された「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を受託し、全国展開に先駆けて事業を実施しました。そして、2015年に「生活困窮者自立支援法」が施行されてからは、徳島県、徳島市、小松島市、鳴門市、阿南市の「生活困窮者自立支援事業」を受託し（注：市によって受託事業は異なる）、今年で丸10年を迎えました。「生活困窮者自立支援事業」は「自立相談支援事業」「就労準備支援事業」「家計改善支援事業」「子どもの学習支援事業」の主に4つの柱を中心に構成されています。また、同じく2015年に鳴門市「被保護就労支援事業」を受託し、そして、2024年小松島市においては、重層的支援体制整備事業のうち「参加支援事業」と「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を新たに受託しました。

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大時には、個人事業主やフリーランス等これまで生活困窮者自立支援事業の対象外であった方々に対して、国の施策により、生活困窮者自立支援機関が相談・申請等に対応する窓口のひとつとして、大きな役割を果たしました。

そして、現在、少子高齢化、単身世帯やひとり親世帯の増加、貧困の世代間連鎖、地域社会とのつながりの希薄化、さらには社会情勢の変化に伴う物価高騰などが加わり、様々な課題が深刻化しています。このような社会状況の中で、生活に不安を抱える方は今後ますます増えることが予測され、パーソナル・サポート事業部に求められる役割は、より一層重要になると考えています。

今後も、経済的な困窮だけでなく、多様な課題を抱える人たち一人ひとりに寄り添い、地域住民や関係機関など地域における支援のネットワーク体制を構築しながら、誰もが安心して暮らせる地域社会のために、私たち職員一同、力を合わせ、事業に取り組んでまいります。

●各事務所と事業内容

■ パーソナル・サポート・センターとくしま ※徳島県、徳島市、鳴門市委託事業

<就労準備支援事業> 徳島県就労準備支援事業、徳島市就労準備支援事業

<学びサポート塾> 徳島市子どもの学習支援事業、鳴門市よりそい学習・生活支援事業

■ 鳴門市生活自立支援センター「よりそい」 ※鳴門市委託事業

自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業、被保護就労支援事業

■ こまつしま生活自立支援センター ※小松島市委託事業

自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業

重層的支援体制整備事業（参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業）

■ あなんパーソナル・サポート・センター ※阿南市委託事業

自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業

パーソナル・サポート・センターとくしま(就労準備支援事業)

生活困窮者自立支援法が施行された2015年4月、徳島県・徳島市より委託を受け支援を担ってきました。

「働きたいけれど、すぐに仕事ができるか、自信がない…」

そんな思いを抱えている方を対象に、生活リズムの改善、他者との交流や日中活動の場として開催している集合型講座の参加、ボランティア活動などを通して地域や社会とのつながりを取り戻す時間を大切にしながら、働く準備を支援しています。

●徳島県就労準備支援事業

県内の16町村の社会福祉協議会と連携し、地域に密着した支援を展開しています。2024年4月からは、対象者に生活保護受給者が加わり、より幅広い方々の自立に向けた支援が求められています。

広域にまたがるため、地域へ訪問するアウトリーチ型の支援を中心に、そして支援が行き届きにくい方々へ“つながりの場”を届けられるように心がけ、利用者一人ひとりが自分のペースで安心して一歩が踏み出せる環境を提供しています。



●徳島市就労準備支援事業

徳島市社会福祉協議会と連携し支援を展開しています。県中心部にあるため、地域資源を活用した集合型講座での活動や体験の場が身近に多くあるのが特徴です。近年では、まずは外出するきっかけとして事業を利用される方が増えてきています。利用者一人ひとりに合った、その人らしい小さな一歩を積み重ね、自信へと繋がることを大切にしています。



活動内容

- ◆創作活動を通じて自分の思いを表現したり、農業体験やボランティア活動、コミュニケーション講座などで他者と一緒に活動し、社会性も育てています。



- ◆身だしなみやあいさつ、履歴書の書き方、面接に向けた練習など、働く前に知っておきたいことを学びます。また、県内の事業所にご協力いただき実際の働く現場をみせてもらい、働くイメージを具体的に持つことができます。



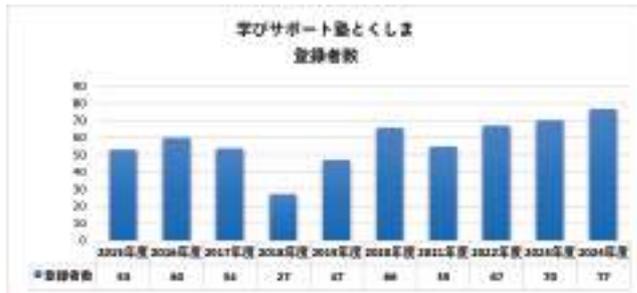
パーソナル・サポート・センターとくしま (学習支援事業)

●徳島市子どもの学習支援事業

学びサポート塾とくしま

徳島市より委託を受け、2015年度より学習支援事業を実施し、今年で10年目を迎えました。徳島市内15校の主に中学3年生を対象として実施しています。学力の向上や居場所を求める中学生が集まり、疑問や悩みをスタッフや指導員にいつでも相談できる環境の中、目標に向かって主体的に学習に取り組むことのできる自習室を「学びサポート塾」として運営し、居場所の提供を行っています。

基礎学力の向上や高等学校への進学を支援し、貧困の連鎖の防止に寄与することを目的とし、2020年度からは教室数を1箇所増設し、6カ所で運営しています。年々登録数が伸び、学習支援の重要性、必要性が高まっていると感じています。また、将来の自分を見据えたキャリア支援教育や生活支援を踏まえた取り組みを行い、高校進学率100%を目指し今後とも学習の場、居場所の場を提供していきます。



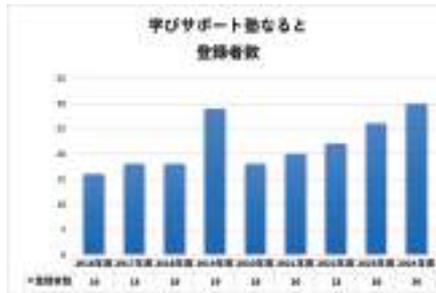
●鳴門市よりそい学習・生活支援事業

学びサポート塾なると

鳴門市から委託を受け、主に生活困窮状態とされる世帯の小中学生を対象に、2016年度より学習支援を実施しています。また、基礎学力の向上には、小学生からの学習習慣の確立が重要とのことから、2023年度より小学5年生から中学3年生まで対象年齢を拡大しました。学習支援や様々な交流活動を実施し、学力向上と社会性や自立心を育むことにより、将来的な自立の素地を育成することを目的としています。

学習だけではなく、生活支援として補食の提供や調理実習交流会、キャリア支援等を行っています。

更に、教室集合型が難しい子どもに対しては、家庭訪問形式の支援や児童養護施設へ訪問学習を行う等、必要としている子ども達が利用しやすく取り残されることがないように、関係機関や地域、学校とさらに連携を深め、今後も支援の拡大をしていきます。



鳴門市生活自立相談支援センターよりそい

鳴門市生活自立相談支援センターよりそいは、生活困窮者自立支援法の施行にあわせ、鳴門市より委託事業を受託し、地域における生活困窮者支援の一翼を担ってまいりました。相談者の方が安心して相談ができるよう、鳴門市役所一階入口付近に相談室を設置し、気軽に来所いただける環境づくりに努めています。こうした思いのもと、当センターでは開設以来、地域の実情に寄り添いながら、以下の事業に取り組んでまいりました。

〈生活困窮者自立支援事業〉

2015年4月1日より開始した本事業では、生活に困難を抱える方々が安定した暮らしを取り戻せるよう、相談支援を中心に多様な課題へ総合的に対応しています。就労・家計・住まい・健康など、複数の困りごとを抱える相談者一人ひとりに寄り添い、関係機関と連携しながら切れ目のない支援提供に取り組んでいます。また、鳴門市役所や地域企業より寄せられるフードロス食品やパンなどの提供物資を活用したフードバンク活動も行っており、緊急的な生活支援として大きな役割を果たしています。温かなご協力をいただく企業・団体の皆さまに深く感謝申し上げます。

〈家計改善支援事業〉

2020年4月1日より実施している家計改善支援事業では、家計管理に課題を抱える方に対し、収支の整理や返済計画づくりを支援しています。相談者が自らの生活を主体的に立て直していけるよう、状況に応じた助言や関係機関への同行支援を行い、安定した生活基盤の構築を目指しています。

〈就労準備支援事業〉

同じく2020年4月1日より開始した就労準備支援事業では、就労に不安や課題を抱える方を対象に、生活リズムの安定や基礎的な就労に関する知識の形成を目指した段階的な支援を提供しています。作業プログラムの参加、職場見学・体験などを通じて働くための基盤づくりを行い、一人ひとりのペースに合わせてながら就労への一歩を後押ししています。

〈被保護就労支援事業〉

生活保護受給者の方々を対象に、就労に向けた相談支援や求職活動、就労後の定着支援を継続的に行っています。福祉事務所をはじめとする関係機関と連携し、生活面と就労面の双方から支援を行うことで、生活保護からの脱却、安定した社会参加に向けた支援を行っています。

これからも地域の誰もが安心して相談できる窓口として、より良い支援体制の構築に努め、地域に貢献できる事業運営を続けてまいります。



よりそいのチラシ



相談室の写真



物資提供していただいた食品

こまつしま生活自立支援センター

こまつしま生活自立支援センターは、2015年度より生活困窮者自立支援事業を実施しています。初年度からの「自立相談支援事業」に加え、2021年度には「就労準備支援事業」「家計改善支援事業」を新たに受託しました。生活、仕事、借金、ひきこもり、住居などの課題に、三位一体となって個別的、継続的かつ包括的に自立支援を展開しております。また、2021年9月1日に拠点を小松島市内に移し、中心部の元NTTビル1階に事務所を構えたことで、市民の皆さまに利用していただきやすくなりました。2024年度の新規相談件数においては、2015年度比1.5倍、また総相談件数は2022年度から連続1000件を超え、2015年度比2.7倍となっています。

また、2024年度からは、小松島市重層的支援体制整備事業「参加支援事業」「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を新たに受託しました。長期間ひきこもり状態にある方が再び地域社会とのつながりを回復できるように、安心できる居場所づくりと社会資源の開拓に努めています。また、支援の届いていない方に支援を届けられるようにアウトリーチ支援事業においても、今後一層強化をしていきます。

また当センターでは、月5～6回ほど集合型講座を開催しており、体力づくり、創作活動、ボランティア活動、大学院の先生によるコミュニケーション講座、パソコン講座、などのプログラムを提供しています。また、2025年9月からは、市内にある事業所のご協力により、中間的就労の場を設けることができました。これは、利用者にとって新たな活躍の場となり、社会とのつながりを深める大切な機会となっています。

こまつしま生活自立支援センターは、現在職員5名体制で事業を推進しております。よろしくお願いいたします。

《生活困窮者自立支援事業ちらし》



《参加支援事業・アウトリーチ等継続的支援事業》



《センター建物》



重層的支援体制整備事業で実施すべき事業一覧

実施内容	実施時期	実施場所
生活困窮者自立支援事業	2015年度～2024年度	こまつしま生活自立支援センター
参加支援事業	2024年度～	こまつしま生活自立支援センター
地域づくり事業	2024年度～	こまつしま生活自立支援センター
多機能記憶事業	2024年度～	こまつしま生活自立支援センター
相談支援事業	2021年度～	こまつしま生活自立支援センター
アウトリーチ等継続的支援事業	2024年度～	こまつしま生活自立支援センター

《面談場所》



《集合型講座の場所》



あなんパーソナル・サポート・センター

2015（平成 27）年 4 月 1 日、阿南市から生活困窮者自立支援制度の委託を受け、「あなんパーソナル・サポート・センター」は開設されました。以来、地域に根ざした支援拠点として歩みを重ね、早くも 11 年目を迎えることとなりました。

開設当初は、「自立生活支援事業」と「就労準備支援事業」の二つの事業からスタートしましたが、生活困窮の背景や課題が年々複雑化・多様化する中、2020（令和 2）年度には新たに「家計改善支援事業」が加わり、現在は三つの柱を軸に包括的な支援を展開しています。

自立生活支援事業における相談登録者数は、2025 年 12 月末時点で 823 件に達し、そのうち 239 件の就職につながりました。また、就労準備支援事業や家計改善支援事業を含めた総相談件数は、同年 11 月末現在で 18,361 件となっており、近年では毎月 180 件から 230 件に及ぶ相談が寄せられています。これらの数字は、生活上の困難を抱える方々が、安心して相談できる場として当センターが地域に認知され、必要とされていることの表れといえます。

さらに、制度の狭間で支援が行き届きにくい方々への取り組みの一つとして、フードバンク活動にも力を入れてきました。食料支援を通じて生活の下支えを行うこの活動は、2017 年度の 92 件から、2024 年度には 1,215 件へと大きく増加し、支援の輪は着実に広がっています。

これからも「あなんパーソナル・サポート・センター」は、生活に困難を抱える一人ひとりに寄り添いながら、関係機関や地域と連携し、誰もが自分らしく安心して暮らせる社会の実現に向けて歩み続けてまいります。



1975 年度設立総会 (第 1 回)

役 職	氏 名	所 属
会 長	数原 好幸	県労評
副 会 長	斎 貞男	地方同盟
事務局長	榎 茂	事務局
幹 事	浜田新太郎	労働金庫
	石原 愛三	労済
	日下 久次	勤住協
	前田寛次郎	労館
	永山 昭一	基金協会
	日下文次郎	民労連
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	谷 利昭	県労評
会計監査	阿部 隆男	県労評
	米村 基生	労働金庫

1976 年度第 2 回(通算 2 回) 通常総会

役職	氏名	所属
会 長	数原 好幸	県労評
副 会 長	斎 貞男	地方同盟
事務局長	榎 茂	事務局
幹 事	浜田新太郎	労働金庫
	石原 愛三	労済
	日下 久次	勤住協
	前田寛次郎	労館
	永山 昭一	基金協会
	日下文次郎	民労連
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	谷 利昭	県労評
会計監査	阿部 隆男	県労評
	米村 基生	労働金庫

1977 年度第 3 回(通算 3 回) 通常総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	数原 好幸	県労評
副 会 長	斎 貞男	地方同盟
事務局長	榎 茂	事務局
幹 事	浜田新太郎	労働金庫
	石原 愛三	全労済
	日下 久次	勤住協
	前田寛次郎	労館
	永山 昭一	基金協会
	日下文次郎	民労連
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	谷 利昭	県労評
会計監査	阿部 隆男	県労評
	米村 基生	労働金庫

1978 年度第 4 回(通算 4 回) 通常総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	前田 定一	県労評
副 会 長	斎 貞男	地方同盟
	榎 茂	労働会館
事務局長	高須賀 治	県労評
幹 事	浜田新太郎	労働金庫
	石原 愛三	全労済
	日下 久次	勤住協
	前田寛次郎	労働会館
	永山 昭一	基金協会
	三島 恒男	
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	近藤 好文	県労評
	吉村 文夫	地方同盟
会計監査	大江 旭	労働金庫
	野見山力雄	勤住協

1979 年度第 5 回(通算 5 回) 通常総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	前田 定一	県労評
副 会 長	斎 貞男	地方同盟
	榎 茂	労働会館
事務局長	高須賀 治	県労評
幹 事	浜田新太郎	労働金庫
	石原 愛三	全労済
	日下 久次	勤住協
	前田寛次郎	労働会館
	川原 武	勤信協
	吉田 稔	民労連
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	近藤 好文	県労評
	吉村 文夫	地方同盟
会計監査	大江 旭	労働金庫
	野見山力雄	勤住協

1980 年度第 6 回(通算 6 回) 通常総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	前田 定一	県労評
副 会 長	吉村 文夫	地方同盟
	榎 茂	労働会館
事務局長	高須賀 治	県労評
幹 事	数原 好幸	労働金庫
	石原 愛三	全労済
	篠原 晴美	勤住協
	前田寛次郎	労働会館
	川原 武	勤信協
	吉田 稔	民労連
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	近藤 好文	県労評
会計監査	荒西 一雄	地方同盟
	大江 旭	労働金庫
	野見山力雄	勤住協

1981年度第7回(通算7回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	前田 定一	県労評
副会長	吉村 文夫	地方同盟
	榎 茂	労働会館
事務局長	高須賀 治	県労評
幹事	藪原 好幸	労働金庫
	石原 愛三	全労済
	篠原 晴美	勤住協
	前田寛次郎	労働会館
	川原 武	勤信協
	吉田 稔	民労連
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	近藤 好文	県労評
会計監査	大江 旭	労働金庫
	野見山力雄	勤住協

1982年度第8回(通算8回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	前田 定一	県労評
副会長	新居 克朗	地方同盟
	榎 茂	労働会館
事務局長	高須賀 治	県労評
幹事	藪原 好幸	労働金庫
	石原 愛三	全労済
	篠原 晴美	勤住協
	前田寛次郎	労働会館
	川原 武	勤信協
	吉田 稔	民労連
	松尾 勉	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	近藤 好文	県労評
会計監査	大江 旭	労働金庫
	野見山力雄	勤住協

1983年度第9回(通算9回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	前田 定一	県労評
副会長	新居 克朗	地方同盟
	榎 茂	労働会館
事務局長	今津 尚男	(半専従)
幹事	藪原 好幸	労働金庫
	白井儀三郎	全労済
	篠原 晴美	勤住協
	前田寛次郎	労働会館
	川原 武	勤信協
	吉田 稔	民労連
	福田 義則	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	高須賀 治	県労評
会計監査	大江 旭	労働金庫
	野見山力雄	勤住協

1984年度第10回(通算10回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	前田 定一	県労評
副会長	新居 克朗	地方同盟
	榎 茂	労働会館
事務局長	今津 尚男	事務局
幹事	藪原 好幸	労働金庫
	白井儀三郎	全労済
	篠原 晴美	勤住協
	前田寛次郎	労働会館
	川原 武	勤信協
	枋谷 旭	民労連
	福田 義則	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	高須賀 治	県労評
会計監査	福田 洋一	地方同盟
	杉本 幹夫	労働金庫
	矢野 和友	勤住協

1985年度第11回(通算11回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	前田 定一	県労評
副会長	新居 克朗	地方同盟
事務局長	今津 尚男	事務局
幹事	藪原 好幸	労働金庫
	白井儀三郎	勤信協
	久保 準一	労働会館
	高田 博	民労連
	川原 武	県生協
	枋谷 旭	学校生協
	福田 義則	労信販
	野田 清晴	地方同盟
	佐藤 博	県労評
	福田 洋一	勤住協
会計監査	高須賀 治	全労済
	矢野 和友	勤住協
	杉本 幹夫	労働金庫

1986年度第2回(通算12回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	前田 定一	県労評
副会長	新居 克朗	地方同盟
専務理事	今津 尚男	事務局
理事	藪原 好幸	労働金庫
	高田 博	勤信協
	川原 武	昭和会館
	枋谷 旭	民労連
	井内 憲次	県生協
	野田 清晴	学校生協
	佐藤 博	労信販
	福田 洋一	地方同盟
	高須賀 治	県労評
	久保 準一	勤住協
監事	白井儀三郎	全労済
	矢野 和友	勤住協
	杉本 幹夫	労働金庫

歴代役員

1987年度第3回(通算13回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	県労評
副会長	高須賀 治	全労済
	新居 克朗	地方同盟
専務理事	川原 武	労働会館
理事	前田 定一	労働金庫
	西尾 正一	県労評
	西村 平	勤住協
	永山 昭一	勤信協
	枋谷 旭	民労連
	早川 正義	県生協
	賀川 昇	学校生協
	福田 洋一	地方同盟
	佐藤 博	労信販
監事	梶浦 督司	全労済
	新居 茂昭	労働金庫

1988年度第4回(通算14回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	県労評
副会長	高須賀 治	全労済
	新居 克朗	地方同盟
専務理事	川原 武	労働会館
理事	前田 定一	労働金庫
	西尾 正一	県労評
	西村 平	勤住協
	永山 昭一	勤信協
	枋谷 旭	民労連
	早川 正義	県生協
	賀川 昇	学校生協
	福田 洋一	地方同盟
	溝渕 尚史	労信販
監事	梶浦 督司	全労済
	新居 茂昭	労働金庫

1989年度第5回(通算15回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	県労評
副会長	高須賀 治	全労済
	新居 克朗	地方同盟
専務理事	谷崎 怜	労働会館
理事	前田 定一	労働金庫
	西村 平	勤住協
	永山 昭一	勤信協
	枋谷 旭	民労連
	久米 勝彦	県生協
	賀川 昇	学校生協
	溝渕 尚史	労信販
	西尾 正一	県労評
	福田 洋一	地方同盟
	丸岡 敬幸	西部地区労
監事	梶浦 督司	全労済
	新居 茂昭	労働金庫

1990年度第6回(通算16回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	連合徳島
副会長	西野 昌男	連合徳島
理事	加藤 高明	連合徳島
	前田 定一	労働金庫
	西村 平	勤住協
	永山 昭一	勤信協
	枋谷 旭	民労連
	久米 勝彦	県生協
	高須 賢治	全労済
	柳原 察介	連合徳農
	上田 光一	学校生協
	寺澤 三次	労働会館
	丸岡 敬幸	西部地区労
監事	梶浦 督司	全労済
	新居 茂昭	労働金庫

1991年度第7回(通算17回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	連合徳高
副会長	西野 昌男	適合徳島
理事	前田 定一	労働金庫
	梶浦 督司	全労済
	西村 平	勤住協
	永山 昭一	勤信協
	寺澤 三次	労働会館
	加藤 高明	連合徳島
	柳原 察介	連合徳島
	枋谷 旭	民労連
	黒田 芳照	県生協
	上田 光一	学校生協
	平井 正元	労信販
	安宅 恒正	池田福対協
	監事	大松 長勝
新居 茂昭		労働金庫

1992年度第8回(通算18回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	連合徳島
副会長	西野 昌男	連合徳島
理事	前田 定一	労働金庫
	梶浦 督司	全労済
	西村 平	勤住協
	斉藤 勝	勤信協
	寺澤 三次	労働会館
	加藤 高明	連合徳島
	石田 解雄	連合徳島
	枋谷 旭	民労連
	黒田 芳照	県生協
	上田 光一	学校生協
	平井 正元	労信販
監事	細田 義秋	池田福対協
	大松 長勝	全労済
	新居 茂昭	労働金庫

歴代役員

1993年度第9回(通算19回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	員外
副会長	石田 解雄	連合徳島
理事	西村 平	労働金庫
	梶浦 督司	全労済
	斉藤 勝	勤信協
	寺澤 三次	労働会館
	加藤 高明	連合徳島
	枋谷 旭	民労連
	二山 邦夫	県生協
	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
監事	細田 義秋	池田福対協
	大松 長勝	全労済
	市原 邦造	労働金庫

1994年度第10回(通算20回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	員外
副会長	石田 解雄	連合徳島
理事	西村 平	労働金庫
	梶浦 督司	全労済
	斉藤 勝	勤信協
	寺澤 三次	労働会館
	加藤 高明	連合徳島
	枋谷 旭	民労連
	二山 邦夫	県生協
	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
監事	細田 義秋	池田福対協
	大松 長勝	全労済
	市原 邦造	労働金庫

1995年度第11回(通算21回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	津川 正明	員外
副会長	石田 解雄	連合徳島
理事	西村 平	労働金庫
	梶浦 督司	全労済
	斉藤 勝	勤信協
	寺澤 三次	労働会館
	加藤 高明	連合徳島
	枋谷 旭	民労連
	森住 孝義	県生協
	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
監事	細田 義秋	池田福対協
	大松 長勝	全労済
	市原 邦造	労働金庫

1996年度第12回(通算22回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	寺澤 三次	員外
副会長	梶浦 督司	全労済
	土井 五男	労働金庫
	大松 長勝	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	斉藤 勝	勤信協
	枋谷 旭	民労連
	森住 孝義	県生協
	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
監事	西尾 正一	全労済
	市原 邦造	労働金庫

1997年度第13回(通算23回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	寺澤 三次	員外
副会長	梶浦 督司	全労済
	土井 五男	労働金庫
	大松 長勝	連合徳島
	久積 育郎	連合徳島
理事	斉藤 勝	勤信協
	枋谷 旭	民労連
	勝野 由巳	県生協
	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
監事	西尾 正一	全労済
	市原 邦造	労働金庫

1998年度第14回(通算24回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	連合徳島
副会長	梶浦 督司	全労済
	土井 五男	労働金庫
	大松 長勝	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
	国見 聖	民労連
	林 行忠	勤信協
	斎藤 徹	県生協
監事	西尾 正一	全労済
	市原 邦造	労働金庫

歴代役員

1999年度第15回(通算25回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	連合徳島
副会長	土井 五男	労働金庫
	梶浦 督司	全労済
	大松 長勝	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	林 行忠	勤信協
	藤本 憲和	県生協
	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
	西尾 正一	年金福祉協会
	田中 進	ネットワーク
監事	市原 邦造	労働金庫
	浦本 嘉紹	全労済

2000年度第16回(通算26回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	労福協
副会長	土井 五男	労働金庫
	梶浦 督司	全労済
	大松 長勝	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	林 行忠	勤信協
	藤本 憲和	県生協
	天羽 勇	学校生協
	平井 正元	労信販
	西尾 正一	年金福祉協会
	田中 進	ネットワーク
監事	市原 邦造	労働金庫
	浦本 嘉紹	全労済

2001年度第17回(通算27回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	労福協
副会長	梶浦 督司	全労済
	大松 長勝	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	林 行忠	勤信協
	藤本 憲和	県生協
	天羽 勇	学校生協
	西尾 正一	年金福祉協会
	田中 進	ネットワーク
	藤原 学	連合徳島
	奥田 勝	高退連
監事	浦本 嘉紹	全労済
	松田 勲	労働金庫

2002年度第18回(通算28回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	労働金庫
副会長	梶浦 督司	全労済
	大松 長勝	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	安部 康弘	全建労組
	米田 喜夫	県生協
	天羽 勇	学校生協
	西尾 正一	年金福祉協会
	田中 進	ネットワーク
	藤原 学	連合徳島
	奥田 勝	高退連
監事	松田 勲	労働金庫
	梅平 純也	全労済

2003年度第19回(通算29回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	労福協
副会長	大松 長勝	全労済
	藤原 学	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	安部 康弘	全建労組
	米田 喜夫	県生協
	佐々木 有	生協連
	奥田 勝	高退連
	西野 昌男	ネットワーク
理事代理	渋谷 良臣	労働金庫
	小松 義明	連合徳島
監事	坂尾 直也	労働金庫
	梅平 純也	全労済

2004年度第20回(通算30回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	労福協
副会長	大松 長勝	全労済
	藤原 学	連合徳島
	渋谷 良臣	労働金庫
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	安部 康弘	全建労組
	宮本 敏秀	県生協
	佐々木 有	生協連
	磯田 正江	高退連
	西野 昌男	ネットワーク
	小松 義明	連合徳島
監事	坂尾 直也	労働金庫
	梅平 純也	全労済

歴代役員

2005年度第21回(通算31回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	加藤 高明	労福協
副会長	大松 長勝	全労済
	藤原 学	連合徳島
	渋谷 良臣	労働金庫
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	安部 康弘	全建労組
	宮本 敏秀	県生協
	佐々木 有	生協連
	磯田 正江	高退連
	西野 昌男	ネットワーク
	小松 義明	連合徳島
	新居 良雄	労安センター
監事	阿佐喜八郎	労働金庫
	梅平 純也	全労済

2006年度第22回(通算32回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	渋谷 良臣	労働金庫
副会長	大松 長勝	全労済
	藤原 学	連合徳島
専務理事	久積 育郎	連合徳島
理事	国見 聖	民労連
	安部 康弘	全建労組
	河野 征三	県生協
	原田 正一	生協連
	小笠原幸雄	高退連
	西野 昌男	ネットワーク
	小松 義明	連合徳島
	新居 良雄	労安センター
	監事	阿佐喜八郎
梅平 純也		全労済

2007年度第23回(通算33回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	渋谷 良臣	労福協
副会長	大松 長勝	全労済
	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	連合徳島
専務理事	久積 育郎	労福協
理事	国見 聖	民労連
	小泉 栄昭	フレッセ
	河野 征三	県生協
	原田 正一	生協連
	枋谷 旭	ネットワーク
	小笠原幸雄	高退連
	小松 義明	連合徳島
	新居 良雄	労安センター
監事	阿佐喜八郎	労働金庫
	岡村 睦喜	全労済

2008年度第24回(通算34回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	久積 育郎	労福協
副会長	大松 長勝	全労済
	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	連合徳島
専務理事	枋谷 旭	ネットワーク
理事	国見 聖	民労連
	小笠原幸雄	高退連
	小泉 栄昭	フレッセ
	谷本 通	県生協
	原田 正一	生協連
	小松 義明	連合徳島
	新居 良雄	労安センター
監事	岡村 睦喜	全労済
	元川 仁	労働金庫

2009年度第25回(通算35回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	久積 育郎	労福協
副会長	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	全労済
	小松 義明	連合徳島
専務理事	藤森 申二	労福協
理事	辻 博史	全労済
	枋谷 旭	ネットワーク
	国見 聖	民労連
	小笠原幸雄	高退連
	小泉 栄昭	フレッセ
	谷本 通	県生協
	梶原 樹	生協連
	斎藤 英司	連合徳島
	新居 良雄	労安センター
	監事	岡村 睦喜
元川 仁		労働金庫

2010年度第26回(通算36回)通常総会

役職	氏名	所属
会長	久積 育郎	労福協
副会長	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	全労済
	小松 義明	連合徳島
専務理事	藤森 申二	労福協
理事	辻 博史	全労済
	枋谷 旭	ネットワーク
	国見 聖	民労連
	小笠原幸雄	高退連
	小泉 栄昭	フレッセ
	古田 哲郎	県生協
	梶原 樹	生協連
	斎藤 英司	連合徳島
監事	新居 良雄	労安センター
	岡村 睦喜	全労済
元川 仁	労働金庫	

歴代役員

2011年度第27回(通算37回)定期総会

役職	氏名	所属
会長	久積 育郎	労福協
副会長	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	全労済
	小松 義明	連合徳島
専務理事	藤森 申二	労福協
理事	辻 博史	全労済
	元川 仁	ネットワーク
	国見 聖	民労連
	小笠原幸雄	高退連
	小泉 栄昭	フレッセ
	高橋 徹	県生協
	梶原 樹	生協連
	齋藤 英司	連合徳島
	新居 良雄	労安センター
	東條 恭子	労福協
監事	岡村 睦喜	全労済
	郷司 明彦	労働金庫

2012年度第28回(通算38回)定期総会

役職	氏名	所属
会長	小松 義明	労福協
副会長	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	全労済
	河村 和男	連合徳島
専務理事	藤森 申二	労福協
理事	元川 仁	ネットワーク
	国見 聖	民労連
	小笠原幸雄	高退連
	尾方 巧	フレッセ
	高橋 徹	県生協
	梶原 樹	生協連
	新居 良雄	労安センター
	齋藤 英司	連合徳島
	東條 恭子	労福協
	監事	渡邊 一雅
郷司 明彦		労働金庫

顧問	氏名	所属
	津川 正明	徳島県労福協元会長
	寺澤 三次	徳島県労福協元会長
	加藤 高明	徳島県労福協元会長
	澁谷 良臣	徳島県労福協元会長
	久積 育郎	徳島県労福協前会長

2013年度第1回(通算39回)定期総会

役職	氏名	所属
会長	小松 義明	労福協
副会長	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	全労済
	河村 和男	連合徳島
専務理事	藤森 申二	労福協
理事	久積 育郎	ネットワーク
	福本 純	労働会館
	小笠原幸雄	高退連
	尾方 巧	フレッセ
	梶原 樹	生協連
監事	中川 泰司	税理士事務所
	渡邊 一雅	全労済
	竹内 泰章	労働金庫

2014年度第2回(通算40回)定期総会

役職	氏名	所属
会長	小松 義明	労福協
副会長	藤原 学	労働金庫
	川越 敏良	全労済
	河村 和男	連合徳島
専務理事	林 善章	労福協
理事	久積 育郎	ネットワーク
	福本 純	労働会館
	小笠原幸雄	高退連
	尾方 巧	フレッセ
	梶原 樹	生協連
	中川 泰司	税理士事務所
監事	渡邊 一雅	全労済
	竹内 泰章	労働金庫

2015年度第5回(通算43回)定時会員総会

役職	氏名	所属
会長	川越 敏良	労福協
副会長	河村 和男	労働金庫
	森本 佳広	連合徳島
専務理事	林 善章	労福協
理事	久積 育郎	ネットワーク
	福本 純	労働会館
	山藤 正義	高退連
	尾方 巧	フレッセ
	梶原 樹	生協連
	国見 聖	民労連
	辻 博史	支援機構
	竹内 泰章	労働金庫
	藤原 茂	税理士法人
	川原 佳子	ネットワーク

2016年度第6回(通算44回)定時会員総会

役職	氏名	所属
会長	川越 敏良	全労済
副会長	河村 和男	労働金庫
	森本 佳広	連合徳島
専務理事	林 善章	労福協
理事	久積 育郎	ネットワーク
	福本 純	労働会館
	山藤 正義	徳退連
	尾方 巧	フレッセ
	梶原 樹	生協連
	国見 聖	民労連
	辻 博史	支援機構
監事	奥田 浩次	労働金庫
	藤原 茂	税理士法人
	川原 佳子	ネットワーク

歴代役員

2017年度第7回(通算45回)定時会員総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	川越 敏良	徳島県労福協
副 会 長	森本 佳広	連合徳島
	藤岡 一雄	全労済徳島県本部
	寺西 稔	四国労働金庫
専務理事	林 善章	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
理 事	久積 育郎	勤労者福祉ネットワーク
	福本 純	徳島県労働福祉会館
	大地 均	全徳島建設労働組合
	梶原 樹	徳島県生協連
	山藤 正義	徳島県退職者連合
	瀧 誠司	うずしお法律事務所
	境 泉洋	徳島大学
監 事	奥田 浩次	四国労働金庫
	藤原 茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
	豊田 浩	全労済徳島県本部

2018年度第8回(通算46回)定時会員総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	川越 敏良	徳島県労福協
副 会 長	森本 佳広	連合徳島
	藤岡 一雄	全労済徳島推進本部
	寺西 稔	四国労働金庫徳島営業本部
専務理事	林 善章	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
理 事	久積 育郎	勤労者福祉ネットワーク
	福本 純	徳島県労働福祉会館
	梶原 樹	徳島県生協連
	山藤 正義	徳島県退職者連合
	大地 均	全徳島建設労働組合
	瀧 誠司	うずしお法律事務所
	佐藤 健二	徳島大学
監 事	藤原 茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
	豊田 浩	全労済徳島推進本部
	板東啓太郎	四国労働金庫

2019年度第9回(通算47回)定時会員総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	川越 敏良	徳島県労福協
副 会 長	新居 栄治	連合徳島
	藤岡 一雄	こくみん共済 coop 徳島推進本部
	森本 佳広	四国労働金庫徳島営業本部
専務理事	三橋 松男	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
理 事	久積 育郎	勤労者福祉ネットワーク
	福本 純	徳島県労働福祉会館
	大地 均	全徳島建設労働組合
	大久保秀幸	徳島県生協連
	山藤 正義	徳島県退職者連合
	瀧 誠司	うずしお法律事務所
	佐藤 健二	徳島大学心理学分野
	和泉 芳枝	徳島県社会福祉士会
	三木 裕子	四国地方社会保険医療協議会
監 事	板東啓太郎	四国労働金庫徳島営業本部
	藤原 茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
	豊田 浩	こくみん共済 coop 徳島推進本部

2020年度第10回(通算48回)定時会員総会

役 職	氏 名	所 属
会 長	川越 敏良	徳島県労福協
副 会 長	新居 栄治	連合徳島
	藤岡 一雄	こくみん共済 coop 徳島推進本部
	森本 佳広	四国労働金庫徳島営業本部
専務理事	三橋 松男	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
理 事	久積 育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
	福本 純	徳島県労働福祉会館
	大地 均	全徳島建設労働組合
	大久保秀幸	徳島県生協連
	山藤 正義	徳島県退職者連合
	瀧 誠司	うずしお法律事務所
	佐藤 健二	徳島大学
	和泉 芳枝	徳島県社会福祉士会
	三木 裕子	四国地方社会保険医療協議会
監 事	板東啓太郎	四国労働金庫徳島営業本部
	藤原 茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
	豊田 浩	こくみん共済 coop 徳島推進本部

歴代役員

2021年度第12回(通算50回)定時会員総会

役職	氏名	所属
会長	川越 敏良	徳島県労福協
副会長	大谷 竹人	連合徳島
	藤岡 一雄	こくみん共済coop 徳島推進本部
	新居 栄治	四国労働金庫徳島営業本部
専務理事	三橋 松男	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
	福本 純	徳島県労福協
理事	久積 育郎	勤労者福祉ネットワーク
	大地 均	全徳島建設労働組合
	大久保秀幸	徳島県生協連
	山藤 正義	徳島県退職者連合
	瀧 誠司	学識経験者
	佐藤 健二	学識経験者
	和泉 芳枝	学識経験者
監事	三木 裕子	学識経験者
	板東啓太郎	四国労働金庫徳島営業本部
	藤原 茂	学識経験者
	豊田 浩	こくみん共済coop 徳島推進本部
顧問	藤原 学	前徳島県労働福祉会館理事長

2022年度第13回(通算51回)定時会員総会

役職	氏名	所属
会長	川越 敏良	徳島県労福協
副会長	大谷 竹人	連合徳島
	藤岡 一雄	こくみん共済coop 徳島推進本部
	新居 栄治	四国労働金庫徳島営業本部
専務理事	三橋 松男	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
	福本 純	徳島県労福協
理事	久積 育郎	勤労者福祉ネットワーク
	大地 均	全徳島建設労働組合
	大久保秀幸	徳島県生協連
	山藤 正義	徳島県退職者連合
	瀧 誠司	学識経験者
	佐藤 健二	学識経験者
	和泉 芳枝	学識経験者
監事	三木 裕子	学識経験者
	板東啓太郎	四国労働金庫徳島営業本部
	藤原 茂	学識経験者
	乾 浩二	こくみん共済coop 徳島推進本部

2023年度第14回(通算52回)定時会員総会

役職	氏名	所属
会長	森本 佳広	徳島県労福協
副会長	島 和久	連合徳島
	大谷 竹人	こくみん共済coop 徳島推進本部
	新居 栄治	四国労働金庫徳島営業本部
専務理事	梶本 一夫	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
	福本 純	徳島県労福協
理事	久積 育郎	勤労者福祉ネットワーク
	大地 均	全徳島建設労働組合
	大久保秀幸	徳島県生活協同組合連合会
	坂尾 直也	徳島県退職者連合
	瀧 誠司	学識経験者
	佐藤 健二	学識経験者
	和泉 芳枝	学識経験者
監事	三木 裕子	学識経験者
	大久保達夫	四国労働金庫徳島営業本部
	藤原 茂	学識経験者
	乾 浩二	こくみん共済coop 徳島推進本部
顧問	川越 敏良	徳島県労福協

2024年度第15回(通算53回)定時会員総会

役職	氏名	所属
会長	森本 佳広	徳島県労福協
副会長	島 和久	連合徳島
	大谷 竹人	こくみん共済coop 徳島推進本部
	新居 栄治	四国労働金庫
専務理事	梶本 一夫	徳島県労福協
常務理事	兼松 文子	徳島県労福協
	福本 純	徳島県労福協
理事	久積 育郎	勤労者福祉ネットワーク
	大地 均	全徳島建設労働組合
	大久保秀幸	徳島県生活協同組合連合会
	坂尾 直也	徳島県退職者連合
	瀧 誠司	学識経験者
	佐藤 健二	学識経験者
	和泉 芳枝	学識経験者
監事	三木 裕子	学識経験者
	丹下 智博	四国労働金庫徳島営業本部
	藤原 茂	藤原茂税理士事務所
	乾 浩二	こくみん共済coop 徳島推進本部

ひたすらに労働者福祉の道を——

公益社団法人徳島県労働者福祉協議会

元会長 久積 育郎

第1章 ひたすらに労働者福祉の道を

我が郷土の徳島が育んだ社会運動・労働運動の先達、協同組合の父と言われる賀川豊彦は、中央労福協の『労働者と福祉』創刊号（1960年1月1日発行）に“ひたすらに労働者福祉の道を”とのメッセージを寄せています。

「——戦前、日本の労働組合運動は、残念ながら福祉活動には熱心でなかった。労働者一人一人の要求に結びつく福祉活動が労働運動のマイナスになるからといって軽んぜられていた。私は常々、これは大変なあやまりだと思っていた。戦後この面の考え方が改められ、混乱の中に生まれた福対協が十年を経て、今ここに生まれ変わることは何にもまして嬉しいことである。労働者自身の血のかよった福祉事業は労福協の協同の場以外からは決して生まれない。強化された真の労働者福祉の道をひたすらに歩んでもらいたいものである——」。賀川豊彦はこのメッセージを残し、“福祉はひとつ”を願いながら、この年の4月23日に71歳で天国へ旅立ちました。

はじめに

今世界は、貧困と差別、環境破壊と気候変動、対立と戦争など混沌とした危機的な状況にあり、日本社会は急激な超少子高齢化により人口減少社会に転じ、貧困と格差が拡大し一億「総孤立」社会と言われる社会的孤立などで、社会病理が大きな課題となっています。そのような中であって、戦争を“しない”国から“する”国へと転換しようとする動きも加速しています。

折りしも今年は関東大震災100周年の年であります。賀川豊彦は、翌日の9月2日に大震災を知り、神戸港から船に乗って4日には現地入りし、直ちに救援活動を開始しました。活動拠点と住居を神戸から東京の本所へと移し、救済と復興に全力を注いだのです。日本で初めて、「ボランティア」という言葉を使ったのも賀川豊彦であり、まさにボランティアの先駆けでありました。この時代の賀川豊彦のさまざまな活動は、現在の国連のSDGs17項目ともつながっているのです。私たちは今改めて、人間の尊厳を第一とした共助・共生の社会へ向け「ひたすらに労働者福祉の道を」しっかりと歩むことが求められていると思います。

この度「労福協運動の助け合い、支え合いの現場から」ということで、ご指名をいただきました。徳島の地で、チャレンジしたいいくつかの取り組みについて紹介させていただくことといたします。

遅れて、ゼロから出発した46番目の徳島県労福協

徳島県労福協は、1975年5月13日に全国で46番目の県として設立されました。沖縄と共に最も遅れてスタートした労福協でした。残念ながら、設立後は労組OB役員のための組織にとどまっていましたが、連合発足を契機に改めて労働組合運動と労働者福祉運動、とりわけ労福協の強化について検討することとなりました。山口・静岡・宮崎県労福協などの先進県を視察・交流させていただきながら、①労働者福祉推進、②雇用就労支援、③福祉・ボランティア支援を三本柱として、さまざまな事業を開始しました。

開始に当たっては、“職場・地域から人間の尊厳を第一として社会の不条理に立ち向かう自立

した社会運動を歴史的使命とする“とした連合評価委員会の提言を受けて、①労働組合の社会性の復権、②労働者自主福祉の復権、③運動体としての復権をめざすこととしました。

そして運営に際しては、①国連の常任理事国運営とはせずエントリー方式を基本とし、②自己完結型ではなく協働型で取り組み、③何事も実態と意識の調査に基づき実践する、という三点を大切に働く者とその家族のそれぞれのライフステージに対応した総合的な労働者福祉に取り組むこととしました。

それから20年、全国に遅れてスタートし、ゼロからの出発ではありましたが、現在は、結婚サポートからはじまり、子育て支援、就労支援、若者・障がい者・生活困難者の自立支援、介護サポートにいたるさまざまな事業を実施し、労福協と勤労者福祉ネットワーク、シニアNPO壮生で、約200人のスタッフが働くグループとなっています。

これらの事業はいずれも県内外の労働者福祉をはじめとしたさまざまな社会運動に関わる多くの人たちとの出会いにより、連携・協働して実現したものであります。私自身もその中の一員として協力活動できたことに心から喜びを感じています。

その中でも、全国の仲間の皆さんとも共有できればと思っている5つのチャレンジについて、次号から順次紹介させていただくことといたします。お付き合いのほど、よろしくお願いいたします。



『賀川豊彦学校』開校式（2022年6月25日）

第2章 一人暮らしを一人ぼっちにさせない！—高齢者福祉へスタート—

労働者福祉メーデーの開催

遅れてのゼロからの出発は、1992年の『ゆとり宣言』フェスティバルと翌年の第1回労働者福祉メーデーから始まりました。ゆとりフェスタは、県・労働局・経営団体・労働（福祉）団体での共同事業としてスタートし、山口県労福協に見習って開催の労働者福祉メーデーは、労働者福祉の研修を通して、課題の研究とその実現へ向けたアクションを起こすことにより、県労福協の新たなスタートに大きな役割を果たしました。第3回で紹介する公労使の三者構成による財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークも、この中から生まれました。

『2007年問題』から始まった高齢化社会の取り組み

高齢者社会へ向け『2007年問題』が大きな社会問題となり、2000年4月からドイツ方式による「介護保険」がスタートすることとなりました。その2年前の1998年1月から、全労済と

共催でホームヘルパー養成講座を開始しました。当時の受講生は、①家族の介護に備えたい、②介護の仕事に就きたい、③ボランティア活動に活かしたい、がそれぞれ3分の1でありました。

この取り組みの中で、社会福祉士会の皆さんとの出会いがあり、介護保険時代における高齢者福祉の拡充へ向けた福祉セミナー、福祉なんでも相談ダイアルの開設から労福協なのはな居宅介護支援センター・ヘルパーステーションの開設へと繋がり、現在に至っています。また一方で、ヘルパー養成講座の第1期と第2期の修了生を中心にボランティア友の会ひまわりが結成され、さまざまな高齢者施設へのボランティア訪問に取り組みながら、現在でも「うたごえ広場」や「百歳健康体操」など幅広く活躍しています。これらの活動が土台となって、第4回で紹介予定の就労支援のジョブサポート事業へと広がっていくこととなりました。

“一人暮らしを一人ぼっちにさせない” シニアNPO壮生の結成

2007年から団塊世代の定年退職が始まり、日本社会が大きな転換を迎える中、団塊世代の動向は社会の注目でありました。私たちは団塊世代のパワフルでアクティブな“地域デビュー”へ向けて、元気シニアの①生きがいつくり、②健康づくり、③仕事づくり、④居場所づくりをめざすシニアのNPO壮生を労働者福祉関係団体の退職者を中心に結成しました。部分就労・部分年金のワークシェアリングによるNPO壮生は、労働福祉会館の管理運営を受託しながら、健康セミナー、パソコン教室、折り紙教室、シニアカフェなども開催しました。さらに高齢者の社会的孤立が深刻な課題となる中、一人暮らしを一人ぼっちにさせないため、家事援助などの生活サポート事業として「サポート壮生」も設置しました。

今、一億「総孤立」社会とも言われるさまざまな社会的孤立が深刻な課題となっています。私たち共助のセクターとして労働者福祉の果たす役割は更に重要性を増すと思います。



ボランティア友の会ひまわり 百歳健康体操

第3章 公労使の三者構成による 財団法人勤労者福祉ネットワークの設立

“全部食べてしまった” ゼロからのスタート

ゼロから出発した徳島県労福協の最大の特徴は、公労使の三者構成による財団法人の設立であります。そもそもは労金、全労済を中心とする労働者福祉事業の出資・利用配当などの果実を全部食べてしまった中からの「福祉基金」構想としてのスタートでした。

静岡・山口・富山県労福協などの視察の中で、全国の労福協は果実を積立て新たな事業対策や福祉政策研究へ向けた「福祉基金」を設けていることを知りました。ほとんどが労働者福祉事業

体での設置でしたが、その中で山口県労福協など数県で県・市町村との共同で基金を設けていました。

そこで私たちは、全部食べてしまったゼロからのスタートならば労働者福祉を共通の目的とする公労使の三者による福祉基金の財団を創ろうと考え、1995年の第2回労働者福祉メーデーで三者構成による財団法人勤労者福祉ネットワークの設立基本構想を確認し、1996年12月17日の設立認可に至りました。

設立に際しては“いつでもどこでもだれでも”が利用できる勤労者の総合福祉のネットワークをめざすことといたしました。

“うちの子も、よその子も、まちの宝”の子育て支援

最初に取り組んだのは子育て支援事業でした。1999年に四国で初めて徳島市ファミリーサポートセンターを設立し、2002年には全国初の広域自治体設立の板野東部ファミサポもスタートしました。現在は県内子育て世帯の9割をカバーする8ヶ所のファミサポと6ヶ所の子育て広場を運営しています。また、病児・病後児預り、ファミサポ利用助成基金、子育て支援員養成講座など、“うちの子も、よその子も、まちの宝”の子育て支援に取り組んでいます。

“中小企業が元気になれば地域が元気になる”の中小企業支援

中小企業勤労者福祉サービスセンター（あわ—ず徳島）は未設置4県の中での2002年設立ではありましたが、「活性化・広域化・自立化」基本構想を策定し、全国で初めての選択可能な四つの会員制度や新人マナー研修、心の健康相談室の設置などにも取り組み、現在では1,100事業所、15,000人会員となっています。

コロナ禍では全会員へのマスクの配布、ワクチンの集団接種、更にはJA産直市とのコラボによる農家支援にも取り組みました。公務職場における年度任用職員の加入拡大にも取り組み、“中小企業が元気になれば地域が元気になる”をモットーに2万人会員をめざしています。

また、“ほっとけん、なんとかできんか、なんとかせな”の市民活動を応援するソーシャルファンド「ハートフルゆめ基金」や外国人とのユニバーサルカフェ“つながり”なども実施しています。

財団設立25周年を迎え、改めて賀川豊彦の「友愛・互助・平和」の精神に基づき、労福協と共に働く者のライフステージに対応した総合的な労働者福祉をめざしています。



財団設立20周年記念大杉漣ふるさとコンサート
(2016年10月6日)

第4回 全国に先駆けてした開始した就労支援事業

徳島県労福協のもう一つの大きな特徴は、全国に先駆けて開始した就労支援事業です。

連合の地域ミニマム賃金調査から見てきたもの

8 地方連合からスタートした連合の地域ミニマム運動に、連合徳島も最初からエントリーしていました。賃金の地域ミニマム設定のための中小企業賃金調査では、何年経っても高卒・勤続17年・35歳の「標準労働者」は徳島の調査4,000人中7～8人、連合の全国調査10万人の中でも250人ほどしかいませんでした。

日本の労働政策の基礎は「標準労働者・世帯」（男性・高卒・製造業・本工・専業主婦・子ども二人）でしたが、時代の変化とともに、いずれも絶対多数はおろか相対多数でもなくなりつつありました。とりわけ中小企業は終身雇用は崩れ離転職が当たり前となり、その傾向は顕著でした。

全国に先駆けて開始した三位一体の就労支援

日本の労働組合は企業別労組で欧米の産業別労組とは異なり、企業の退職と同時に組合員ではなくなり、退職後は自助努力とならざるを得ないのが実態でした。

離転職が当たり前の社会であるならば、従来どおりの労働運動、労働者福祉運動で良いのだろうかと思っていたこともあり、連合との車の両輪の一方として社団法人の労福協が就労支援の役割を担うべきではないかとの考えに至りました。それが県労福協の就労支援事業の出発点でした。

具体的には①就職のための職業訓練、各種スキルアップ・資格取得講座を担う就業支援センター（ジョブカレッジ）、②夜間・休日を含む相談に対応した仕事なんでも相談室、③就職につなぐジョブとくしま無料職業紹介所を開設し、三位一体の就労支援体制をつくることとしました。

とりわけ、ジョブとくしま無料職業紹介所は大きな役割を果たしました。現在、介護分野においては、ジョブカレッジで資格を得て、ジョブとくしまで就職した多くの人たちが県内の高齢者福祉を支えています。



ジョブとくしま無料職業紹介所開設（2004年10月1日）

さまざまな困難要因を抱え孤立する人たちの自立支援

離転職を余儀なくされた人たちはもとより、職を奪われ生活を奪われ、社会的に孤立する生活困窮者、社会的就職困難者や就労阻害要因を抱える人たちの自立支援へ向けたジョブサポートの取り組みも始めました。

パーソナルサポートセンター、若者サポートステーション、障がい者・外国人のための生活就労支援などに取り組むと共に、生活困窮者自立支援法に関わる相談・就労準備・学習支援などは県内で中心的な役割を担っています。

これらは一億総「孤立」社会と言われる中で今も大きな社会課題であり、私たち共助のセクターの果たす役割は大きいものがあると思います。

第5回 労福協をコーディネーターに ―「協同が輝く」社会へ―

「誰もがたすけあう大きな家」をめざして

障がい者のための自動車運転免許特別講座の記事が地元新聞の朝刊に掲載されたその朝に、県南の教育委員会から「町民から、障がい者に免許を取らせて事故が起こったらどうするのかとの声がある。主催者としてどう考えているのか」との電話がありました。「自動車免許はダブルスタンダードですか？」と問い返すとはたと気がついたようでした。ノーマライゼーションが言われて久しい中での出来事です。私は未だ遠いと感じました。

この運転免許特別講座は、2002年に開催された障がい者就業生活支援フォーラムで「息子が免許を取ろうと頑張っているが、実技は合格しても学科が難しく困っている。何か良い手立てはないか」との発言がきっかけでした。パネラーとして出席していた私から「関係者・団体が知恵を出して連携すれば可能だと思う。具体的な相談をしましょう」と答え、その後に労福協がコーディネーターを務め、①講師は教習所の労組OBの指導員②サポーターはボランティア③会場は市町村④教科書は教習所がそれぞれ受け持ち、運営委員会が発足することとなりました。南部、北部をスタートとして県内4か所でそれぞれ50回の講座開催となりました。

現在までに507名が受講し、普通免許166名、バイク28名が合格し、職域の拡大につながっています。

合格者の一人は「徳島人生たすけあい家」の市民団体を立ち上げ、多くの人たちの協力を得て、資源ゴミを回収し、その収益をハートフルゆめ基金などに寄付して「誰もが人生をたすけあう、大きな家」をめざして活動しています。

「日本一、外国人が活躍する徳島」をめざして

また、県内在住の外国人が6000人を超え、定住外国人の就職は大変厳しい状況にありました。その当時、県内では就労のための日本語講座は開かれていませんでした。

県内で活動する「JTMとくしま日本語ネットワーク」の事務局を労福協に置いていたこともあり、2009年に日本語教師ボランティアのJTMとのコラボにより「外国人の就労のための日本語講座」を開講することといたしました。

現在では介護・運転免許・日本語検定、ビジネスマナー講座など在住外国人のための総合的な就労・生活支援に取り組んでいます。現在までに20ヵ国、305名が受講し、85名が就職に結びついています。

この取り組みの最大の特徴は、開始直後から「在住外国人の就労・定着促進連絡協議会」を設置していたことです。県・労働局をはじめ、教育委員会、国際交流協会、JTM、観光協会、老人保健施設、労・使団体などが参加し、「日本一、外国人が活躍する徳島」へ向け連携をはかっていることです。今後、さらに大きな役割を果たすこととなると思います。

労福協がコーディネーターとして「協同が輝く」社会へ

日本社会は、超少子高齢化による急速な人口減少社会に転じ、大きな社会課題となっています。入管法の改正、外国人技能実習制度の廃止、新たな特定技能制度など大きな変化の時代を迎えています。

改めて、人間の尊厳を第一とした多様性のある共生社会へ向け、労福協はコーディネーターとして、さまざまな分野の人たちとの協働で「協同が輝く」未来へ向けさらなる奮闘が求められていると思います。



2010年7月「就職のための日本語講座」終了後の交流会

第6章 貴重な資料を次世代へつなぐ－社会運動資料センターの発足

とくしま社会運動資料センターは、公益法人改革に伴う労働福祉会館の公益目的事業として、2016年10月1日に開所しました。

開所に先立って、労福協を中心に川崎労福協「労働資料室」、友愛労働歴史館、大崎労政会館資料室などを視察し、検討を重ねました。当初は労働福祉会館が“労働者の砦”としての役割を担ってきたことから労働運動資料センターとしての設立をと考えていましたが、戦前・戦後の労働運動をみると、紛れもなく社会全体の課題を労働者の課題として、労働運動が社会運動の中心を担ってきた歴史があり、社会運動資料センターとして設立するとの結論に至りました。

と同時に、県内の労働運動、社会運動の中心となった団塊の世代が高齢化する中で、貴重な資料が散逸する危険もあり、戦後70年を迎える今が資料保全と運動の軌跡を次世代へと繋ぐラストチャンスであるとの強い思いもありました。

設立に際しては、労金、全労済による書庫、パネル等の寄贈もあり、文字どおり労福協・労働者福祉事業団体を中心とする社会運動関係団体の協働事業としてのスタートとなりました。

具体的な事業としては、資料の収集・保全・公開を基本として、①資料収集と検証・研究、②常設の資料閲覧室、③公開講座と特別企画展の開催を三本柱と位置付けました。

おかげさまで、開所以来今日まで多くの関係者の協力で、①約2万点の資料収集、②「輝いた阿波の女性たち」「徳島の部落史・社会運動史」などをテーマとした16回の公開講座、③「賀

川豊彦と吉野作造」 「20年目の吉野川第十堰住民投票」 など7回の特別企画展、④公開講座講演録の3回発刊などに取り組むことができました。

現在は労働福祉会館と労福協の法人統合により労福協が運営主体となっています。

戦後労働者福祉運動の「全国の資料収集と聞き取り」を通じて「歴史と教訓」を次世代に

2年後に沖縄と徳島労福協が設立50周年を迎え、2025年には中央労福協75年の歴史と共に全ての地方労福協も50年の歴史を経ることとなります。おそらく、50周年記念誌も全て出揃い、それぞれの地方における素晴らしい活動がまとめられていることと思います。この50年から75年にわたる「戦後の労働者福祉」の歩みをしっかりと次世代に継承していくことが私たちの課題だと思えます。

中央労福協ニュース(187号)で、高橋均元事務局長は「戦前・戦後の労働運動に関する膨大な資料は多くの関係組織で分散所蔵されており、散逸を防ぐためにも労働運動のアーカイブを作ろう。残された時間はそれほどないのだから」と呼びかけています。

幸いにも、中央-地方労福協でさまざまな特色ある活動に取り組んだ事務局長経験者の多くは現在も元気で活躍されています。この50周年を節目に、今こそ中央労福協が中心となり、これらの人たちとの協働で全国の労福協運動の貴重な資料の収集・保全・聞き取りなどに取り組み、戦後の労働者福祉の歴史と教訓についてとりまとめることは私たちの責務であると思えます。是非とも実現へ向け努力されることを強く期待いたします。

最後となりましたが、これまで6回にわたり、後発の徳島の地での5つのチャレンジを紹介してまいりました。思いを十分に伝えることはできませんでしたが、少しでも参考になることがあれば嬉しく思います。半年間のお付き合いに感謝を申し上げますとともに、労福協に集う仲間の皆さんの更なるご活躍をご祈念申し上げます。



第15回公開講座(2019年11月16日)

*本原稿は、中央労福協が発行する『NEWS LETTER 中央労福協ニュース』のNo.198からNo.203まで(2023年2月~2023年7月)に掲載された「連載 助け合い・支え合いの現場から」の記事を再編集したものです。

徳島県労福協「2030年ビジョン」

徳島県労福協のあらたな理念や、2020年中期ビジョンの振り返り、時代の変化等を踏まえて、これからの10年を見据えるにあたっては、「経済成長は人間の幸せのためにあり、手段であって目的ではない」ことを改めて認識し、また、経済・社会・環境の調和やそのための諸課題の解決に向けた統合的なアプローチをめざすSDGsの達成に向けて、私たちも役割の一端を担い行動します。

1 理念

連帯・協同・安心・共生

～すべての働く人々の幸せと豊かさをめざして～

2 2030年にめざす社会像

貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働きくらせる持続可能な社会

3 2030年ビジョン

- ①多様なセーフティネットで、働くことや暮らしの安心を支えます。
- ②労働組合と協同組合が連携・協同し、共助の輪を広げ、すべての人の暮らしを生涯にわたってサポートします。
- ③地域の様々なネットワークで、支え合い、助け合う地域共生社会をつくります。
- ④労働者福祉運動を継承・持続するために、人材を育成し、財政基盤を確立します。



「2030年ビジョン」を実現させるために

① 多様なセーフティネットで、働くことや暮らしの安心を支えます

- (1) 安心できる社会保障制度やセーフティネットを強化します
- (2) 貧困や社会的排除をなくし、格差を是正します
- (3) 学びと住まいのセーフティネットをつくります
- (4) 労働運動と消費者運動をつなぎます
- (5) 持続可能で、安心してくらす社会をつくります

② 労働組合と協同組合が連携・協同し、すべての人の暮らしをサポートします

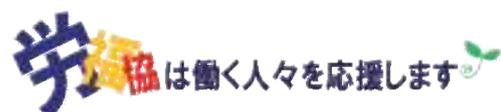
- (1) 協同組合の基盤を強化し、活動領域を広げます
- (2) 協同組合の社会的価値と力量を高めます
- (3) 労働者福祉事業団体と労働組合との「ともに運動する」関係を強めます
- (4) 誰ひとり取り残さず、共助の輪を広げます

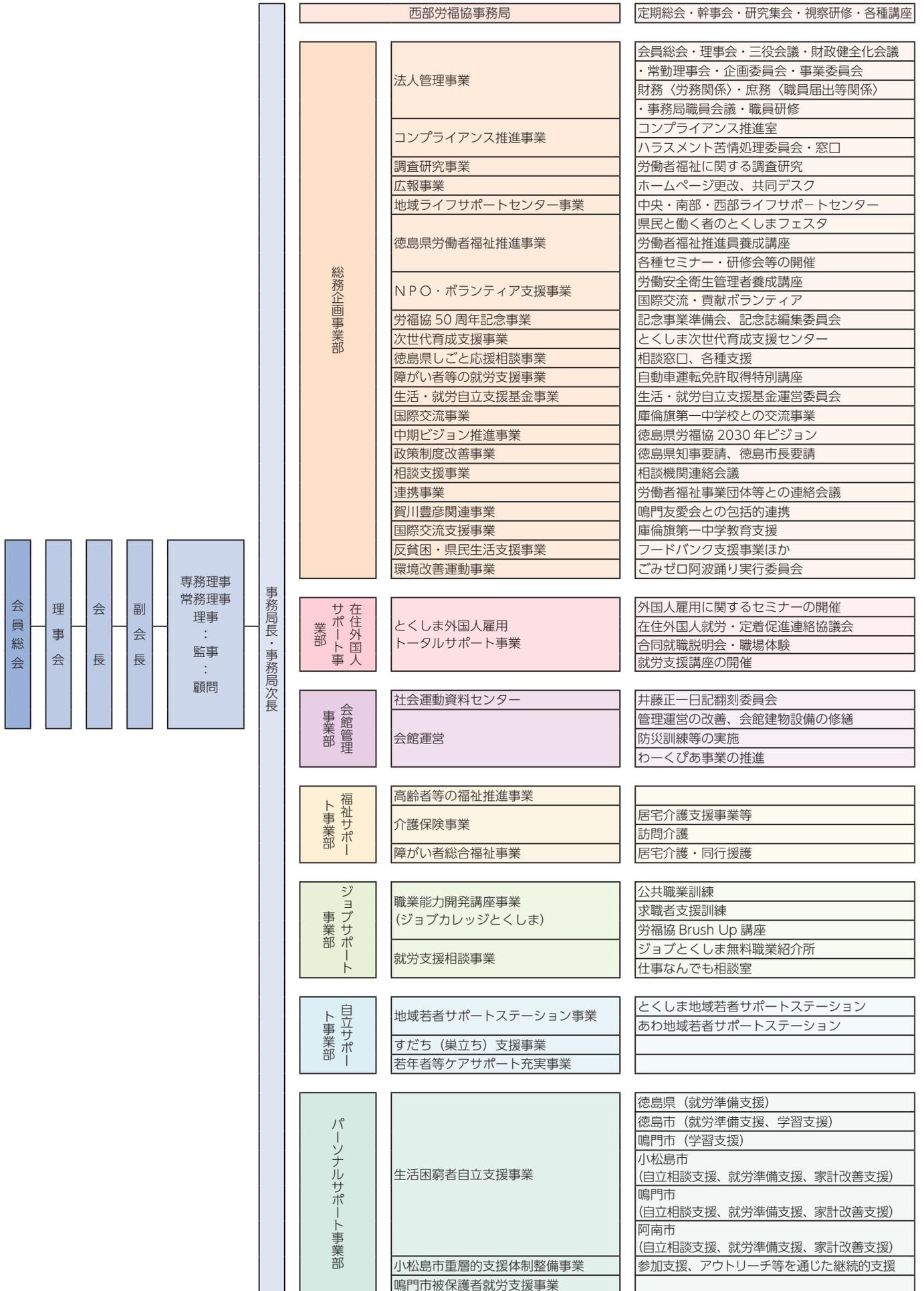
③ 地域の様々なネットワークで支え合い助け合う地域共生社会をつくります

- (1) ライフサポート活動のネットワークを広げ、地域の課題解決につなげます
- (2) すべての人にとって働きやすく暮らしやすい地域共生社会をつくります
- (3) 福利厚生に格差を是正し、中小企業や非正規雇用で働く人たちに拡充します

④ 労働者福祉運動を継承・持続するために人材を育成し財政基盤を確立します

- (1) 事業を継承する人材を育成
- (2) IT・デジタル化の活用
- (3) 財政基盤を確立します





平和を愛する烏雲先生の訃報に接して

徳島県日中友好協会

副会長 藤原 学

徳島県日中友好協会は、戦後 80 周年として、「平和友好訪中団」を編成し、大連・丹東・通遼・瀋陽の四都市を訪問した。10 月 29 日には、烏雲先生との再会のために通遼を訪問した。通遼では、庫倫旗第一中学で日本語の教鞭をとられていた王玉珍先生と現在も日本語教師として活躍されている包金鳳先生が出迎えてくれた。早速、烏雲先生の近況を尋ねると「現在、闘病中で面会できない状態」と報告を受けた。馬英春（長男）さんご夫婦が付きっきりの看病にあたっているとのこと、馬森（孫）さんが私たちに会いに来てくれた。徳島県知事からの感謝状（徳島県と中国との架け橋として沙漠植林活動等に尽力した功績）と徳島県の民芸品（遊山箱）を馬森さんから烏雲先生に届けていただくよう依頼した。感謝状と記念品は、烏雲先生の植林活動にちなみ全て木製品で造られており、徳島県知事をはじめ県関係者のご配慮に感謝している。

「平和友好訪中団」が帰国して一週間後の 11 月 7 日、烏雲先生が亡くなられたとの訃報に接し、何とも言えない悲しみに包まれた。「平和友好訪中団」が通遼を訪問していた時は、「がんの転移により体力的にかなり厳しく苦しい状態だった」と推察される。いつも笑顔の烏雲先生が目に見え、やさしく声をかけてくれる姿が思い出される。10 日には、烏雲先生の遺言で大連沖の黄海にご主人の遺灰と共に散骨された。二つの祖国を持つ烏雲先生は、いつも「平和が一番大切です」と話していたが、これからは「一衣帯水」の海を自由に行き来できることで、文字通り友好交流の大切さを私たちに示してくれている。烏雲先生の今日までのご功績を偲び、安らかならんことをお祈りし、衷心より哀悼の誠を捧げたい。

烏雲先生と私は、1997 年、連合徳島と友好労組関係にある丹東市総工会の劉勵威主席から「人民日報」に紹介されている烏雲先生の記事をいただいた。劉主席は、「烏雲先生は、徳島県出身の残留孤児であり、いま政治協商会議全国委員として沙漠植林活動と内モンゴルの教育活動に力を注いでおり大変立派な女史である」と紹介を受けたのが始まりである。

烏雲先生は、「庫倫旗第一中学の子どもたちに日本語を学ばせたい」との強い思いを持っていた。内モンゴル自治区の日本語センターはフフホトに開設されており、東の日本語センターを「庫倫旗第一中学」に開設する提案を行ったところ「交流拠点」としての設備が不十分であるとのことであった。私たちは、烏雲先生の思いを実現するため「烏雲の学校を設立する徳島県民の会」を立ち上げ、募金目標 400 万円を設定し募金活動をはじめた。1999 年 9 月 2 日、日本語教室開設落成式が開かれ、徳島からも 25 人が参加した。前夜祭には、地域住民 1 万人が集まり「かがり火」を囲んだアトラクション等が行われた。日本語教室が入る校舎は、4 階建ての立派なコンクリート造りで庫倫旗政府の出資と県民の会の募金によって建設された。「烏雲の学校を設立する県民の会」は、「支援する」と名称を改め、日本語教育を支援するため、日本語指導員を年次的に 7 人派遣し、同時に庫倫旗第一中学からは 1999 年から 2005 年まで 6 人の教師を 1 年間日本語学習のため招待し、徳島県教育委員会や県内小中学校に派遣した。さらにこの活動は、建

設募金活動から就学援助活動である「烏雲奨学基金設立」へと活動が広がり、徳島県日中友好協会会員をはじめ徳島県民からの募金を集め、烏雲先生を通じて日本語を学ぶ子ども達への教育支援として活用された。また、徳島県労働者福祉協議会は、2011年から日本語を学ぶ生徒の中から2人を日本に招待する事業を始め、徳島市北井上中学校や城南高校、徳島文理高校、四国大学留学生等との交流が行われた。日本文化に触れる旅として東京をはじめ奈良や京都を訪問した。この交流は、コロナ禍が始まるまで続けられた。2013年には、北井上中学校の生徒2人、歴代校長4人が庫倫旗第一中学を訪問し、文字通り日中相互交流が実現できたことは特筆される成果である。

2019年9月、烏雲先生が（公財）残留孤児援護基金の里帰り事業で4年ぶりに国府町の実家である「立花家」に里帰りしたことに合わせ「おかえりなさい烏雲先生里帰り交流集会」が開かれ、盛大な交流会となった。この交流集会の中で今日までそれぞれで活動していた団体を一つにまとめる提案があった。2020年1月、烏雲先生関連団体が集まり、「烏雲先生の功績をたたえる会」を結成し、約一年間の討議を経て、2021年1月26日（火）「烏雲先生をたたえる市民の会」設立総会を開催した。加盟団体は、「烏雲の学校を支援する徳島県民の会」「烏雲の森沙漠植林ボランティア協会」「内蒙古愛陽協会」「徳島県労働者福祉協議会」「徳島県勤労者福祉ネットワーク」「徳島県日中友好協会」の6団体で組織し、「①小学校高学年、中学生用の小冊子を作成し、県下全ての小中学校に贈呈する。②烏雲先生を徳島市名誉市民並びに徳島県民表彰へ推薦する。③烏雲先生の功績をたたえる記念イベントを開催する。」③の記念イベントは、里帰り記念集会、徳島市と内モンゴル通遼市における交流集会とした。また、2022年11月から2023年2月にかけて読書感想文コンクールを実施、県下の小中学生からの作文募集を行い、小学6年生から25人、中学2年生から18人の応募があった。地元の北井上小学校6年生、北井上中学校では授業の中で取り上げられ新聞でも大きく報道された。2023年9月に里帰りの予定で準備を進めたが、体調不良のため里帰りによる来徳を急遽中止した。そんなこともあり、2024年9月には、万難を排しての里帰り事業の受け入れ、念願であった甫さんの墓参のために里帰りした。地元北井上中学校文化祭に招待され、全校生徒に対して「平和が一番大切」と話した。「おかえりなさい烏雲先生里帰り交流会」を開催し、庫倫旗一中の王玉珍先生、包金鳳先生を招待した盛大な交流会になった。特に、北井上中学校からも6人の生徒が参加し、文化祭に出席してくれたお礼と感想メッセージを烏雲先生に伝えた。

2025年1月、烏雲先生から今年の帰国は「高齢で体力的に自信がない」と連絡があった。昨年の里帰りに際して、猛暑の中で本当に体力の限界に近い状態で交流を続けてくれたことに感謝している。何事にも代えがたい多くのメッセージを私たちに残してくれた烏雲先生、「平和を愛する偉人」として後世の人々に伝えなければならないと思う。

合掌

後書き

1975年5月13日、徳島県労働者福祉協議会は、全国で46番目に設立されました。50年の歩みをひとことで言い表すことは決して容易ではありませんが、あえて表現するとしたら、「ないところからあるものを創る」ことの連続であったと言えるのではないのでしょうか。

その原動力は、他にもない「福祉はひとつ」という労福協の理念のもとに「誰一人として社会から排除されることのない」地域社会を実現するのだという強い信念を持つ労働者福祉の先達と、その思いを引き継ぐ後進に宿る連帯・協働の精神であると思います。

前回、35周年記念誌を発売した2010年度当時、NHKの特集番組が契機となり、「無縁社会」ということばが広く認知されるようになりました。単身高齢者世帯の増加や晩婚化・非婚化、都市部への人口集中などの社会背景により、家庭や職場、地域社会がセーフティネットとして機能しにくくなっていきました。

就職氷河期世代を含む「若年者」、「生活困窮者」、「高齢者」、「ひとり親」、「障がい者」、「外国人」等、ともすれば社会のセーフティネットから孤立しがちな人たちを支援する政策が次々と打ち出され、労福協はこれらの支援事業に国や県、自治体の委託を受けて、また独自事業としても取り組むようになっていきました。

担当する職員は一人ひとりに向き合うなか、思いに応えるために専門性を高める努力を惜まず、「社会福祉士」や「公認心理師」、「キャリアコンサルタント」、「介護支援専門員」、「介護福祉士」、「ファイナンシャルプランナー」等、支援の現場に生かす資格取得への挑戦を続けました。支援「する」、「される」という枠をとりはらい、目の前の一人ひとりの思いに耳を傾け、どうすればその人にとって最善であるかをともに考え、自法人にできること、多様な関係機関・団体と連携してできることに、専門性をもって丁寧に伴走する姿がそれぞれの現場に広がっています。

手にとっていただいた皆様に、名前こそ記載されてはいませんが、記念誌の行間にたたく労福協職員一人ひとりのたゆまぬ研鑽と実践を感じとっていただけたら、嬉しく幸いです。

結びとなりますが、限られた時間のなか、驚異的な集中力で本記念誌をまとめあげた労福協常務理事の福本氏に深く感謝いたします。

参与 兼松 文子

『徳島県労福協50周年記念誌』

2026年3月10日発行

編集・発行 公益社団法人徳島県労働者福祉協議会
〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
TEL 088-625-8387/FAX 088-625-5113
E-mail tokushima@rofuku.net
URL <https://www.tokushima-rofuku.net/>
